

平成30年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県国際課

目 次

国際化の現況

1. 現 況

(1) 海外渡航者の状況

ア 日本人出国者数の推移	1
イ 外国人入国者数の推移	1
ウ 年次別旅券発給件数	1
エ 佐賀県の年代別発給件数	2

(2) 在留外国人数の状況

ア 年次別在留外国人数の推移	3
イ 在留外国人数(国籍・地域別)	4
ウ 在留外国人数(在留資格別)	5

(3) 外国人留学生の受入状況

ア 外国人留学生数の推移	6
イ 県内外国人留学生の受入状況(学校別)	6

(4) 経済交流の状況(佐賀県貿易額の推移)

ア 輸出入額	7
イ 品目別輸出額	8
ウ 地域別輸出額	8
エ 品目別輸入額	9
オ 地域別輸入額	9

佐賀県の国際展開

1. 佐賀県国際ビジョン「Excellent SAGA」

2. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業	13
(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業	21
(3) 市町の事業	23
(4) 県関連の県民海外派遣事業	31
(5) 外国語によるパンフレット等の作成状況	33

3. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 姉妹友好提携について	40
イ 全国の状況	41
(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数	41
(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数	42
ウ 佐賀県の状況	43
(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧	43
(イ) 県の状況	44
(ウ) 市町の状況	45
(エ) その他友好団体	49
エ 教育機関等の姉妹友好等提携交流	50
(ア) 大学・短期大学	50
(イ) 高等学校	54
(ウ) 中学校	56
(エ) 小学校	58
(オ) 幼稚園	59
(カ) その他の交流状況	60

(2) 世界の諸地域との交流

ア 市町別移住者数	61
イ 在外県人会	62

4. 国際化推進のための環境づくり

(1) 人材育成

ア 語学指導等を行う外国青年招致事業(JET プログラム)	63
(ア) 年度別招致状況	63
(イ) 外国青年招致事業による招致青年の配置状況	64
イ 外国語教育	65
(ア) 県立高校における留学生受入校及び受入人数	65
(イ) 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	65
(ウ) 県立高校における英語以外の外国語の取組状況	66
(エ) 県立高校における海外修学旅行の実施状況	66
(オ) 海外との交流状況(姉妹友好等提携交流を除く)	67

(2) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数 77
イ 多言語コールセンター利用状況 77

5 . 国際協力

(1) 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況 78
イ 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 研修員受入状況 79
ウ 独立行政法人国際協力機構海外技術専門家派遣状況 80
エ 青年海外協力隊等派遣状況 81
 (ア) 年度別派遣者数 81
 (イ) 国別・地域別派遣者数 81
 (ウ) 青年海外協力隊員派遣状況 82
 (エ) シニア海外ボランティア派遣状況 82
 (オ) 日系社会青年ボランティア派遣状況 82
オ アセアン青年・青年研修等受入状況 83

国際交流関係諸機関

1 . 市町国際交流担当課 (室) 84
2 . 県の機関 84
3 . その他関係機関 85

国際化の現況

1. 現況

(1) 海外渡航者の状況

佐賀県の日本人出国者数は、平成12年の76,297人をピークに減少傾向にあったが、平成30年は67,003人で前年に比べ8,488人(14.5%)増加し、平成28年から3年連続の増加となった。

全国で見ると、平成30年における日本人出国者数は、18,954,031人で前年に比べ1,064,739人(6.0%)増加し、過去最高となった。

また、平成30年における外国人入国者数は全国で30,102,102人であり、前年に比べ2,673,320人(9.7%)増加し、こちらも過去最高となった。

旅券の発行件数は、佐賀県では平成24年までは2万件前後で推移していたが、平成25年以降は不安定な国際情勢や円安等の影響から減少し、平成27年には14,230件となった。平成28年からは増加傾向にあり、平成30年の発行件数は20,673件と前年に比べ2,907件(16.4%)増加し、3年連続の増加となった。日本人出国者数の増加が旅券発行数に影響を与えたと考えられる。

ア 日本人出国者数の推移

年次	佐賀県		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
H2	41,971	108.7	10,997,431	113.8
H3	41,301	98.4	10,633,777	96.7
H4	47,883	115.9	11,790,699	110.9
H5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
H6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
H7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
H8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
H9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
H10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
H11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
H12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
H13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
H14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
H15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
H16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
H17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
H18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
H19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
H20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
H21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
H22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
H23	60,369	103.5	16,994,200	102.1
H24	69,039	114.4	18,490,657	108.8
H25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
H26	57,006	95.2	16,903,388	96.7
H27	50,207	88.1	16,213,789	95.9
H28	55,617	110.8	17,116,420	105.6
H29	58,515	105.2	17,889,292	104.5
H30	67,003	114.5	18,954,031	106.0

イ 外国人入国者数の推移

年次	人数(人)	前年比%
H2	3,504,470	114.4
H3	3,855,952	110.0
H4	3,926,347	101.8
H5	3,747,157	95.4
H6	3,831,367	102.2
H7	3,732,450	97.4
H8	4,244,529	113.7
H9	4,669,514	110.0
H10	4,556,845	97.6
H11	4,901,317	107.6
H12	5,272,095	107.6
H13	5,286,310	100.3
H14	5,771,975	109.2
H15	5,727,240	99.2
H16	6,756,830	118.0
H17	7,450,103	110.3
H18	8,107,963	108.8
H19	9,152,186	112.9
H20	9,146,108	99.9
H21	7,581,330	82.9
H22	9,443,696	124.6
H23	7,135,407	75.6
H24	9,172,146	128.5
H25	11,255,221	122.7
H26	14,150,185	125.7
H27	19,688,247	139.1
H28	23,218,912	117.9
H29	27,428,782	118.1
H30	30,102,102	109.7

出典：法務省入国管理局

ウ 年次別旅券発行件数

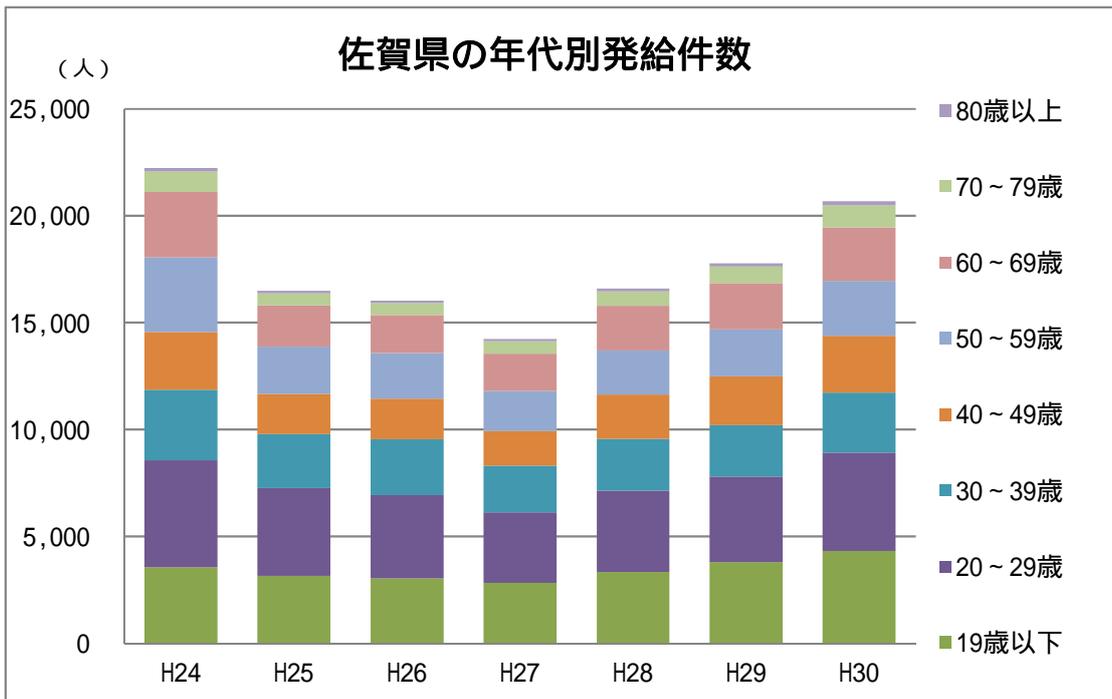
年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
佐賀県発行数	20,050	20,239	22,225	16,471	16,021	14,230	16,580	17,766	20,673
全国発行数	4,185,080	3,961,382	3,924,008	3,296,805	3,210,844	3,249,593	3,738,380	3,959,468	4,182,207

出典：外務省

工 佐賀県の年代別発給件数

次	年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
19歳以下		3,546	3,143	3,027	2,820	3,327	3,782	4,311
20～29歳		5,011	4,112	3,893	3,290	3,812	4,010	4,593
30～39歳		3,286	2,513	2,614	2,190	2,412	2,400	2,804
40～49歳		2,704	1,889	1,895	1,627	2,077	2,282	2,658
50～59歳		3,498	2,205	2,138	1,859	2,052	2,192	2,572
60～69歳		3,061	1,930	1,783	1,752	2,094	2,169	2,509
70～79歳		954	568	563	578	668	773	1,029
80歳以上		165	111	108	114	138	158	197
合計		22,225	16,471	16,021	14,230	16,580	17,766	20,673

出典：外務省



(2) 在留外国人数の状況

佐賀県における在留外国人数は、平成31年(2019年)1月1日現在6,338人で、前年同期に比べると672人の増加となっており、佐賀県の総人口828,781人(2019年1月1日現在)に対する構成比は約0.8%となっている。

在留外国人の国籍数は75となっており、国籍別内訳を見ると、ベトナムが1,743人(約28%)と最も多く、次いで中国1,274人(20%)、韓国・朝鮮719人(11%)、フィリピン656人(10%)、インドネシア618人(10%)の順となっている。

在留資格別で見ると、「技能実習」が2,590人(41%)と最も多く、次いで「永住者」が1,009人(16%)、「留学」947人(15%)、「特別永住者」の475人(7%)の順となっている。

ア 年次別在留外国人数の推移

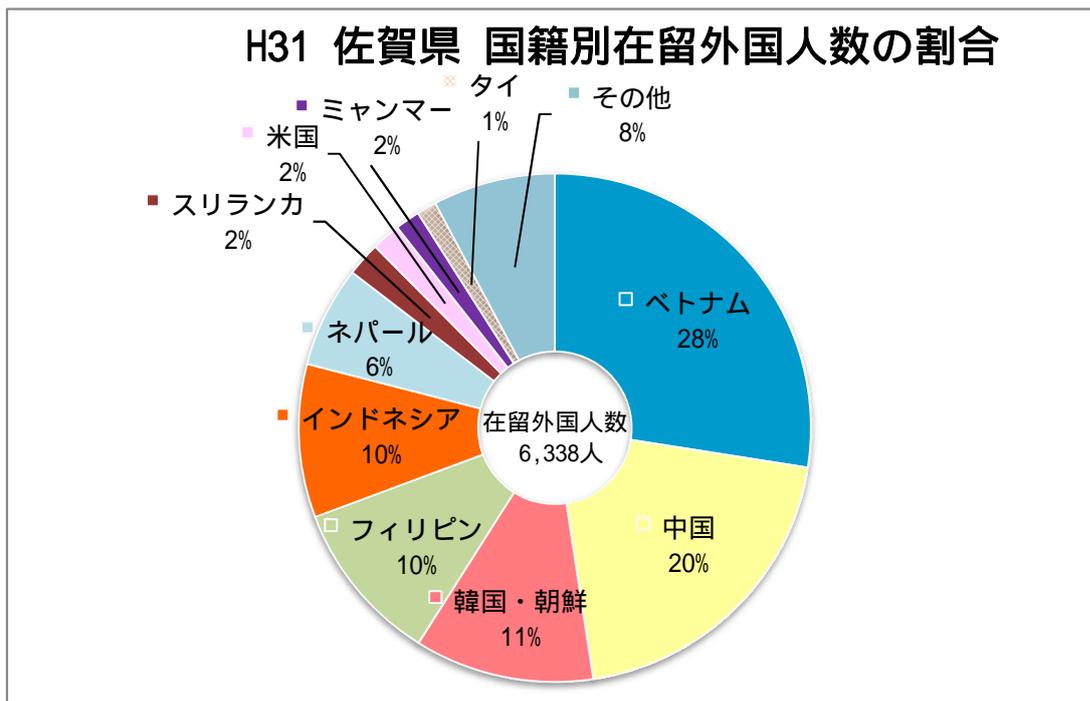
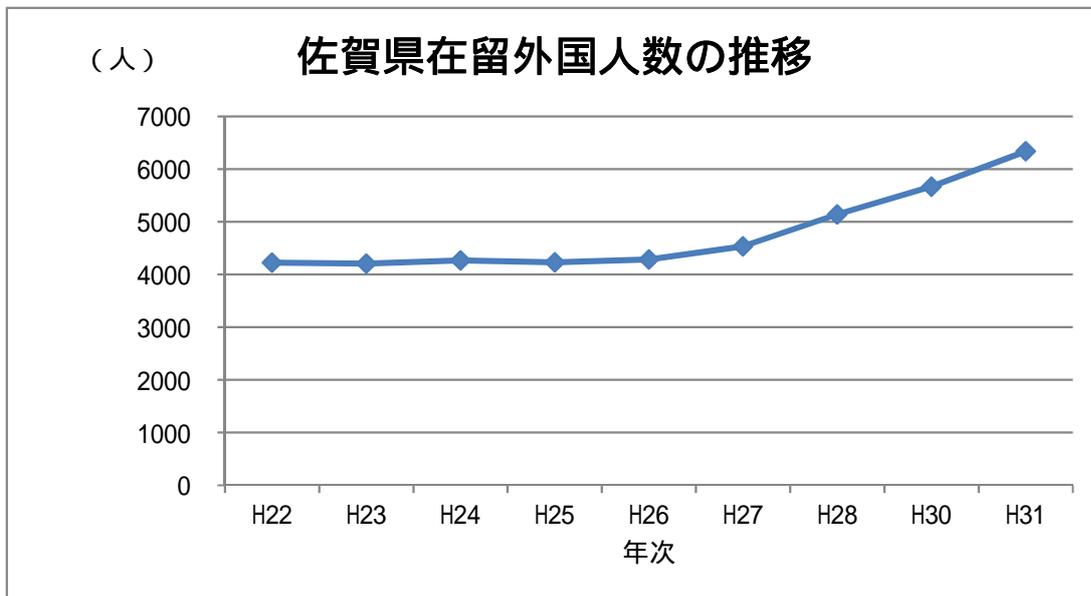
年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H30	H31
佐賀県	4,226	4,208	4,268	4,229	4,285	4,536	5,140	5,666	6,338
全国	2,134,151	2,078,508	2,033,656	2,066,445	2,121,831	2,232,189	2,382,822	2,561,848	2,667,199

佐賀県：H22～H28は12月末現在、H30～は1月1日現在。

出典：県国際課調

全国：H22～H28は入国管理局のデータ(12月末現在)。H30～は総務省 住民基本台帳のデータ。

平成23年までは「外国人登録者数」として統計を作成。



ウ 在留外国人数（在留資格別）

平成31年1月1日現在

区分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計	区分	
総計	1,805	664	1,167	184	603	216	153	237	160	227	113	205	48	146	6	126	26	58	147	47	6,338	総計	
教授	11	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	教授
芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	芸術
宗教	2	1	0	0	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	宗教
報道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	報道
高度専門職	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	高度専門職
経営・管理	9	1	4	3	3	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	25	経営・管理
法律・会計業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	法律・会計業務
医療	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	医療
研究	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	研究
教育	22	14	6	0	1	8	4	1	1	1	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	64	教育
技術・人文知識・国際業務	92	19	67	8	20	21	1	2	35	7	1	14	2	2	0	12	0	1	1	1	1	306	技術・人文知識・国際業務
企業内転勤	1	0	1	0	3	0	8	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	企業内転勤
介護	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	介護
興行	6	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	興行
技能	27	11	16	1	3	4	6	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	73	技能
技能実習	359	381	257	122	387	101	70	146	45	156	66	127	30	84	2	69	7	45	102	34	2,590	技能実習	
文化活動	5	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	文化活動
留学	463	1	461	1	0	1	1	1	0	6	1	5	0	2	0	2	0	2	0	0	0	947	留学
研修	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	研修
家族滞在	121	22	53	17	10	7	10	5	5	5	5	0	0	1	0	4	4	0	2	0	0	271	家族滞在
特定活動	5	1	15	0	39	1	13	1	4	7	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	93	特定活動
永住者	377	110	157	15	50	36	18	49	26	28	23	24	8	39	2	12	8	3	18	6	0	1,009	永住者
日本人の配偶者等	74	44	36	5	20	16	7	7	9	8	4	13	2	5	0	6	0	0	8	1	0	265	日本人の配偶者等
永住者の配偶者等	9	1	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	永住者の配偶者等
定住者	47	7	15	2	7	3	3	5	0	1	1	6	2	4	0	1	0	1	4	0	0	109	定住者
特別永住者	161	49	59	10	49	13	11	20	33	6	8	10	3	7	1	14	5	5	10	1	0	475	特別永住者
その他（未取得等）	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	その他（未取得等）

* 「その他」は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者

* 平成28年「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が公布され、平成29年9月から在留資格が改正となり34種類になりました。

なお、高度専門職（1号イ～ハ、2号イ～ニ）及び技能実習（1号イ～ロ、2号イ～ロ）については、それぞれ1つにまとめています。

(3) 外国人留学生の受入状況

平成30年の佐賀県における外国人留学生数は、791人と前年に比べ170人の増加となっている。

学校種別で見ると、大学・短大・日本語教育機関のいずれも昨年度に引き続き増加傾向にある。学校別で見ると、大学・短大では佐賀大学の240人が最多であり、日本語教育機関では弘堂国際学園の159人が最も多くなっている。

国籍別で見ると、ネパールの204人とベトナムの167人が多く、大学では中国、日本語教育機関ではネパールとベトナムが多数を占めている。

ア 外国人留学生数の推移

(単位：人) 平成30年5月現在

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
大学	297	279	269	240	216	229	252	268
短大	18	16	18	19	14	19	27	45
日本語	118	175	178	199	154	319	342	382
専門学校								96
県内計	433	470	465	458	384	567	621	791
全国計	163,697	161,848	168,145	184,155	208,379	239,287	267,042	298,980

出典：(県内) 佐賀地域留学生等交流推進協議会調

出典：(全国) 独立行政法人日本学生支援機構調

イ 県内外国人留学生の受入状況(学校別)

(単位：人) 平成30年5月現在

	ネパール	ベトナム	中国	マレーシア	タイ	スリランカ	台湾	韓国	インドネシア	その他	計
佐賀大学	0	14	79	19	8	5	15	18	19	63	240
西九州大学	0	3	12	0	3	0	3	6	0	1	28
西九州大学短期大学部	2	4	1	0	0	4	0	0	2	12	25
九州龍谷短期大学	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
佐賀女子短期大学	3	5	4	0	0	0	0	4	0	1	17
弘堂国際学園	61	67	0	0	0	24	0	0	0	7	159
日本文化教育学院	51	19	3	0	0	37	0	0	0	0	110
ヒューマンアカデミー	28	37	2	0	1	21	2	0	3	19	113
CODO外語観光専門学校アカデミー	59	18	4	0	0	6	1	0	0	8	96
合計	204	167	107	19	13	97	21	28	24	111	791

出典：佐賀地域留学生等交流推進協議会調

(4) 経済交流の状況(佐賀県の貿易額の推移)

平成29年の本県の貿易合計額については、輸出入合計では3,116億円(対前年比103.8%、113億円増)となった。

輸出については、船舶・その他(104億円減)は減少したものの、金属加工製品(207億円増)及び電気機器・電子機器(46億円増)の増加により、輸出総額は2,694億円(同106.4%、163億円増)となった。

輸入については、農水産物(23億円増)は増加したものの、化学品・医薬品(61億円減)及び電気機器・電子機器(15億円増)の減少により輸入総額は421億円(同89.5%、49億円減)となった。

貿易相手国・地域については、輸出での上位3か国は台湾、韓国、アメリカとなっており、これらの国が輸出額全体の46.7%を占めている状況であった。

輸入での上位3か国は、カナダ、中国、アメリカとなっており、これらの国が輸入額全体の53.1%を占めている状況であった。

ア 輸出入額

(単位：億円、%)

年	輸 出		輸 入		合 計	
	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比
H12	2,198		568		2,766	
H13	1,845	83.9	556	97.9	2,401	86.8
H14	1,885	102.2	624	112.2	2,509	104.5
H15	2,188	116.1	655	105.0	2,843	113.3
H16	2,328	106.4	673	102.7	3,001	105.6
H17	2,732	117.4	606	90.0	3,337	111.2
H18	3,247	118.9	689	113.7	3,936	118.0
H19	3,457	106.5	706	102.4	4,163	105.8
H20	3,148	91.1	529	75.0	3,677	88.3
H21	2,206	70.1	352	66.6	2,558	69.6
H22	2,744	124.4	341	96.9	3,086	120.6
H23	2,457	89.5	378	110.8	2,836	91.9
H24	2,273	92.5	363	96.0	2,636	92.9
H25	2,470	108.7	407	112.2	2,877	109.1
H26	2,436	98.6	411	100.9	2,847	99.0
H27	2,674	109.8	413	100.4	3,087	108.4
H28	2,532	94.7	471	114.1	3,002	97.3
H29	2,694	106.4	421	89.5	3,116	103.8

小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

出典：一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成29年佐賀県貿易白書」

イ 品目別輸出額

(単位：億円、%)

年次 品目別	H25		H26		H27		H28		H29	
	輸出額	構成比								
農水産物・飲食料品	4.8	0.2	2.8	0.1	5.0	0.2	7.6	0.3	8.3	0.3
調味料・その他	60.5	2.5	45.7	1.9	41.6	1.6	34.5	1.4	34.1	1.3
木竹材・紙製品	0.8	0.0	12.7	0.5	19.7	0.7	2.7	0.1	28.3	1.0
化学・医薬品	3.7	0.2	2.3	0.1	1.9	0.1	2.1	0.1	3.4	0.1
石油・ゴム製品	427.2	17.3	428.8	17.6	426.2	15.9	390.1	15.4	360.3	13.4
一般陶磁器	0.5	0.0	1.6	0.1	1.6	0.1	1.3	0.1	1.9	0.1
工業用陶磁器	2.1	0.1	3.3	0.1	1.4	0.1	1.8	0.1	3.2	0.1
金属加工製品	761.7	30.8	893.8	36.7	1,029.3	38.5	894.4	35.3	1,101.3	40.9
電気・電子機器	307.4	12.4	315.3	12.9	306.0	11.4	413.9	16.3	459.4	17.1
一般機械	96.4	3.9	92.9	3.8	111.1	4.2	90.9	3.6	102.2	3.8
船舶	774.3	31.3	622.1	25.5	716.9	26.8	676.7	26.7	572.4	21.2
その他	30.4	1.2	14.6	0.6	13.3	0.5	15.6	0.6	19.7	0.7
合計	2,470.0	100.0	2,436.0	100.0	2,674.1	100.0	2,531.5	100.0	2,694.2	100.0

小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

出典：一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成29年佐賀県貿易白書」

ウ 地域別輸出額

(単位：億円、%)

年次 地域別	H25		H26		H27		H28		H29	
	輸出額	構成比								
北米	372.5	15.1	386.2	15.9	417.9	15.6	375.6	14.8	401.4	14.9
欧州	436.7	17.7	349.4	14.3	342.9	12.8	347.4	13.7	303.4	11.3
オセアニア	34.6	1.4	29.4	1.2	145.1	5.4	126.7	5.0	79.9	3.0
アジア	964.2	39.0	1,093.8	44.9	1,269.5	47.5	1,318.3	52.1	1,412.8	52.4
中東	46.6	1.9	41.5	1.7	40.3	1.5	40.7	1.6	45.8	1.7
アフリカ	292.5	11.8	305.6	12.5	205.0	7.7	33.8	1.3	60.6	2.2
中南米	322.8	13.1	230.0	9.4	253.4	9.5	289.2	11.4	390.3	14.5
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県計	2,470.0	100.0	2,436.0	100.0	2,674.1	100.0	2,531.5	100.0	2,694.2	100.0

小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

出典：一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成29年佐賀県貿易白書」

工 品目別輸入額

(単位：億円、%)

年次 品目別	H25		H26		H27		H28		H29	
	輸入額	構成比								
農水産物	211.0	51.8	205.9	50.1	214.9	52.1	174.3	37.0	197.7	46.9
飲食料品	14.2	3.5	13.1	3.2	14.1	3.4	13.2	2.8	14.4	3.4
石材	0.5	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1
木竹材	1.5	0.4	1.2	0.3	1.7	0.4	1.7	0.4	1.3	0.3
衣料品・その他	28.4	7.0	34.3	8.4	6.8	1.6	24.0	5.1	23.9	5.7
化学・医薬品	54.3	13.3	72.6	17.7	55.6	13.5	121.2	25.7	60.3	14.3
金属加工製品	49.2	12.1	35.8	8.7	53.4	12.9	65.6	13.9	70.6	16.8
電気・電子機器	17.0	4.2	13.7	3.3	31.7	7.7	35.0	7.4	20.4	4.8
一般機械	8.4	2.1	14.3	3.5	15.4	3.7	19.3	4.1	16.7	4.0
玩具・レジャー用品	0.1	0.0	0.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
家具・調度品	5.7	1.4	5.0	1.2	5.0	1.2	4.0	0.9	4.7	1.1
雑貨・その他	16.9	4.2	13.7	3.3	13.5	3.3	12.0	2.5	10.7	2.5
合計	407.2	100.0	410.9	100.0	412.6	100.0	470.7	100.0	421.4	100.0

小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

出典：一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成29年佐賀県貿易白書」

オ 地域別輸入額

(単位：億円、%)

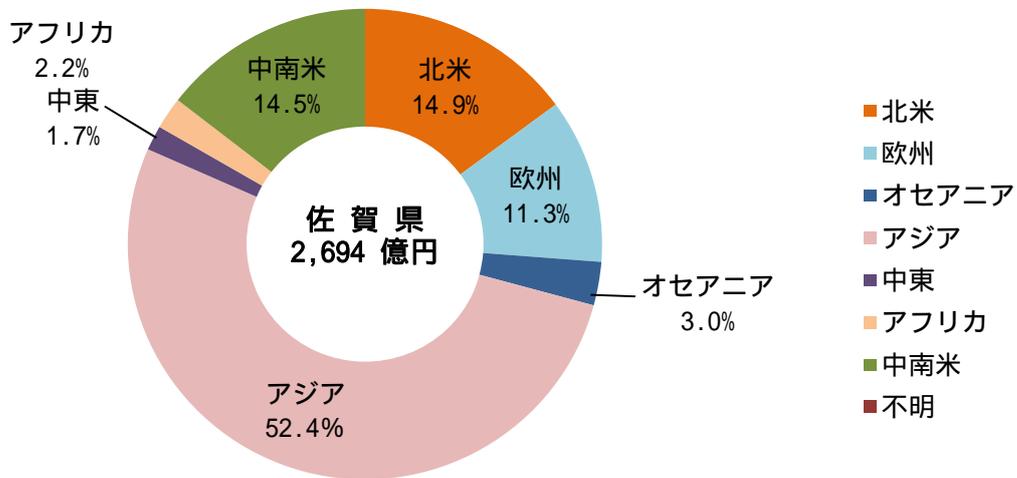
年次 地域別	H25		H26		H27		H28		H29	
	輸入額	構成比								
北米	165.2	40.6	184.7	45.0	186.1	45.1	201.9	42.9	154.8	36.7
欧州	14.2	3.5	11.7	2.9	15.3	3.7	20.1	4.3	33.4	7.9
オセアニア	12.1	3.0	8.3	2.0	18.2	4.4	23.6	5.0	19.4	4.6
アジア	162.9	40.0	161.5	39.3	152.0	36.8	186.1	39.5	181.0	42.9
中東	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1
アフリカ	1.0	0.2	0.6	0.1	0.9	0.2	0.6	0.1	0.5	0.1
中南米	51.4	12.6	43.6	10.6	39.6	9.6	38.1	8.1	32.0	7.6
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県計	407.2	100.0	410.9	100.0	412.6	100.0	470.7	100.0	421.4	100.0

小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

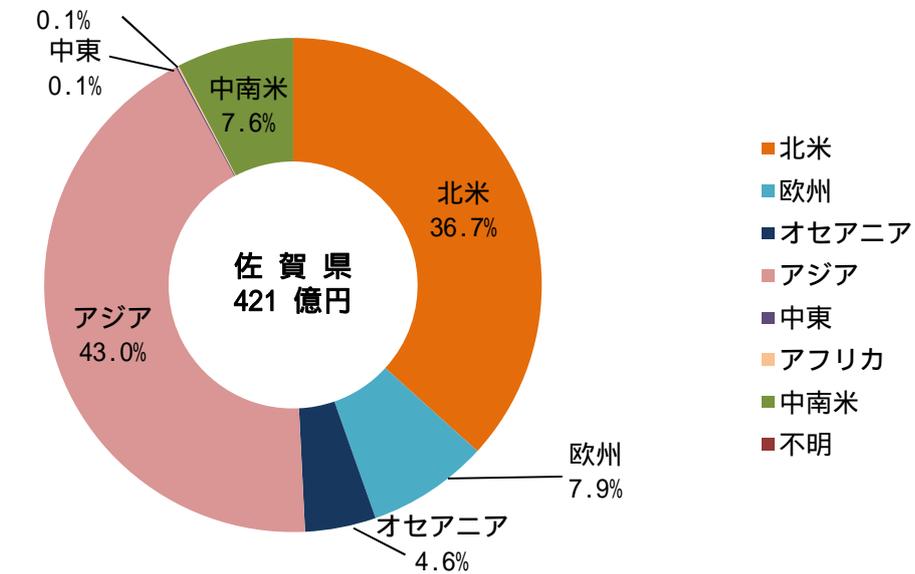
出典：一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成29年佐賀県貿易白書」

平成29年度 佐賀県地域別輸出額



平成29年度 佐賀県地域別輸入額



佐賀県の国際展開

1. 佐賀県国際ビジョン「Excellent SAGA」

佐賀県国際ビジョン～Excellent SAGA～

【国際展開の目的】

国際展開によって、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」の実現に資する。

【ビジョンの位置づけ】

佐賀県総合計画 2015 における将来（2025 年）の姿を見据えたうえで、2018 年の明治維新 150 年を経て、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるに当たり、目的に向け、佐賀県の各分野が共通の方向性を持って国際展開に取り組むためのもの。

【これまでの成果と課題】

これまで、地域と地域、人と人など様々な分野での交流が基盤であるという前提のもと、

- ・観光客誘致（その基盤の九州国際佐賀空港の国際線拡充）
- ・佐賀牛、有田焼などの県産品輸出促進と企業の海外展開支援
- ・多文化共生の地域づくりやグローバルな視野を持つ人材の育成

などに取り組んだ結果、観光客数の増加、県産品の輸出の増加、県内に住む外国人住民の増加などの成果がみられた。

一方、世界では更なるグローバル化が進展し、世界中で人、モノ、情報の行き来が盛んになり、海外と接することが日常となっている。

そうした中、これまでの取組の成果を踏まえ、更に発展進化させ、「世界に誇れる佐賀づくり」を実現するためには、幕末維新期の「志」を受け継ぎ、世界基準でものごとを考え、海外の視点や技術等を取り入れ、更なる佐賀の魅力向上を図り、加えて、その魅力を世界へ発信していくことが必要となっている。

佐賀県国際ビジョン～Excellent SAGA～

【これからの取組の基本姿勢】

「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を実現するため、150 年を迎える幕末維新期の「志」を受け継ぎ、次の基本姿勢を持って国際展開を図る。

「創造的豊かさ」による佐賀の魅力向上

- ・幕末の佐賀は、藩主自らがオランダ船に乗り込むなど、西洋の科学技術等を精力的に受け入れ、佐賀が持つ人材と資源を活用し、最先端のものを生み出していった。
- ・このようなことを成し得たのは、当時の佐賀人が、進取の精神によって異国の文化や技術等を受け入れ、受け入れたものと佐賀独自のものとを組み合わせ、より優れたものを生み出していき、言わば「創造的豊かさ」を持ち合わせたことにある。
- ・これからのグローバル社会においては、このような「志」を受け継ぎ、海外の文化、視点、発想、考え方、技術等との接触によって、県民一人ひとりが「創造的豊かさ」を養い、佐賀の本物に磨きをかけ、新しい「佐賀らしさ」を生み出し、佐賀の魅力向上につなげていく。

佐賀の魅力の総合展開

- ・「観光」「物産」「食」など、複数の取組がバランスよく連携した佐賀の魅力づくりと発信を行うことで、佐賀への注目を増す。
- ・佐賀への注目の拡大は、県民の佐賀への誇りと愛着の深まりにつながり、より佐賀県の魅力向上につながっていく。
- ・また、佐賀の魅力が「人」にあることにも留意する。

相互理解と Win-Win の関係づくり

- ・お互いが相手のことを知り、価値観を認めあう「相互理解」の意識を高め、日本人と外国人がともに住みやすい「多文化共生」の地域づくりにつなげていく。
- ・海外との連携・交流については、お互いの特長を提供・補完しあい、双方にとって有益な関係を構築していく。

佐賀県国際ビジョン ~Excellent SAGA ~

【目的】

幕末維新期に世界を見据えた「志」を受け継ぎ、刻々と変化する国際情勢を的確にとらえ、「創造的豊かさ」を持って、佐賀にある本物の資源に磨きをかけ、世界基準でものごとを考え、あらゆる機会を有効に活用しながら、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を目指す。

【基本姿勢】

これまでの取組の成果を踏まえ、更に発展進化させるため、次の基本姿勢を持って、国際展開を図る。「創造的豊かさ」による佐賀の魅力向上 佐賀の魅力の総合展開 相互理解とWin-Winの関係づくり

【考え方】

(海外の視点・発想等を取り入れた) 新たな佐賀の「魅力づくり」	(佐賀の魅力の効果的に伝える) 総合的・柔軟な「海外展開」	(人・モノ・情報が行き来する) 国際展開の「基盤づくり」
<p>海外の文化、視点、発想、考え方、技術等に触れることによる新たな発想の獲得や、それを取り入れた商品開発など、佐賀の本物の磨きあげや再発見による新たな魅力づくり。</p> <p>佐賀を訪れる人の目的や嗜好にあわせ、複数の佐賀の魅力を組み合わせた提供。</p> <p>海外からの評価を得ることを通じた佐賀への誇りと自信の醸成による自発的な魅力の創出。</p>	<p>展開先の特性を理解し、現地の嗜好にあわせたプロモーションや商品販売などの現地展開。</p> <p>空港路線、ロケ誘致や農産物輸出など、相手先に向けた適切な分野の組み合わせと、適切なタイミングでのプロモーション。</p> <p>佐賀の魅力を組み合わせた、ストーリーのある情報発信。</p> <p>佐賀の魅力を生み出す「人」による高い共感を呼ぶ情報発信とコミュニケーションの創出。</p> <p>民間、県の取組のPR。</p>	<p>(人的基盤)</p> <p>国際感覚をもつ人材づくり 多文化共生の地域づくり 外国人が活躍できる地域づくり 相手先とのWin-Winの関係づくり ・信頼関係づくり</p> <p>(施設等基盤)</p> <p>アジアへの拠点として優位な地理的条件を生かした交流拡大のための施設基盤づくり(空港・港湾充実等) 多言語化等コミュニケーションの基盤づくり</p>

- ・「国際戦略本部会議」や庁内会議等を活用し、共通の基本姿勢、考え方によって、各施策分野が連携した効果的な国際展開を行う。
- ・民間の取組と情報共有・連携をしながら、効果的な事業実施を行う。

2. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業（平成30年度）

課名	事業名	内容
国際課	韓国交流推進事業	県の重点交流地域（全羅南道）とのスポーツ交流等を実施した。 ・全羅南道国楽団受入（H30.6月）：国楽団員15名受入 ・佐賀県小学生テコンドー選手派遣（H30.11月）：小学生30名 ・ソムジンガンマラソン選手派遣（H31.2月）：市民ランナー2名 ・全羅南道知事来佐（H31.3月）：知事他8名 ・さが桜マラソン選手団受入（H31.3月）：全羅南道選手他4名
	日韓海峡沿岸交流事業	九州北部三県（福岡、佐賀、長崎）、山口県及び韓国南岸一市三道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との広域的かつ多様な交流を目指し、日韓海峡沿岸県市道交流知事会議を実施した。 ・日韓海峡沿岸県市道交流知事会議（H30.11.13～14 韓国釜山広域市）
	中国交流推進事業	県の重点交流地域（遼寧省、貴州省）とのスポーツ、文化、青少年等の分野における交流事業を実施した。 ・貴州省青少年受入（H30.8月）：高校生10名 ・貴陽国際マラソン大会選手派遣：（H30.8月）：選手3名、引率2名 ・中国共産党貴州省委員会書記来佐：（H30.9月）：17名 ・肥前さが幕末維新博覧会「遼寧の日」遼寧民族楽団招聘10名 ・さが桜マラソン選手団受入（H31.3月）：遼寧省選手3名、貴州省選手3名、引率3名
	世界とつながる佐賀県青少年国際交流推進事業	佐賀県が持つ中国・韓国のネットワークを活用して、重点交流地域での姉妹校等を目指した学校交流を支援した。交流実施校：16校
	海外使節団派遣事業費補助	南カリフォルニア県人会が実施する佐賀県出身の大学生をアメリカ西海岸に派遣し、国際的な人材を育成する事業に対して経費の一部を助成した。 ・派遣先：サンフランシスコ、ロサンゼルスなど ・研修内容：現地で活躍する起業家、実業家、技術者等によるセミナー／現地企業・NPO団体、現地大学の訪問（研究者や学生との意見交換） ・派遣人数：9名 ・派遣期間：H31.2.25～3.8 ・報告会：H31.3.17 平成30年度は「弘道館2 - 藩校しようぜ。 - 」特別講座として開催。
	JICAボランティア支援事業	佐賀県出身JICAボランティアの活動報告「とびだそう！世界へ」を佐賀県ホームページに掲載し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。また、派遣中の隊員へ佐賀県情報等を送付し活動を支援した。
	自治体職員協力交流事業	本県と友好関係のある国・地域（中国貴州省、遼寧省及び韓国全羅南道）との交流を促進するため、職員の受入を行った。 ・全羅南道職員を受入：1名（H30.4月～H31.3月）
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 支援金受給者：22名 支援者：1団体、13企業、2個人
	国際交流支援拠点の運営	多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営を行った。
	留学生受入拡大事業	外国人と共生する地域づくりを加速し、海外から見て魅力・特色ある県になるとともに、県民や県内企業の海外展開、外国人活用の機運を醸成する契機とするため、外国人留学生を県内に呼び込む取り組みを行った。 ・日本語学校外国人留学生に対する奨学金の支援 ・日本語学校施設整備支援
	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により国際交流員4名（英語圏1名、韓国2名、中国1名）を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。
	外国語指導助手（ALT）、国際交流員（CIR）の設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により、日本と諸外国の人々の相互理解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手（Assistant Language Teacher: ALT）、国際交流員（Coordinator for International Relations）の設置のサポートを県内の市町に実施した。 ・JETプログラムによるALT・CIR・SEA（スポーツ国際交流員）数 県及び10市町に46名（国籍：アメリカ、イギリス、オーストラリア、アイルランド、カナダ、ジャマイカ等）
県の認知度向上のための情報発信	施策上重要な地域において、佐賀県の認知度向上やキーパーソンとの関係構築を図るため、外務省や在外日本国公館と連携し、佐賀県全体の情報発信を行った。 ・フィリピン大使公邸で佐賀の魅力を総合的に発信するPRレセプション実施 ・シンガポールのホテルで輸出に係る現地キーパーソンへのPRディナー開催	

課名	事業名	内容
国際課	創造的プラットフォーム事業	<p>オランダとの連携により推進している海外クリエイター（デザイナー、アーティストなど）の創作活動のための受入を通じて、クリエイティブな人材が集積するプラットフォームの形成を推進する。そのことにより、世界に発信できる魅力的な地域づくりを行う。</p> <p>クリエイターを受け入れることで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有田の事業者が新たな創作の発想を得る ・クリエイターが絶えず訪れることで、そのクリエイターや関係者によって、世界に「ARITA」という場所や技術力の高さを世界に発信する <p>等、有田焼産地のブランディングなどの長期的な効果を目指すものであり、行政が産地とともに推進する。</p> <p><平成30年度受入実績></p> <p>第1期：6月～8月 3名（オランダ、ドイツ、ギリシャ） 第2期：9月～11月 2名（オランダ、ポルトガル） 第3期：1月～3月 3名（イギリス、ブルガリア）</p>
	オランダハウス事業	<p>肥前さが幕末維新博覧会のパビリオンの一つとして、オランダのことを知ってもらい、佐賀とオランダの交流の拠点となるよう、アート・食・水辺をテーマにしたオランダハウスをオープンした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストインレジデンス：オランダのクリエイターが佐賀に滞在し、地域の人々とふれ合いながら創作活動を行う。 ・ギャラリー：佐賀とオランダの交流の歴史の紹介や、クリエイターの作品展示等。 ・カフェ（シュガーロードマーケット）：オランダの伝統菓子等を販売。 ・水辺テラス：和舟・カヤック体験等のアクティビティを実施。
空港課	上海便の運航	<p>九州佐賀国際空港と上海浦東国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と中国との交流拡大を図った。</p> <p>運航路線：九州佐賀国際空港 上海浦東国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：H30.3.25～H31.1.23 週3往復（月・水・土曜日） H30.1.24～ 週4往復（月・水・木・土曜日） 利用者数：52,234人</p>
	ソウル便の運航	<p>九州佐賀国際空港と仁川国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と韓国との交流拡大を図った。</p> <p>運航路線：九州佐賀国際空港 仁川国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：H30.3.25～H30.10.27 週9往復（水・金曜日は1日2往復、それ以外は1往復） H30.10.28～ 1日1往復 利用者数：125,104人</p>
	プサン便の運航	<p>九州佐賀国際空港と金海国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と韓国との交流拡大を図った。</p> <p>運航路線：九州佐賀国際空港 金海国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：週4往復（月・水・金・日曜日） H30.12.23から定期便として運航 利用者数：14,484人</p>
	テグ便の運航	<p>九州佐賀国際空港と大邱国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と韓国との交流拡大を図った。</p> <p>運航路線：九州佐賀国際空港 大邱国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：週2往復（金・日曜日） H30.12.23からプログラムチャーター便として運航 利用者数：5,230人</p>
	台北便の運航	<p>九州佐賀国際空港と台湾桃園国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と台湾との交流拡大を図った。</p> <p>運航路線：九州佐賀国際空港 台湾桃園国際空港 運航会社：タイガーエア台湾 運航便数：週2往復（木・日曜日） H29.6.12からプログラムチャーター便として運航し、H30.10.28から定期便化 利用者数：32,843人</p>
港湾課	港湾振興事業	<p>【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るためベトナムハノイの船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際定期コンテナ航路：5航路週7便（H31.3月現在） （ 華南・韓国航路 大連・青島航路 上海航路 釜山航路（3便/週） 国際フィーダー航路（神戸港経由）） ・H30コンテナ取扱実績数：37,346TEU <p>【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港 ・貨物誘致及び取扱量増加及び観光客船の誘致等に関する事業を実施した。</p>

課名	事業名	内容
	SAGA SEA 2018- 佐賀とオランダの“再会”が22世紀の文化をつくる	<p>県が2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるオランダのホストタウンに登録されたことを契機として、オランダとの文化交流を深め、オランダの文化的多様性を範とした音楽事業を開催した。</p> <p>EUROPEAN JAZZ TRIO at 外御書院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.7.25 ・場所：佐賀城本丸歴史館 ・アーティスト：EUROPEAN JAZZ TRIO（ヨーロッパ・ジャズ・トリオ） ・料金：一般・大学生3,500円、高校生以下1,000円 ・参加人数：120名 <p>JAZZ県庁 - JAZZをオフィスで体感 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.7.27 ・場所：SAGA CHIKA（佐賀県庁新館地下1階） ・アーティスト：フランス・ファン・ダー・ホーヴェン(b) ・料金：無料 ・参加人数：80名 <p>水辺の音楽寺子屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.7.28 ・場所：オランダハウス（旧佐賀銀行呉服町支店） ・アーティスト：マーク・ファン・ローン(pf)、フランス・ファン・ダー・ホーヴェン(b) ・料金：無料 ・参加人数：100名 <p>ジョバンニ・グイディ ピアノ・ソロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H31.2.2 ・場所：酒の蔵えん（EDAUME（旧枝梅酒造）内） ・アーティスト：ジョバンニ・グイディ(pf) ・料金：500円（ワンドリンク） ・参加人数：60名
文化課	東京オリパラ文化プログラム推進事業	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、県内での文化プログラムを推進してその機運醸成を図るとともに、県と海外各国との文化交流を促進することにより、県の文化的な魅力を国内外に発信し、同時に、文化の相互理解や愛着を深めることにより、交流人口の拡大、地域の活性化等を図ることを目的に、海外との文化交流イベントを実施した。</p> <p>オランダとの文化交流</p> <p>(1) SAGA SEA 2018- 佐賀とオランダの“再会”が22世紀の文化をつくる EUROPEAN JAZZ TRIO at 外御書院、JAZZ県庁 - JAZZをオフィスで体感 -、水辺の音楽寺子屋（内容は前記のとおり）</p> <p>(2) オランダデザインワークショップ ヘリット・トーマス・リートフェルト「赤と青の椅子」の原寸大模型をオランダハウスに設置するとともに、ミニチュア模型を製作するワークショップを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.7.28 ・場所：オランダハウス（旧佐賀銀行呉服町支店）前 ・参加者：24名 <p>(3) 「ピアノの駅」プロジェクト ～ピアノの響きを辿り、佐賀を旅する～ JR新鳥栖駅及びJR小城駅にアップライトピアノを設置し、誰もがピアノに触れ日常そのものが音楽である環境づくりを推進</p> <p>< 関連イベント ></p> <p>オープニングイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.8.19 ・場所：JR新鳥栖駅 ・来場者：150名 <p>オープニングイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.9.8 ・場所：JR小城駅 ・来場者：200名 <p>ピアノの駅コンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.12.21 ・会場：アバンセ円形ホール ・来場者：200名 ・入場料：前売3,500円、当日4,000円（県内の小中高生50名を無料招待） ・アーティスト：カイル・シェパード(pf)、デビッド・マシューズ(pf)、松永誠剛(b) <p>音楽寺子屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.12.22 ・会場：JR小城駅 ・来場者：200名 ・アーティスト：カイル・シェパード(pf)、デビッド・マシューズ(pf)
	東京オリパラ文化プログラム推進事業	<p>ニュージーランドとの文化交流 アレクサンダー・ベネット氏の講演、ニュージーランドの食や文化を体験できるイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.11.10 ・場所：県立佐賀城本丸歴史館 ・参加者：1,300名 <p>フィジーとの文化交流 2018さが国際フェスタ月間メインイベント内でブースを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：H30.10.13 ・場所：唐津市役所特設会場 ・参加者：1,600名

課名	事業名	内容
文化課	東京オリパラ文化プログラム推進事業	<p>タイとの文化交流 タイフェスティバル in SAGA 2018（タイ伝統工芸体験ワークショップ、展示、マルシェ、タイ王立舞踊団による舞踊等、県内文化団体による伝統芸能の公演）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H30.10.20～21 ・場所：こころざしのもり ・参加者：13,000名
	海外映画ドラマ等のロケ誘致	<p>映画やドラマなどの映像を通じた佐賀県の情報発信及び観光振興を目的として、海外映画ドラマ等のロケ誘致を行った。</p> <p>【誘致実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ短編映画「The WALKING FISH」（H30.5月撮影） ・フィリピン映画「Hanggang Kailan?」（H30.11～12月撮影） ・フィリピン映画「Between Maybes」（H31.3月撮影）
佐賀県立博物館・美術館	台湾十三行博物館との交流事業	<p>台湾十三行博物館との交流事業 台湾新北市十三行博物館が主催する2018考古学国際フォーラム及び新北市考古生活フェスティバル2018へ参加した。</p> <p>日時：H30.4.25～30 会場：台湾十三行博物館 内容：2018考古学国際フォーラムでは、ワークショップで体験学習（低融合金を用いた鑄造体験）について発表・実施した。考古生活フェスティバル2018では、吉野ヶ里歴史公園で実施している鑄造体験（ミニ巴形銅器と銅鏡）を行った。2日間でのべ400名を超える希望者に体験事業を実施した。</p>
九州陶磁文化館	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業（海外学芸員の招聘事業）	<p>（1）海外学芸員の招聘事業 有田焼を所蔵するヨーロッパ等の主要博物館から学芸員を招聘し、県民や子どもたちとの交流事業を実施することで、有田焼のすばらしさ、佐賀のやきもの文化の魅力を再認識してもらい、多くの外国人観光客が佐賀を訪れることを目的に実施した。</p> <p>【概要】 招聘者数 3か国から3名（招聘国：アメリカ、チェコ、オランダ）</p> <p>日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.10.24 海外学芸員3名が、県内の中学校、高等学校、佐賀大学を訪問し、交流事業を実施（実施学校数：3校） ・H30.10.25 海外学芸員による、窯元や博物館施設等の視察 ・H30.10.27 国際学芸員サミット2018「世界の学芸員が語る有田焼・佐賀の魅力」 会場：九州陶磁文化館 講堂 参加者：約100名
	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業（海外学芸員の招聘事業）	<p>（2）九州陶磁文化館学芸員の海外派遣事業 ヨーロッパ等の主要博物館を九州陶磁文化館の学芸員が訪問し、整理・鑑定や助言を行うことで、有田焼の展示機会の促進やより正確な情報発信に寄与し、海外における有田焼や九州陶磁文化館のプレゼンス向上につなげることを目的に実施した。</p> <p>【概要】 調査実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ（ビルニッツ宮殿・工芸博物館） 調査機関：H30.6.15 ・アメリカ（ロサンゼルス・カウンティ美術館） 調査期間：H31.1.21～26 ・チェコ（プラハ国立美術館ほか） 調査期間：H31.3.10～17
	国際学術・文化交流	<p>○ドイツ・ドレスデンプロジェクトへの協力 ドレスデンプロジェクト（ドレスデン国立博物館を中心とする磁器コレクションの総合的な調査研究・目録作成事業）からの依頼を受け、資料解説等の作業に協力し、平成30年6月に現地で行われたワークショップ（アウグスト強王コレクションにかかる資料検討会）や国際シンポジウム「Porcelain circling the Globe（世界をつなぐ磁器）」に学芸員を派遣した。</p> <p>○タイ王国文化省芸術局が主催する国際シンポジウムへの協力 タイ王国文化省芸術局からの依頼を受け、平成31年3月に国際シンポジウム「Ancient Maritime Cross-cultural Exchanges of Asia（アジアの古代海上異文化交流）」に学芸員（館長）を派遣した。</p> <p>○韓国国立光州博物館との学術交流協定 韓国の国立博物館の中で陶磁器を主なテーマとして活動を行うこととなった光州博物館と平成31年3月27日に5年間の学術交流協定を締結した。 今後、所蔵品の相互貸借及び展覧会の実施、共同研究及び学術研究大会等の学術活動、研究者の相互訪問及び研修、学術情報及び学術刊行物の交換等、相互の陶磁器研究の発展を目的として活動を行う予定。</p>
	外国人来館者等への英語対応	<p>○英語対応職員の配置 英語対応の非常勤職員を配置し、外国人来館者への展示案内、展示説明等の英語表記、SNSによる海外への情報発信などを行った。</p>

課名	事業名	内容
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	<p>○韓国国立晋州博物館との交流事業 平成14年度に国立晋州博物館との間で学術交流協定を締結し、展覧会・資料調査・文化財の貸与など互いの事業に対して相互協力を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・晋州博物館の協力による韓国内倭城調査（H31.3月） ・国立晋州博物館特別展（2019年秋開催予定）に伴う佐賀県内資料調査への協力（H31.3月） <p>韓国語講座 期間：前期 H30.6.9～7.28 初級28名 中級26名 後期 H30.9.29～12.15 初級26名 中級28名 会場：本館 図書閲覧室 講師：本館 国際交流員 金夏恩（キム・ハウン） 韓国語スピーチコンテストinなごや 日時：H30.10.20 会場：本館ホール 出場者：24名（スキット部門10組20名、スピーチ部門4名） 協賛：カメラアライン株式会社、JR九州高速船株式会社、株式会社ティーウェイ航空、エアブサン株式会社 後援：駐福岡大韓民国総領事館、韓国観光公社</p>
	県内学校の日韓交流事業への協力	<p>唐津市立名護屋小学校 ・韓国文化学習の指導 内容：韓国語・韓国文化に関する出張授業を実施 対象及び回数：全校児童、全11回 ・交流事業への協力 内容：韓国萬徳初等学校による名護屋小学校訪問の連絡調整や交流会支援（通訳等）</p> <p>県立杵島商業高等学校 ・韓国文化学習の指導 内容：韓国文化等に関する出張授業を実施 対象及び回数：1,2年生10名、全2回 ・交流事業への協力 内容：生徒の訪韓交流にかかる事前調整等</p>
	博学協働授業	<p>県立唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 概要：唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定された学校設定科目「日韓交流史」（2単位）を、本館と学校との協働により年間を通じて授業を運営している。 対象及び回数：環境文化系列2年生（平成30年度は23人）、計26回 平成30年度の授業内容： ・名護屋城跡並びに陣跡の見学学習及び発掘調査・遺物整理の体験学習 ・日韓交流史や郷土史に係る近隣の遺跡・文化施設等の見学学習 ・日韓交流史をテーマとした劇等の発表</p>
佐賀城本丸歴史館	外国語おもてなし事業	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀城本丸ボランティアによる来館者への展示解説の中国語、韓国語通訳 ・館内表示についてのアドバイス ・中国語と韓国語の通訳ガイドが毎週在館（中国語：毎週月曜日 / 韓国語：毎週金曜日）
	広報誘客事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版館内イラストマップの配布（英語、中国語 {簡体字、繁体字}、韓国語） ・外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）40台
スポーツ課	佐賀県大規模国際スポーツ大会 キャンプ誘致推進協議会事業 (パートナーシップ戦略事業)	<p>ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックなどの事前合宿誘致に向け、海外の選手及び関係者とスポーツを通じた交流を積極的に行いパートナーシップを形成するため、スポーツ交流等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィジーラグビー交流事業 フィジーからラトゥ・カダヴレヴ・スクール（RKS）を迎え入れ、ラグビー交流を実施（受入数：34名） ・オランダサッカー交流事業 オランダからアヤックスU-14チームを迎え入れ、サッカー交流を実施（受入数：28名） ・タイ王国アーチェリー交流事業 タイ王国からU-18アーチェリー代表を迎え入れ、アーチェリー交流を実施（受入数：8名） ・ニュージーランド陸上競技交流 佐賀県の高中生中距離選手をニュージーランドに派遣し、陸上競技交流を実施（派遣数：12名）
	佐賀県大規模国際スポーツ大会 キャンプ誘致推進協議会事業（事前キャンプ受入）	<p>ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックなど世界規模のスポーツイベントの開催に向け、経済波及効果のみならず、世界への情報発信、県民の夢・感動など、スポーツのチカラによるレガシーを構築することを目的とした協議会を設立し、佐賀県内へのキャンプ誘致活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア代表トライアスロンチームキャンプ受入 世界トライアスロンシリーズ横浜大会に出場するロシア代表トライアスロンチームによる事前キャンプを実施（受入数：12名） ・オランダ空手道選手キャンプ受入 空手-1プレミアリーグ2018東京大会に出場するオランダ空手選手の事前キャンプを実施（受入数：3名）

課名	事業名	内容
観光課	外国人観光客誘致対策事業(一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	<p>(1) 外国人観光客誘致対策事業</p> <p>○韓国観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行博、商談会等への参加3件(ハナツアー旅行博覧会、MODE TOUR旅行博覧会) ・観光説明会、商談会の開催1件(佐賀、ソウル) ・セールスプロモーション16回(ソウル、釜山及び光州の旅行会社等) ・旅行会社やメディアの招聘16件(ソウル及び釜山の旅行会社やメディア等) ・旅行会社とのタイアップ13社 ・視察団体の受入れ6件(農業視察、行政視察、教育機関等) ・韓国語版ホームページ・Facebook・インスタグラムの運営、ガイドブックの掲載 ・メディアミックスプロモーション(テレビ、新聞、ネット等による情報発信) ・旅行会社への宿泊補助(県内宿泊商品対象) ・個人旅行者向けの交通アクセス補助
		<p>○中国人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州観光商談会への参加6件(北京、西安、青島・煙台、雲南省、香港) ・佐賀県観光商談会の開催1回(上海) ・海外旅行博覧会への出展5回(上海世界旅行博覧会、中国(広東省)国際旅游産業博覧会等) ・セールスプロモーション25回(上海及び広州等の旅行会社等) ・旅行会社やメディアの招聘17件(上海及び北京等の旅行会社やメディア等) ・修学旅行受入・学校交流5件 ・旅行会社とのタイアップ30社 ・簡体字版ホームページ及び微博(ウェイボー)の運営 ・メディアミックスプロモーション(テレビ、新聞等による情報発信) ・広報支援(機内誌をはじめとする業界紙での商品掲載など)
		<p>○台湾人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行博への参加2件(日本の観光・物産博2018、2018台北国際旅行博) ・佐賀県観光商談会の開催1件(台北) ・セールスプロモーション10回(台北市、高雄市の旅行会社等) ・旅行会社やメディアの招聘7件(旅行会社やメディア等) ・現地スタッフの配置、現地セールス10件 ・旅行会社とのタイアップ18件 ・繁体字版ホームページの運営、Facebookによる情報発信 ・メディアミックスプロモーション(テレビ、新聞等による情報発信)
		<p>○東南アジア地域観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンコク観光プロモーション(佐賀県観光説明会・商談会)、観光イベントの開催 ・九州観光商談会等への参加1件(タイ) ・セールスプロモーション11回(タイ、シンガポール、マレーシア) ・旅行会社とのタイアップ15件 ・旅行会社への宿泊補助(県内宿泊商品対象) ・旅行会社やメディアの招聘12件(タイ、インドネシア、シンガポール、マレーシア) ・タイ語版ホームページの運営、タイ語Facebookによる情報発信、タイ語ウェブサイト「Wongnai Travel」における情報発信、シンガポール・フィリピン向けウェブキャンペーン ・観光博への出展5回(タイ、シンガポール、マレーシア) ・タイ語ガイドブック内容更新の上増刷
		<p>○欧州地域観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション(イギリス、フランス) ・現地プロモーションに参加(イギリス、フランス) ・旅行会社やメディアの招聘5件(フランス、ランド社) ・トラベルライターによるオンラインでの記事発信 ・英語版ホームページ及びFacebookの運営 ・「ミシュラン・グリーンガイド・佐賀」のWebサイト更新 ・英語版デジタルガイドブック発行 ・東京都と連携したモデルルート開発及びメディア招聘
		<p>(2) 受入環境整備事業</p> <p>観光客受入環境整備支援事業：多言語化ほか</p> <p>観光施設や宿泊施設などの受入施設において、外国人へのサービスを充実させるため、外国語での案内表示、パンフレット、HPでの案内などの経費の一部を助成し、外国人観光客受入の環境整備を促進した。(21団体が整備)</p> <p>国際会議開催経費補助</p> <p>国際会議等のコンベンション開催経費の一部を助成することにより、コンベンションの誘致を促進した。(6件)</p> <p>言語コミュニケーションの問題により円滑な旅行が困難な外国人観光客等をサポートするために、通訳サービスが可能なコールセンターと目的地や店舗情報などを外国語で検索ができる観光アプリ「DOGAN SHITATO?」を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コールセンター(24時間365日対応) 対応言語：英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、ミャンマー語、クメール語 ・観光アプリ「DOGANSHITATO?」 対応言語：英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語、日本語

課名	事業名	内容
観光課	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	<p>○日韓海峡沿岸広域観光協議会事業 北部九州3県及び山口県と韓国1市3道（釜山広域市、慶尚南道、済州特別自治道、全羅南道）で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第25回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のため、欧州メディアの招聘事業、東南アジア（ベトナム）メディアの招聘事業、欧米向け情報発信事業を日韓共同で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓海峡沿岸広域観光交流会議 課長会議：H30.5.30 福岡県 ・欧州メディアの招聘事業 事業内容：日韓海峡沿岸地域の観光地を情報発信し誘客を促進するため、イギリス・フランスのメディア招聘を実施 開催時期：H30.10.14～10.23 場所：山口県、福岡県、全羅南道、済州特別自治道 ・東南アジア（ベトナム）メディアの招聘事業 事業内容：東南アジアへ日韓海峡沿岸地域の観光情報を発信し誘客を促進するため、ベトナムのテレビ局や旅行雑誌社等の招聘を実施 開催時期：H30.10.5～10.12 場所：佐賀県、長崎県、釜山広域市、慶尚南道 ・欧米向け情報発信事業 事業内容：外国人目線での4県の観光スポット等を特集しWEBサイトに掲載、情報発信を実施 掲載期間：H31.1.31～3.18 対象国：フランス、イギリス等
法務私学課	私立中学校・高等学校運営費補助事業（教育改革推進加算）	<p>私立中学校・高等学校における運営費の中で、「次世代を担う人材育成の促進」に関する経費について補助額の加算を行った。1校あたり900千円を上限に加算した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人指導員の配置 ・外国の学校等との交流 ・外国への留学に係る費用の助成等
自治体修習所	県職員外国語習得支援	<p>グローバル人材の育成と、語学力向上に取り組む職員の支援のため、以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際派養成スクール（語学教室：英語・中国語・韓国語） （ベーシックコース：21名、アドバンスコース：7名） ・自己啓発活動支援事業（外国語検定試験受験経費助成：17名） ・自己啓発活動支援事業（英会話スクール受講等経費助成：1名）
環境課	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	<p>韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）と北部九州3県（佐賀県、福岡県、長崎県）及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地下水の成分等調査と日韓比較」の実施（H30～31年度） ・「地下水の成分等調査と日韓比較」の実施等に係る協議 H30.5.23～25（山口県） H30.10.17～19（済州特別自治道）
女性の活躍推進課	<p>県民グループ派遣・招へい支援事業（県立男女共同参画センター）</p> <p>韓国全羅南道女性団体との交流支援事業（県立男女共同参画センター）</p>	<p>男女共同参画の推進に必要な知識を深め、リーダーとしての資質を高めるための海外研修や会議等への参加、または海外民間グループの先進活動事例の調査や海外民間グループとの交流を行う県内民間グループに対して助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成グループ：1グループ（調査国：メキシコ） <p>県が友好協定を締結し、多様な分野における交流を促進している韓国全羅南道と男女共同参画分野においても交流促進を図るため、今後継続した交流を予定している団体に対し、公募により、全羅南道との交流促進を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成グループ：1グループ
産業人材課	産業人材ステーション事業	<p>知識や技術を持った求職者と即戦力、あるいは将来的に事業の中核を担う人材（UJIターン人材、グローバル人材）を求める企業とのマッチング支援を行うことで、県内企業の人材確保を支援している。平成30年度は留学生1名が就職した。</p> <p>グローバル人材とは、外国人留学生または、留学・海外でのビジネス・ボランティア活動等の経験があり、外国語に堪能な求職者。</p>
流通・貿易課	<p>Oishii!SAGA 輸出チャレンジ事業（（公財）佐賀県地域産業支援センター さが県産品流通デザイン公社事業費補助）</p> <p>県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業（（公財）佐賀県地域産業支援センター さが県産品流通デザイン公社事業費補助）</p>	<p>県内加工食品事業者の海外市場への輸出を促進するため、海外販路拡大へ向けた取組に必要な経費に対する補助などの支援を実施した。</p> <p>補助事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付企業数 26社（申請企業数 37社） ・事業報告会及び海外情勢研修会の開催 ・H30.7月、10月 食品グローバル研究会開催（計2回） <p>平成28年度に実施した県産品輸出可能性等調査事業のフォローアップ及び新規国・品目の市場調査を実施し、県産品の海外への販路拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国向け加工品の輸出促進 ・中国に販路を持つ国内大手商社と連携し、県内事業者の中国向け商品をブラッシュアップ ・現地展示商談会への出展 ・輸出可能性のある地域の商談会、見本市への出展 ・ブラジルでの日本酒試飲会 ・新たな国や、商流が確立していない品目の市場調査 ・中国、韓国、EU等

課名	事業名	内容
流通・貿易課	佐賀ん酒ブランド化支援事業(公財)佐賀県地域産業支援センターさが県産品流通デザイン公社事業費補助)	<p>美食の発信地であるフランスの高級レストランに佐賀県産の日本酒が採用されることを目指し、以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内蔵元向けセミナーの開催 フランスにおける日本酒流通の現状についてセミナーを実施 現地展示商談会への出展 フランスで開催されるサロン・デュ・サケへ出展(県内11蔵が渡航)
	海外拠点の運営	<p>中国や東南アジアにおける各種事業を効果的に展開していくことを目的として、最前線で業務を行う海外拠点(香港代表事務所)を運営した。</p> <p>○海外拠点における主な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産品の販路拡大・開拓の支援・企業取引・進出の支援・「佐賀県」の認知度向上のための活動 佐賀県に観光客を誘致するための活動・現地における人脈づくり
	貿易振興事業	<p>本県における貿易の振興を図るため、佐賀県貿易協会及びジェトロ佐賀と連携し以下を実施した。</p> <p>佐賀県国際ビジネスサポートオフィスの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内企業からの貿易投資相談対応・企業ホームページ等の英語・中国語化支援 佐賀県貿易白書の作成 佐賀県ものづくりグローバル研究会の開催 セミナー4回開催・中国(広州市・深圳市)への経済視察団の派遣 貿易スキルアップ講座の開催 セミナー4回開催・港湾見学会(伊万里港)の開催
	中小企業海外展開チャレンジ促進事業	<p>県内中小企業の海外展開(海外販路開拓、海外進出)を促進するため、採択した県内企業の海外展開へのチャレンジを支援し、取組事例(モデルケース)を広く県内企業と共有することにより、海外展開に向けた機運醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象業種:製造業(食品を除く)、サービス業 支援企業数:8社(平成29年度採択:5社、平成30年度採択企業:3社) 対象事業:市場調査、商談会・展示会などへの出展、バイヤー招聘、輸送・通関(販売品を除く)、海外進出など
	米国市場開拓推進事業	<p>マーケットとして有望な米国市場におけるマーケティングリサーチや展示会出展等を行うことにより、伊万里・有田焼事業者の米国市場開拓の推進を図った。(支援事業者数:7社)</p> <p>勉強会・個別指導(商品ブランディング等)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部専門家等による助言・指導の実施 市場調査、現地テストマーケティングの実施 流通・販売の仕組みづくり支援 販路開拓(営業活動・商談)支援 北米最大規模の見本市であるNY NOW(ニューヨーク・ナウ)へ3回出展
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	<p>西日本4県(山口県・福岡県・佐賀県・長崎県)と韓国1市3道(釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道)で、資源管理の取組や養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより、日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議が開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時: H30.10.24~26 場所: 大韓民国 慶尚南道
	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	<p>○日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時: H30.11.28~30 場所: 大韓民国 慶尚南道 参加者: 14名(佐賀県4名) <p>○日韓の水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種(トラフグ、クロダイ等)の種苗を放流した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時: H30.10.25 場所: 大韓民国 慶尚南道 放流数: トラフグ 2,000尾
教育振興課	グローバル社会で生きぬくSAGA人材づくり事業	<p>グローバル化の進展に対応するため、中学生及び高校生に国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、国際社会で活躍する人材の育成事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中、高校生の海外留学等への助成 専門高校(農業、工業、商業、家庭、福祉)を対象にした未来のスペシャリスト海外研修事業の実施 中学校英語暗唱大会及び高等学校英語スピーチコンテスト等参加者を対象にした海外研修の提供 イングリッシュ・デイ、英会話体験プログラム、英会話・国際理解合宿セミナー等の体験的英語活動の実施 県が主催する中高校生を対象とした海外研修の実施
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	<p>本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、オーストラリアから16名の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。</p>
	外国語指導助手指導力等向上研修	<p>外国語指導助手を対象に、効果的な語学指導ができるような知識・指導技術を習得させるため、日本人英語教師とともに合同の研修会を実施した。(H30.11月)</p>

(2) 公益財団法人 佐賀県国際交流協会の事業 (平成30年度)

事業名	内容
情報収集・提供の高度化事業	外国人住民に対する地域情報の提供及びコミュニケーション支援、特に災害時や緊急時の情報発信・情報共有に役立てるため、広く県民や外国人住民が利用できる情報ネットワークを構築するとともに、ホームページやフェイスブック等を通じ、多言語で情報発信を行った。
情報紙「Hello Saga」の発行 (外国人向け)	外国人住民に対するコミュニケーションのため、防災・交通安全やさまざまな生活情報をやさしい日本語で記載した情報誌を作成し、外国人住民に提供した。 ・発行：年2回 各2,500部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA日本語スピーチコンテスト	外国人住民の日本語学習促進のため、日本語学習の成果発表の場となる日本語スピーチコンテストを実施した。 ・日時：H30.10.28 ・参加者：青少年部門3名、成人部門12名 計15名
地域日本語教室支援事業	外国人住民に対するコミュニケーション支援のため、外国人住民に日本語指導を行う地域日本語教室に対し、教材費等の教室運営に要する経費の助成や広報支援を行った。 ・支援実績：12教室
日本語教師養成講座助成事業	外国人住民が日本語を習得できる環境整備のため、日本語教師養成講座の受講経費の一部を助成した。 ・助成金交付実績：12名
SPIRA日本語学習ボランティア研修	外国人住民が日本語を習得できる環境整備のため、日本語指導ができるボランティアを養成するための研修会を実施した。 ・第1回 H30.9.29 場所：佐賀商工ビル会議室 講師：吉田 聖子 氏 参加者：32名 ・第2回 H30.10.6 場所：佐賀県国際交流プラザ研修室 講師：犬飼 康弘 氏 参加者：14名
やさしい日本語啓発セミナー	外国人住民に対するコミュニケーション支援のため、敬語や専門用語・方言の使用を控えたり、漢字ばかりの言葉を日常的な分かりやすい言葉に言い換える「やさしい日本語」の普及・啓発セミナーを実施した。 ・実施回数：3回
教育支援事業	日本語学習サポーターや子ども通訳サポーターの派遣、及びサポーター養成講座を実施した。 ・派遣実績：子ども日本語学習サポーター 26件 (506時間) 子ども通訳・メンタルサポーター 13件 (17時間)
医療支援事業	県内の外国人住民に対する生活支援として、特に専門的な知識や倫理意識を必要とする医療通訳サポーターの医療機関への派遣、及びサポーターのスキルアップ研修を実施した。また、多言語通訳コールセンターの利用により休日や緊急の通訳に対応した。 ・派遣件数：101件
生活相談支援事業	県内の外国人住民が抱える生活上の問題や疑問に答えるため、常設の相談窓口を設置するとともに、弁護士による法律相談や医療機関による健康相談を実施した。また、県内市町行政機関の担当窓口等が円滑な相談対応をできるようにするため、多言語コールセンターの利用を行った。
防災支援事業	県内の外国人住民に対する生活支援として、外国人住民が災害時の基礎知識や行動ルールを学ぶための体験型防災セミナー等を実施した。 ・外国人のためのすぐに役立つ体験型防災セミナー 日時：H30.9.29
情報誌「Hello Saga」の発行 (日本人向け)	県内の国際交流・協力や多文化共生事業に関する情報誌を作成し、情報提供を行った。 ・発行：年4回 各2,500部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA出前講座	異文化や多文化共生、国際協力の理解促進のため、県内在住の外国人住民や協会職員、県内民間国際協力団体の海外経験豊富な日本人を講師として派遣・紹介し、外国の習慣や文化、多文化共生に関する講座を開催した。 ・派遣件数：49件 ・派遣講師数：63名 (延べ) ・受講者数：2,686名

事業名	内容
国際交流・協カイベント事業	<p>国際交流・協力・多文化共生に対する理解を深め、活動への参加を促すため、県内の民間国際交流団体やボランティアと協働し、国際交流・協カイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：H30.9.29～10.31 ・場所：県内各地 ・メインイベント：H30.10.13 唐津市役所駐車場 来場者約1,600名
SPIRAボランティア養成講座	<p>ボランティア養成講座を実施することにより、外国人住民の生活や活動を支援するボランティアの人材育成、意識の向上やボランティア活動の活性化が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども日本語サポーター養成講座 日時：H30.10.19 講師：ディヌーシャ ランプクピティア氏 参加者：21名
SPIRA多文化共生等助成事業	<p>県内の多文化共生の地域づくりのため、県内の国際交流団体等が行う多文化共生事業、国際交流事業、国際協力事業に要する経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数：多文化共生事業 3件 国際交流事業（国内） 7件 国際交流事業（海外） 2件 国際協力事業 1件
外国人応援団事業	<p>外国人住民の社会参画促進のため外国人住民が佐賀の魅力を国内外に発信する活躍の場として、フォトコンテストや佐賀の歴史・文化等を学ぶ講座、ラジオ放送を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化情報発信「葉隠」 日時：H30.4.16 講師：藤井祐介氏 参加者：10名（外国人5名、日本人5名） ・ラジオ放送（えびすFM） 毎月1回（年間12回） ・外国人フォトコンテスト H30.10.28 表彰式

(3) 市町の事業(平成30年度)

市町名	事業名	事業の概要
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 ・釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 ・連雲港市との交流 【民間団体等の主催事業】 佐賀市国際交流協会 ・バルーンホームステイ事業 ・国際家庭料理講座 ・ボランティア講演会 ・スポーツ交流会 ・子育て支援事業 ・国際理解講座 ・初級日本語集中講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員(CIR)1名 ・私費留学生に対し、月額20,000円を助成(20名) ・奨学生意見交換会を開催(H31.2.19 13名) ・市民訪問団受入(H30.4.19~23 11名) ・姉妹短期大学・大学受入支援(H30.5.20~6.3 14名) ・姉妹短期大学・大学派遣支援(H31.3.14~3.31 13名) ・トヒョン小児訪問団受入支援(H30.10.20~22 26名) ・公式訪問団受入(H30.10.30~11.1 8名) ・友好親善訪問団派遣(H30.8.8~16 13名) ・公式訪問団派遣(H30.8.8~14 3名) ・友好訪日団受入(H30.7.21~22 10名) ・市民訪問団派遣(H30.10.13~16 25名) ・2018佐賀インターナショナルバルーンフェスタ開催時に、13か国・地域からの海外選手63名のホームステイ受入(H30.10.26~11.8)を行い、日本の日常生活を体験してもらいながら交流を図った。(H30.10.31~11.4 17か国・地域109機参加 観客動員数82万1千人) ・様々な国の家庭料理講座を4回開催し、料理を作りながら交流を深めた。(参加者数73名) ・ボランティア登録者の意識啓発、交流を目的としたボランティア講演会を開催した。(参加者数23名) ・バドミントン大会を開催し、スポーツを通しての親睦を図った。(参加者数32名) ・世界の歌と遊び体験、夏休みバーベキュー、クリスマス会、お花見会を開催した。(参加者数160名) ・多文化理解・多文化共生の推進を目的とした講座を3回開催した。(参加者数40名) ・日本語学習をスムーズに進めてもらうため、在住外国籍市民の方を対象に、日本語集中講座を3回開催した。(受講者数13名)
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市職員相互派遣 ・韓国麗水市との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・麗水市からの派遣職員受入 1名1年 (H29.6.23~H30.6.20) ・麗水市からの派遣職員受入 1名1年 (H30.6.23~R1.6.20) ・西歸浦市からの派遣職員受入 1名10か月 (H29.2.22~12.20) ・西歸浦市からの派遣職員受入 1名10か月 (H30.2.12~12.20) ・麗水市立雙鳳初等学校と唐津市立外町小学校学校交流事業 (H30.9.11~12)訪問者:24名 ・麗水副市長代表団唐津くんち視察来唐に伴う受入 (H30.11.1~4)訪問者:6名

市町名	事業名	事業の概要
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国西歸浦市との交流 ・中国揚州市との交流 ・三都市交流囲碁大会 (唐津市、揚州市、麗水市) ・中国との交流 【民間団体等の主催事業】 まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会 唐津ボランティアガイド 唐津日本語教室 かもめ交流実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「きれいな西歸浦市づくり」優秀先導同好会訪問団(小中学生)視察来唐に伴う受入(H30.10.4)訪問者:39名 ・第9回済州国際青少年フォーラムの招請に伴う参加(H30.11.1~5)参加者:4名 ・西歸浦市地域自律防災団の先進災難防災体系視察来唐に伴う受入(H30.11.7)訪問者:8名 ・揚州市経済交流団の唐津市視察に伴う受入(H30.10.23~24)訪問者:4名 ・第20回日中韓友好姉妹都市囲碁交流大会参加(麗水市で開催)(H30.11.15~17)参加者:11名 ・中国大学生訪問団第2陣の「日中植林・植樹国際連帯事業」に伴う受入(H30.9.5)訪問者:95名 ・第17回百済武寧王生誕祭歓迎交流会(H30.5.31)参加者:約50名 ・第64回百済文化祭への参加(H30.9.13~16)参加者:38名 ・市内各種イベント時やクルーズ船来港時におけるボランティア通訳等 ・創立30周年記念事業としてクルーズ船観光客の受入体制について学ぶ講演会開催(H31.2.16) ・市内の外国人住民に対するボランティアによる日本語教室開催(通年) ・「まるごと講演会」の開催(H30.11.12) ・「第9回青少年派遣事業」によりアメリカ合衆国への交流団派遣事業実施 参加者:6名、引率2名
鳥栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖ツァイツ子ども交流事業 ・国際交流団体との懇談会 ・こくさいカフェ ・「生活者としての外国人」のための日本語教育事業(文化庁事業) ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖市の学生7名と引率1名を受入。ホームステイを通じて交流を図った。(H30.7.22~8.5) ・市内の国際交流団体との会議を開催(6回) ・市内の国際交流団体との共催で、「こくさいカフェ」を開催(日本人及び海外6か国から355名が参加)(H30.10.21) ・市内の国際交流団体や鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会との共催で、こくさいカフェ「グラウンド・ゴルフ」を開催(日本人及び海外6か国から117名が参加)(H30.11.25) ・市内の国際交流団体との共催で「こくさいカフェ」(大交流会)を開催(日本人及び海外7か国から123名が参加)(H31.2.24) ・「生活者としての外国人」のための日本語教室を実施(全20回、外国人延べ202名/にほんごパートナー延べ120名参加) ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」を市報の奇数月号に掲載

市町名	事業名	事業の概要
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 【民間団体等の主催事業】 ・早稲田大学留学生地方訪問文化インターンシップ ・ボブ・ホーク スカラシップ中学生海外派遣研修事業 ・多久日本語教室 ・多久市民の翼 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）2名の活用 ・早稲田大学外国人留学生2名受入（H31.2.1～3.1） ・(株)オニザキコーポレーションの協力により中学生2名をオーストラリアの一般家庭にホームステイ（H30.7.28～8.19） ・地域に居住された外国人に日本語の教室 週1回 ・多久市・曲阜市友好都市締結25周年、多久市日中友好協会設立35周年を記念し、多久市公式訪問団及び市民有志による友好交流訪問団「多久市民の翼」の計41名が曲阜市を表敬訪問した。（H30.7.4～8）
伊 万 里 市	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室いまり 伊万里市 ・「名村造船所の技能実習生に講師派遣（公的支援）」 伊万里市 ・大連市訪問 伊万里市日中友好協会 ・大連市中日十都市アカシアウォーキング大会 伊万里市国際交流協会 ・初級中国語教室開講 伊万里ライオンズクラブ ・2018年夏季来日生 伊万里市国際交流協会 ・中国蘇州市実験小学校卒業旅行団 県日中友好協会 ・「第36回中国語スピーチコンテスト佐賀県大会」 認定NPO法人「地球市民の会」 ・スリランカ高校生招聘プログラム 日本語教室いまり ・多文化ジョイントコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人20名、日本人ボランティア15名が参加（H30.4.9～H31.3.30月2回程度） 1回目：インドネシア人25名（H30.5.15） 2回目：インドネシア人16名（H30.7.13） 3回目：インドネシア人20名（H30.11.8） 4回目：インドネシア人21名（H30.12.14） 5回目：インドネシア人15名（H31.2.21） ・大連市アカシア祭り開幕式出席、大連市長表敬訪問、大連市人民対外友好協会主催の中日友好交流会議出席、中日観光大連ハイレベルフォーラムおよび市長円卓会議出席（H30.5.25～28） ・市民5名が参加（H30.5.25～28） ・講師 国際戦略室 国際交流専門員 章潔 ・昼間コース受講者5名（H30.6.5～H.31.3.26の毎週火曜日） ・夜間コース11名（H30.6.6～H31.3.27の毎週水曜日） ・Giuseppe PASQUARIELLOさん（イタリア）が市長を表敬訪問し、クラブ関係者5名が同行した。（H30.7.30） ・小学生9名、保護者9名、ガイド1名来伊。大川内山を観光し、絵付け体験などを行った。（H30.7.30～8.5） ・市民2名参加（うち1名が「暗誦の部」の第3位を受賞（H30.8.18） ・スリランカ高校生6名が市長表敬訪問 高校教員1名・通訳3人・クラブ関係者1名同行（H30.9.19） ・伊萬里まちなか一番館で開催（H30.10.14）

市町名	事業名	事業の概要
伊万里市	<p>佐賀県国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回外国人による佐賀さいこう！日本語スピーチコンテスト <p>伊万里市国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中国を知る」市民公開講座（伊万里市国際交流協会設立30周年記念事業） <p>伊万里市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公務研修生受入 <p>いまりSGG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民際交流の夕べ <p>佐賀県国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能実習制度に関するセミナー ・個別相談会 <p>伊万里市日中友好協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歓迎餃子会 <p>佐賀県国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談における多言語電話通訳サービス事業説明会・デモンストラーション <p>伊万里市国際交流協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊万里市国際交流フェスティバル（伊万里市国際交流協会設立30周年記念事業） <ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・インバウンド 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊万里中学校の副島加奈さんが青少年部門で金賞を獲得（H30.10.28） <p>講師：国際戦略室国際交流専門員 章潔</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回「一人っ子政策の開始・発展及び終焉」（H30.11.3） 第2回「マルクス主義、毛沢東思想、鄧小平理論」（H30.11.10） 第3回「漢方医と食」（H30.11.17） <ul style="list-style-type: none"> ・第19期大連市公務研修生来日（H30.11.29） <ul style="list-style-type: none"> ・外国人19名と日本人29名が参加（H30.12.9） <ul style="list-style-type: none"> ・伊万里商工会館4階大ホールで開催 市15企業・団体参加（H31.1.17） <ul style="list-style-type: none"> ・大連市公務研修生の歓迎会が立花公民館で開催（H31.1.26） <ul style="list-style-type: none"> ・伊万里市役所第3会議室で開催 市25部署・職員32名参加（H31.2.7） <ul style="list-style-type: none"> ・第1部 映画「バベルの学校」 ・第2部 JICA海外協力隊と学ぶ国際交流 ・第3部 映画「北極のナヌー」 ・第4部 国際交流ひろば【講師：佐賀大学留学生5名（インドネシア2名、バングラデシュ3名）、中国2名（大連市19期公務研修生・伊万里市国際交流専門員）、名村造船所技能研修生5名（インドネシア）】、市内の小学生等30名が参加（H31.3.2～3） <ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）5名の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナツアー旅行博覧会」、「釜山国際観光展」、「モードツアー旅行博覧会」など韓国を中心とした国外展示会へ参加した。 ・九州観光推進機構との「九州オルレ」事業で、「済州オルレフェスティバル」などの視察をはじめとした団体アテンド等を随時行った。 ・シンガポールを対象とした「さがびよりオーナー制」を展開した。 ・佐賀県・佐賀県観光連盟と共に上海・タイ商談会に参加した。 ・北九州市、下関市、武雄市、鹿島市、佐世保市、5市連携してタイを対象とした招聘事業を実施した。 ・武雄の匠たちと連携し、米国シエラネバダ大学の研修の場（体験学習）として受入を行った。

市町名	事業名	事業の概要
武雄市	<p>【民間団体等の交流事業】</p> <p>たけおワールドフレンズ（TWF）</p> <p>・姉妹都市交流事業</p> <p>・在住外国人との交流事業</p> <p>たけお日本語教室/交流事業</p>	<p>・たけおワールドフレンズの派遣団（23名）がセバストポール市を訪問した。（H31.3.23～4.3）</p> <p>・たけおワールドフレンズ主催による「武雄市在住外国人交流事業」（食文化を通じた交流事業）を開催した。</p> <p>・たけお日本語教室主催による外国人向けの日本語教室などを開催した。</p> <p>・第2回 TAKEO 国際交流フェスタを開催した。（H31.1.27）</p>
鹿島市	<p>・韓国全羅南道高興郡との交流</p> <p>・釜山外国語大学校との交流</p> <p>・第44回高興郡民の日</p> <p>・第34回鹿島ガタリンピック</p> <p>・外国青年招致事業</p>	<p>・第34回鹿島ガタリンピックに参加 高興郡交流団14名（H30.5.26～5.27）</p> <p>・第34回鹿島ガタリンピックに参加 釜山外国語大学校教授・学生37名（H30.5.25～5.28）</p> <p>・韓国全羅南道高興郡から「第44回高興郡民の日式典」への招待を受け行政・議会10名で訪問した。（H30.10.31～11.1）</p> <p>・佐賀大学の外国人留学生が、ホームステイや地元高校生との交流会を実施した。（参加者36名）</p> <p>・外国語指導助手（ALT）2名の活用 （H30.7.27～1年間）1名、（H30.7.31～1年間）1名・韓国</p>
小城市	<p>・小中学校外国語講師活用事業</p> <p>・小城市公民館体験講座</p> <p>・市内保育園、幼稚園における外国語講師活用事業</p> <p>・中国浙江省海鹽県との交流事業</p>	<p>・外国語指導助手（ALT）の活用、民間講師 6名 小・中学校の英語教育及び英語活動実施</p> <p>・「世界の料理を作ってみよう～フィリピン料理～」料理を作って、フィリピンという国を学ぶ講座を開催した。（H31.3.21 参加人数9名）</p> <p>・外国語指導助手（ALT）の活用、民間講師 3名 幼稚園、保育園の英語活動実施</p> <p>・海鹽県からの訪問団受入（H30.11.29～30）6名 （海鹽県人民政府訪問団の小城市表敬訪問、市内資料館・企業・小中一貫校の視察）</p> <p>・海鹽県の小学生と市内小学生の絵画・書道による交流 （海鹽県の小学生の作品を市内小学校、公共施設で巡回展示）</p> <p>・海鹽県民と小城市民の絵画・書道による交流 （海鹽県民の作品を市内公共施設で巡回展示）</p> <p>・晴田小学校と海鹽県実験小学集団との手紙による交流</p>
嬉野市	<p>・外国青年招致事業</p> <p>・在住外国人向け日本語教室</p> <p>・台北市北投温泉祭りへの参加</p> <p>【民間団体の交流事業】</p> <p>嬉野市日韓親善協会</p> <p>・接客研修事業</p>	<p>・外国語指導助手（ALT）1名の活用</p> <p>・文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育スタートアッププログラムを実施した。 （日本語教室開催、地元会議、ヒアリング調査）</p> <p>・嬉野温泉観光協会と北投温泉発展協会との友好交流協定調印式へ参加した。</p> <p>・韓国馬山大学学生が、市内旅館及びホテルにて、日本語、文化及びホテル業、接客業の実務研修を実施した。 （H30.7.30～8.13）参加者：学生11名、教授1名</p>

市町名	事業名	事業の概要
神 崎 市	・国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・友好姉妹都市の関係にある、フランス共和国・ポークール市に副市長など6名が訪問し、意見交換や交流を通じて友好関係を深めた。(H30.10.8~14) ・友好姉妹都市の関係にある、フランス共和国・ポークール市の小学校と市内小学校による学校交流(スカイプ交流、作品の交換等) ・脊振中学校と山西大学附属中学校(中国)が訪中と訪日を相互に実施し、交流を深めている。 (H30.8.1~5 脊振中学校の生徒6名、随行者4名(計10名)が訪中) ・神崎中学校と朗州中学校(韓国)が訪韓と訪日を相互に実施し、交流を深めている。(H30.11.12~14 韓国霊岩郡朗州中学校の生徒15名、随行者5名(計20名)が訪日) ・千代田中学校と三湖西中学校(韓国)が訪韓と訪日を相互に実施し、交流を深めている。(H30.11.5~7 韓国霊岩郡三湖西中学校の生徒15名、随行者5名(計20名)が訪日) ・神崎町竹原地区にある「王仁天満宮」が、日本に漢字を伝えたとされる「王仁博士」と何らかの関係があるのではないかと考え、王仁博士の生誕地である大韓民国霊岩郡を平成4年から訪問し、また、霊岩郡からの訪問団の受入など交流を重ねている。 田東平郡守ら韓国霊岩郡訪問団が来日(H30.10月) ・王仁博士顕彰公園開園に伴う開園式典にて韓国の伝統芸能の公演や、韓国霊岩郡からの参加者や市民らの前で日本の伝統芸能の披露による交流(H30.8月)
基 山 町	<p>【民間団体の交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活者としての外国人」のための日本語教育空白地域解消推進事業 ・第1回きやま こくさいフェスタ <p>【民間団体等の主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百済文化祭出演 ・中国からの修学旅行生受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活者としての外国人」のための日本語教室の開講に向け教室の試験的な開催を行った。(全3回開催 台風の為1回中止、外国人参加者数延べ人数19名) ・外国人に対する相互理解を促進し多文化共生を推進するとともに、試験的日本語教室の開催に協力していただくボランティアの募集を行った。(参加者数 外国人約40名、日本人約40名 ボランティア含む) ・百済文化祭は、公洲市と扶余郡で毎年開催される歴史的な再創造祭で、基山町文化協会所属の団体が推進委員会の推薦を受け開会式で公演を行った。 ・中国武漢市長春街小学校の修学旅行生を受け入れ、地元小学生や文化団体と交流を行った。(受入人数48名)
上 峰 町	・平成30年度日韓友好上峰町青少年驪州市訪問事業	<ul style="list-style-type: none"> ・上峰中学校と姉妹校協定を締結している驪州市大神中・高等学校へ上峰中学校の生徒17名が訪問した。(H30.8.23~26) ・第30回驪州市陶磁器祭りへ町長ほか9名が出席した。(H30.5.4~6)

市町名	事業名	事業の概要
みやき町	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流講座 <p>【民間団体等の主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流食文化交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 県国際課、国際交流協会と共同で外国人とやさしい日本語をテーマに3回講座を開催した。 (H30.10.13、H30.12.9、H31.3.3 参加者数：各回とも約50名) 民間団体の国際交流会主催により、共同でバルバドス料理を作り、その後会食を通して交流会を行った。(H31.2.14) (参加者数：46名 参加国：バルバドス・中国・ベトナムほか)
玄海町	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 機張郡表敬訪問ほか 韓国釜山外国語大学校生徒のインターンシップ受入 機張青少年リコーダー合奏団受入 コロワルスクール(オーストラリア)生徒の短期留学・訪問団受入 <p>【民間団体の交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 玄海町国際交流協会 韓国釜山広域市機張郡訪問事業 ホームステイ受入事業 釜山外大ホストファミリー派遣事業 韓国釜山広域市機張郡訪問受入 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手(ALT)1名の活用 友好交流協定を締結している韓国釜山広域市機張郡を表敬訪問するとともに、周辺の教育関連施設を視察した。(H30.11.14~16 参加者数：5名) 釜山外国語大学校との今後の相互交流を更に深めていくため官学国際交流協定書を平成25年8月に締結した。その一環で、日本関連の企業等への就職を希望している釜山外国語大学校生徒をインターンシップ生として役場に受入れ、3か月間の研修を実施した。 (H30.9.3~11.30 研修生：1名) 機張青少年リコーダー合奏団が、玄海町産業文化祭で演奏するために来町した。 (H30.11.17~18 訪問団：17名(うち引率者5名)) 平成29年8月10日に玄海みらい学園と姉妹友好等協定を締結したコロワルスクールの生徒を受入れ、ホームステイや玄海みらい学園の児童生徒との交流を実施した。 (H30.10.7~23 短期留学生：1名) (H30.11.2~5 訪問団：15名) 民間団体の玄海町国際交流協会が機張郡イワシ祭りにあわせ訪韓し、交流を行っている外食業組合の表敬訪問を行った。 (H30.4.21~23 参加者：2名) 玄海町花火大会は中止となったが、開催予定時期にあわせて釜山外国語大学校の学生を受け入れ、ホームステイ、唐津青翔高校の学生との交流を実施した。 (H30.7.6~9 訪問団：22名) 釜山外国語大学校生ホームステイのホストファミリーとなった方を韓国に派遣し、韓国の生活環境や文化を体感し、相互の理解を深めた。 (H30.11.14~16 訪問団：10名) 以前から交流のある韓国外食業中央会機張郡支部の訪問団を受け入れ、交流を実施した。 (H30.11.5 訪問団：20名)

市町名	事業名	事業の概要
有田町	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)韓国陶磁文化協会をはじめとする韓国との交流事業 ・外国青年招致事業 ・外国青年招致事業 ・ドイツ学教室 ・英会話教室 ・保育園・ドイツふれあいタイム ・外国人対応セミナー ・国際交流員による来訪者案内 【民間団体の交流事業】 陶都有田国際交流協会 ・英語ツアーの開催 ・ドイツ親子でふれあい教室開催 ・多国籍料理教室の開催 ・国際交流団体の集い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会長ら関係者参列(H30.5.4) ・外国語指導助手(ALT) 1名活用(～H30.7月) ・国際交流員(CIR) 1名の活用 ・ドイツ語に興味がある有田町民などにドイツ学教室を開催(毎月2回) ・有田町民などを対象に英会話教室を開催(毎月4回) ・町立保育園で、年長児、年中児を対象に毎月1回ドイツのことは、文化を紹介(H30.4月～H31.3月) ・有田へ来られる外国人のお客様への対応のスキルアップを図るために有田観光協会が主催した英語講座に、CIRを講師として派遣(H31.1月～3月8回) ・ドイツなどからの来訪者へ町内観光案内等を行う。 ・「有田雛のやきものまつり」期間中に日本在住の外国人を対象に国際交流員による英語ツアーを行った。 ・国際交流員により、親子を対象にドイツのパンケーキとクッキーを作り及びドイツの習慣などの紹介を行った。 ・多国籍料理教室を実施した。(年1回、タイ) ・町内外にて外国人の方を招待し、町民の方々との交流を図った。
大町町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT) 1名の活用
江北町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・エンカウンター・ルーサラン・カレッジとの学校交流 ・海外自治体幹部交流協力セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT) 1名の活用 ・H30.11.23～29に海外子ども交流団として江北中学校の生徒12名をオーストラリア南オーストラリア州ヴィクターハーバーのエンカウンター・ルーサラン・カレッジへ派遣し、学校交流を行った。 ・H31.2.15～19にオーストラリアの自治体幹部職員5名が江北町を訪問し、情報交換と住民との交流を行った。
白石町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 【民間団体の交流事業】 ・しろいしWA!WA!WA!日本語交流教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT) 3名の活用 ・在住外国人への日本語交流教室及びイベントの開催。町とボランティア協働で活動を行う。H31.1月より毎週火曜日及び第3日曜日に開催。
吉野ヶ里町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT) 2名の活用

(4) 県関連の県民海外派遣事業

平成30年度実施事業

事 項	人 員	派 遣 先
ニュージーランドとの陸上競技交流事業	12	ニュージーランド
高校物理教師セルン派遣	1	スイス
中学生・高校生海外留学等助成事業	145	アメリカ、カナダ、オーストラリア等
日韓海峡沿岸水産関係交流事業	2	韓国(慶尚南道)
未来のスペシャリスト海外研修	44	オーストラリア、ベトナム、タイ、台湾
英語コンテスト等参加者向け海外研修旅行	20	オーストラリア
アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー	24	アメリカ合衆国カリフォルニア州
佐賀県団体海外研修旅行助成事業	77	オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、韓国

平成29年度までの実施事業

事 項	年 次	延 人 員	派 遣 先
高校物理教師セルン派遣	H21~H29	9	スイス
有田窯業大学校中国研修旅行	H23、H24	18	中国
佐賀県中学生・高校生海外研修旅行	H23	8	オーストラリア
日韓海峡沿岸青少年交流事業	H12、H14、 H16、H18	48	韓国
日韓海峡沿岸住民親善イベント	H7、H9、H13、 H15、H16、H19	149	韓国(全羅南道、済州特別自治道、 慶尚南道、釜山広域市)
南米友好訪問団派遣事業	H12、H17	79	ブラジル、アルゼンチン
南米県人会訪問青年交流事業	H14、H16	10	ブラジル、ペルー
佐賀県女性の翼	H7~H11、 H13~H15	95	中国、オーストラリア、ニュージー ランド、スウェーデン、ドイツ、 ハンガリー、アメリカ、カナダ、 イギリス、ノルウェー
佐賀県男女共同参画の翼	H16~H18	35	スウェーデン、ドイツ、アメリカ、 カナダ、オーストラリア
ふれ愛の翼	H7~H14	801	タイ、台湾、中国、香港、インド ネシア
ヤングネットワークウイング事業	H9~H14、H16、H17	268	中国、韓国
佐賀青年出合いの旅事業	H9~H11	104	シンガポール、マレーシア
佐賀県アジア経済ミッション	H7~H11	77	中国、ベトナム、フィリピン、マ レーシア
日中女性友好交流事業	H12	6	中国(北京・貴陽・上海)
有田窯業大学校中国研修旅行	H7~H17	308	中国、韓国
佐賀県農村青年等海外派遣研修	H7~H16	206	欧州、オーストラリア、ニュージー ランド、中国、タイ、マレーシ ア、韓国、アメリカ
農業大学校生海外派遣研修	H7~H29 (H13、H23~H25 除く)	896	アメリカ、オーストラリア、ニュ ージーランド、オランダ、ドイツ

事 項	年 次	延 人 員	派 遣 先
済州道へのみかん調査・交流団派遣事業	H14	30	韓国(済州道)
林業後継者海外派遣	H6、H7、H10	3	欧州、アメリカ、カナダ
日韓海峡沿岸水産関係交流事業	H7～H20、H22	43	韓国(全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
佐賀県漁業青年海外派遣研修	H7～H15	10	アイルランド、イタリア、フランス、ノルウェー、イギリス、スウェーデン、ドイツ、ベルギー、スペイン、オランダ、ポルトガル、スイス、ロシア、ギリシャ
翔べ!さがっ子アジアへの未来飛行	H9～H13	500	マレーシア、シンガポール
日韓少年文化交流事業	H6、H9、H11、H13、H15、H17	119	韓国
日韓海峡沿岸地域振興団体交流支援事業	H10、H12	18	韓国
2000年女性会議補助事業	H12	20	アメリカ
高校生海外留学研修事業	H12～H14	30	アメリカ
ミャンマー・タイ・カンボジア経済ミッシェン	H25	23	ミャンマー(ヤンゴン)、タイ(バンコク)、カンボジア(プノンペン、シアヌークビル)
中学生・高校生海外留学等助成事業	H25～H26	152	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ等
世界にはばたく未来のスペシャリスト派遣団	H25～H26	38	オランダ、ベルギー、米国カリフォルニア州
英語コンテスト等優秀者向け海外研修旅行	H25～H26	19	オーストラリア、シンガポール、米国ハワイ州
スポーツパートナーシップ戦略事業	H27～H28	29	トルコ、イタリア
中学生・高校生海外留学等助成事業	H27～H29	367	アメリカ、カナダ、オーストラリア等
未来のスペシャリスト海外研修	H27～H29	133	オーストラリア、シンガポール、タイ、台湾
英語コンテスト等参加者向け海外研修旅行	H27～H29	52	オーストラリア
アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー	H28～H29	42	アメリカ合衆国カリフォルニア州

(5) 外国語によるパンフレット等の作成状況

平成31年3月現在

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	在住外国人のための生活ガイド	生活ガイドリーフレット	日、英、中、韓、 ベトナム、 インドネシア、 ネパール、タガログ、 シンハラ、タイ	A6 16	佐賀県国際交流協会
	医療通訳サポーター派遣案内	リーフレット	日、英、中	A5 4	佐賀県国際交流協会
	九州佐賀国際空港ホームページ	九州佐賀国際空港に関する情報を掲載	英、中、韓		空港課
	唐津港 (Port of Karatsu)	唐津港(物流)紹介 (改訂)	英	A4 8	佐賀県唐津港 利用促進協議会
	伊万里港 (Port of Imari)	伊万里港(国際コンテナ 定期航路)紹介 (改訂)	英、中	A4 6	佐賀県伊万里港 振興会
	佐賀県立博物館・佐賀県立美術館案内	館内案内	英、中、韓	A3両面 八つ折	博物館・美術館
	佐賀県立九州陶磁文化館	館案内パンフレット	英、韓、独、 中(簡・繁)	三つ折	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁文化館	図録「土と炎」 (販売用)	英	A4 31	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁文化館	館内案内システム (タブレット)	英、韓、 中(簡・繁)		九州陶磁文化館
	名護屋城博物館案内	施設案内	英、韓	2 四つ折	名護屋城博物館
	名護屋城跡探訪マップ	城跡マップ	英、韓	2 四つ折	名護屋城博物館
	名護屋城博物館展示案内	展示案内	英、韓	32	名護屋城博物館
	名護屋城博物館音声ガイドシステム	音声ガイド	英、韓、 中(簡・繁)		名護屋城博物館
	佐賀城本丸歴史館館内イラストマップ	館内マップ	英、韓、 中(簡・繁)	A4 三つ折	佐賀城本丸歴史館
	-	館内案内音声ガイドシステム	英、韓、中		佐賀城本丸歴史館
	佐賀県立宇宙科学館	施設紹介	英、韓、 中(簡・繁)	リーフレット	宇宙科学館

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	THE SPIRIT OF THE SAMURAI	海外キャンプ誘致プロモーション動画	英、西		スポーツ課
	Training Camps in SAGA	海外キャンプ誘致ガイド	英	A5両面 46	スポーツ課
	Guide to SAGA	県内ガイド	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	A4 24	(一社) 佐賀県観光連盟
	YOKOSO SAGA	県内マップ	英	A4 16 八つ折	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀九州梦开始的地方	県内ガイド	中(簡)	A4 20	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀牛 和牛的骄傲	佐賀牛の紹介	中(簡)	A4 12	(一社) 佐賀県観光連盟
	温泉特辑	温泉の紹介	中(簡)	A4 33	(一社) 佐賀県観光連盟
	疗愈之乡 美食之城 佐贺县	県内ガイド	中(簡)	A5 94	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀慢旅行	県内ガイド	中(簡)	B5 40	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA 佐賀	県内ガイド	中(繁)	A5 30	(一社) 佐賀県観光連盟
	玩日本 佐賀	県内ガイド	中(繁)	A5 72	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀観光手帖	県内ガイド	タイ	A4 4	(一社) 佐賀県観光連盟
	ADVENTURE SAGA	ロケ地の紹介等 Vol.5・6	タイ	スクエア 18	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA SWEET THERAPY	シュガーロードをテーマ としたパンフレット	タイ	A5 22	(一社) 佐賀県観光連盟
	Welcome to Saga	県内ガイド	タイ	A4 14	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA,JAPAN TOURISM GUIDE	県内ガイド	英	A4 三つ折	(一社) 佐賀県観光連盟
	Saga Trip Genius	県内ガイド	英	B5 57	(一社) 佐賀県観光連盟
SAGA「佐賀」	県内ガイド	英	A5 128	(一社) 佐賀県観光連盟	

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	SAGA「佐賀」	県内ガイド	タイ	A5 100	(一社) 佐賀県観光連盟
	Omotenashi Saga	県内ガイド	韓	A5 98	(一社) 佐賀県観光連盟
	SagaBeef!Map	店舗紹介	英	A3 四つ折	流通・貿易課
	佐賀牛	商品紹介	英、タイ、中(繁)	1 両面	(公財) さが県産品流通 デザイン公社
	佐賀海苔	商品紹介	英、中(簡・繁)	1 両面	(公財) さが県産品流通 デザイン公社
	「We♥Saga」	観光・物産PRのパンフレット	中(繁)		佐賀県香港代表事務所
	九州国際重粒子線がん治療センタープロジェクト	プロジェクト紹介	英、韓、 中(簡・繁)	6	(公財) 佐賀国際重粒子線 がん治療財団
	STOP the Domestic Violence	DV防止リーフレット	英、中、韓、 タイ、タガログ	4	男女参画・女性の 活躍推進課
	佐賀県窯業技術センター紹介	案内パンフレット	英	A4 10	窯業技術センター
	日本遺産「日本磁器のふるさと肥前」公式ガイドブック	パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	A4 20	「肥前窯業圏」 活性化推進協議会
	佐賀県吉野ヶ里遺跡 「北墳丘墓」	吉野ヶ里遺跡紹介リーフレット	英、韓、中、 台、タイ	リーフレット	吉野ヶ里公園 管理センター
	吉野ヶ里歴史公園 「園内マップ」	吉野ヶ里歴史公園紹介 リーフレット	英、韓、中、 台、タイ	リーフレット	吉野ヶ里公園 管理センター

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀市	ぬる湯くつろぎきっぷチラシ	温泉とバス往復乗車券の告知チラシ	英、韓、中	A3 二つ折	企画政策課
	世界文化遺産 明治日本の産業革命遺産 三重津海軍所跡 (ガイドパンフレット)	三重津海軍所跡の紹介	英、韓、 中(簡・繁)	四つ折り	三重津世界遺産課
	世界文化遺産 明治日本の産業革命遺産 三重津海軍所跡 (ちらし)	三重津海軍所跡の紹介	英、韓、 中(簡・繁)	A4両面	三重津世界遺産課
	SITES OF JAPAN'S MEIJI INDUSTRIAL REVOLUTION IRON AND STEEL, SHIPBUILDING AND COAL MINING (ダイジェストパンフレット)	世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の紹介	英、中	A4 72	三重津世界遺産課 (「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会作成)
	SITES OF JAPAN'S MEIJI INDUSTRIAL REVOLUTION IRON AND STEEL, SHIPBUILDING AND COAL MINING (ミニパンフレット)	世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の紹介	英、中	A4 22	三重津世界遺産課 (「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会作成)
	アクセスガイドマップ	世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」各構成資産への周遊マップ	英		三重津世界遺産課 (産業遺産国民会議作成)
	佐賀市大隈重信記念館	大隈重信記念館の紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	A4両面 三つ折	観光振興課
	SAGA BALLOON MUSEUM	佐賀バルーンミュージアムの紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	A4両面 三つ折	観光振興課
	佐賀バルーンミュージアム	佐賀バルーンミュージアムの紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	観音折り	観光振興課
	佐賀バルーンミュージアム館内ガイド	佐賀バルーンミュージアムの館内ガイド	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	B4 三つ折+ 二つ折	観光振興課
	佐賀市歴史民俗館	歴史民俗館の紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	外六つ折り	観光振興課
	柳町	佐賀市柳町散策マップ	英 日本語併記	A3両面 八つ折	観光振興課
	佐賀城下ひなまつり	ひなまつりの紹介	英、韓、中	A4両面	(一社) 佐賀市観光協会
	SAGA MAP	佐賀市の観光地図	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	A3	(一社) 佐賀市観光協会
	#SAGA_CITY	佐賀市観光案内パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	ヨコ891mm× タテ297mm (8回ジャバラ折)	(一社) 佐賀市観光協会
	SAGA Internaitonal Balloon Fiesta (当日パンフレット)	バルーンフェスタの紹介	英	A3両面 二つ折	熱気球大会佐賀運営委員会

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀市	「サガ」つく合宿	佐賀市スポーツ合宿ガイドブック	英 日本語併記	A4 8 (表紙、背 表紙を含む)	スポーツ振興課 (佐賀市スポーツ キャンプ誘致・ 交流推進協議会)
	隔林亭	隔林亭の紹介	英 日本語併記	観音折り	緑化推進課
	ラムサール条約湿地 東よか干潟	ラムサール条約湿地 東よか干潟の紹介	英、韓、 中(簡・繁)	A5 6 内開き	環境政策課
	佐賀市清掃工場	佐賀市清掃工場の紹介パンフレット	英	A4 12	循環型社会推進課
	佐賀市エコプラザ	佐賀市エコプラザの紹介パンフレット	英	A4 三つ折	循環型社会推進課
	外国人のためのごみ出しガイド	佐賀市の家庭ごみの分け方・出し方のガイドブック	英、韓、 中(繁)、ベトナム、 タガログ	A4 12	循環型社会推進課
	外国人のためのごみ出しガイドあります	外国人のためのごみ出しガイド、エコプラザの紹介用チラシ	英 日本語併記	A4両面	循環型社会推進課
	佐賀市佐野常民記念館	パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	A4両面 三つ折	社会教育課
	Saga City Public Library Access Service Information	図書館の利用案内	英	A4両面 1 折りたたみ	図書館
	佐賀市立図書館使用指南	図書館の利用案内	中	A4両面 1 折りたたみ	図書館
唐津市	唐津焼マップ	唐津焼の案内マップ	日、英	A2両面 八つ折	文化振興課
	九州オルレ唐津コースパンフレット	オルレコースの案内	日、 日・韓併記	A3両面 八つ折	観光課
	A MAP OF Karatsu Town Walk	クルーズ観光客に配布する唐津市観光案内	日、英	A3両面 二つ折	みなと振興課
	Karatsu City Map	唐津市観光案内マップ	英、タイ、 中(簡・繁)	A2両面 八つ折 観音開き	(一社) 唐津観光協会
	唐津観光案内マップ	唐津市観光案内マップ	日、英、韓、 中(簡・繁)	A1両面 八つ折	(一社) 唐津観光協会
	唐津ウォーキングマップ	唐津市観光マップ	日、韓	A2両面 四つ折	(一社) 唐津観光協会
	唐津城	施設案内	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	曳山展示場	展示物の解説	英、韓、 中(簡) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	旧高取邸	館内用	英、韓、 中(簡) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	唐津くんち曳山説明	曳山の解説	日、英、韓、 中(簡)	A5変形 18	唐津ボランティア ガイド

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
鳥 栖 市	2016鳥栖市勢要覧	市勢要覧	英、韓、中、独 (一部見出しのみ 日本語と併記)	32	情報政策課
	How to dispose of garbage and natural resources	ゴミの出し方パンフレット	英	8	環境対策課
	鳥栖市地震防災マップ	防災マップ	英、中、韓	1	総務課
	図書館利用案内	施設案内	中	1	生涯学習課
	上下水道手続き	手続き案内	英	A5 1	上下水道局
多 久 市	多久聖廟MAP 西溪公園MAP	多久聖廟周辺案内 西溪公園周辺案内	英、韓、中	A3両面 二つ折	商工観光課 多久市観光協会 (公財)孔子の里
	taku city sightseeing guide map	市内観光案内	英、韓、中	A3両面 四つ折 観音開き	商工観光課
	「龍孫の郷」肥前多久	多久城下散歩道	英、韓、中	B4 Z-CARD	商工観光課
伊万里市	旅のはじまり	観光案内リーフレット	英、韓、 中(簡・繁)	1 両面	観光課
	旅伊万里	観光パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	22	観光課
	大川内山みて歩きマップ	大川内山窯元案内地図	英、韓、 中(簡・繁)	1 両面	観光課
武 雄 市	武雄ガイドブック	武雄市観光案内ガイドパンフレット	英、韓、タイ、 中(簡・繁)	B3 中折入式 8分割	観光課
	九州オルレ武雄コース	ウォーキングマップ	韓	両面ジャバラ 4山折り	観光課
	武雄TAKEO.SPA	観光マップ	英、韓、 中(簡・繁)	A3両面	(一財) 武雄市観光協会
	武雄の匠たち	体験プログラムパンフレット	英	A5	(一財) 武雄市観光協会
鹿 島 市	鹿島佐賀 ようこそ鹿島へ	観光案内パンフレット	英、韓、タイ、 中(簡・繁)	A4両面 観音開き	商工観光課
	鹿島グルメマップ	市内グルメガイド	英	50	商工観光課
	鹿島酒蔵ツーリズムGUIDE BOOK	酒蔵紹介	英	18	商工観光課
小 城 市	小城公園マップ	小城公園 観光案内地図	英	A3 (A4・2枚)	商工観光課

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
嬉野市	嬉野ぶらりまっぷ	観光パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	A2 12面 屏風折り	観光商工課
	嬉野ランチ&カフェマップ	グルメガイド	英、韓、 中(簡・繁)	14面 屏風折り	観光商工課
	嬉野Happy Trip	観光パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	6面 屏風折り	観光商工課
	日本三大美肌の湯 佐賀・嬉野温泉ご宿泊ガイド	宿泊案内	英	両面 12面	観光商工課
	九州オルレ嬉野コース	ウォーキングマップ	韓	A4両面 観音開き	観光商工課
	広川原キャンプ場	キャンプ場パンフレット	英、韓、 中(簡)	A4両面 三つ折	建設・農林整備課
	うれしの茶	うれしの茶についての解説	英、韓、 中(簡・繁)	A4両面 観音開き	農業政策課
	うれしの茶交流館 チャオシル	施設案内	英、韓、中(簡)	A4両面 三つ折	農業政策課
神崎市	国の名勝 九年庵	九年庵リーフレット	英、韓、中、台	A4両面 三つ折	商工観光課 神崎市観光協会
	王仁博士顕彰公園	王仁博士顕彰公園リーフレット	韓	観音開き	商工観光課 神崎市観光協会
吉野ヶ里町	YOSHINO GARI	観光パンフレット	英	A3両面 二つ折り + 巻三つ折り	産業振興課 商工観光係
	Welcome to Saga	観光パンフレット	英、韓、中	A2 四つ折り	産業振興課 商工観光係
基山町	多文化共生のまちづくり交通ルールと暮らしのマナーといざというときに	交通ルール、暮らしのマナー冊子	英、中、 ベトナム、 ネパール	26	まちづくり課 (まちづくり基金活用 団体 第7区自治会)
有田町	有田観光ガイドブック	有田観光案内地図 観光地の紹介	英、韓、タイ 中(簡・繁)	14	商工観光課 有田観光協会
	有田散策マップ	有田観光案内地図	英、韓、 中(繁)	A3片面	商工観光課 有田観光協会
太良町	太良町Travel	観光パンフレット	英、韓、タイ 中(簡・繁)	12	企画商工課 商工観光係

3 . 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 姉妹友好提携について

姉妹友好提携

姉妹友好提携交流とは、国境を越えた都市と都市、学校と学校、あるいは団体と団体が、姉妹縁組みをすることにより、多様な分野で、厚みのある交流を進め、友好親善を深めると共に相互発展を図ることを目的としています。

姉妹都市交流は、第2次世界大戦後、戦争で荒廃したヨーロッパを救おうという機運がアメリカで高まり、ニューヨーク市とヨーク市のように、お互いに縁のある欧米の都市間に友好関係が結ばれたのが始まりと言われている。

その後この運動は、幅広く国際親善、文化交流、相互理解をも含めるようになり世界的に普及発展しました。

「姉妹都市」と「友好都市」

「姉妹都市」と類似した用語として、「友好都市」が使われる場合があります。そもそも「姉妹都市」は英語の“Sister City”の訳語として使われるようになった言葉ですが、「姉妹」という言葉には上下があるということで、主に中国との交流において、互惠平等を尊重する立場から、「姉妹都市」の用語を敬遠して、「友好都市」という言葉を用いる場合が多くみられます。

提携の手続

提携のきっかけ

姉妹友好提携に至るきっかけや、相手方の選定については、一定の基準のようなものがあるわけではありません。過去の実例を見ても、その選定の理由は以下のとおり様々です。

歴史的結び付き

地理的・風土的な類似性

経済・技術交流

文化・スポーツの交流

各種人的交流

合意書への調印を急ぐことはなく、まず相互訪問や情報の交換等を通じてお互い相手を知り合うことです。その上で可能な交流分野を見極めながら、長期にわたる交流の見通しを持つことが重要で、この間の交流実績が息の長い交流の成否を決するといえます。

提携の手順

姉妹友好提携に至る手順についてもそのきっかけが様々であるように、様々な形態があります。一般的な手続の手順は次の通りです。

相手と市との各種交流の積み重ね及び情報の収集

姉妹都市提携の意向打診

交流の基本方針について相手方との協議

提携協議書の内容確定
合意書への署名・調印式
姉妹提携に基づく交流開始

提携を行う際、議会の議決または承認を必要とするかについては、法的にはこれを義務付ける規定はありません。しかし、姉妹友好提携は重要な政策決定であり、あらかじめ議会の承認を得て、手続きを進めた方が望ましいでしょう。

提携書の作り方

姉妹友好提携の手続きは、合意書の署名、調印という形式がとられるのが一般的です。合意を証する文書の名称は、提携書、盟約書、協定書、議定書、共同声明、コミュニケなど様々な用語が使われています。

提携書の内容

姉妹友好提携は、地方自治体あるいは各団体の自主的事業として行うものですから、合意書の内容については、自由に作成して構いません。一般的にはあまり詳細、具体的な表現はせず、ごく抽象的に友好親善・相互理解の増進を謳ったものが多いようです。交流を長続きさせるためにも、なるべく概括的、弾力的な対応ができる内容にしておいた方が良いでしょう。

交流の進め方

姉妹友好提携を形式だけではない息の長いものとするためには、提携当初は行政が主導して交流を進めていきながらも、次第に民間レベルでの交流へと移行させていくことが重要です。

友好親善交流のみならず、自らの地域、学校、団体や相手の地域、学校、団体の抱える諸問題を共に考え、協力して解決していこうという両地域の相互発展を図る交流に取り組むことが大切です。

双方の経費の負担区分をはっきりさせると共に、できるだけ経費のかからない工夫をすることが重要です。

イ 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数(平成31年3月31日現在)

・都道府県	43 都道府県	166 組
・市町村	市・区	1,281 組
	町・村	306 組
	合計	1,753 組

(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧

地域名	国・地域名	都道府県	市	区	町	村	合 計
北米	アメリカ	26	354		75		455
	カナダ	2	42		27		71
中南米	コスタリカ		2				2
	ジャマイカ	1					1
	チリ		1				1
	パナマ		1				1
	パラグアイ		2				2
	ブラジル	11	36		11		58
	ペルー		1		3		4
	ボリビア	1					1
	メキシコ	3	5		3		11
	欧州	アイルランド		1			
イギリス		4	8		4		16
イタリア		5	27		7		39
ウクライナ			2				2
エストニア			1				1
オーストリア			27		5		32
オランダ			9		2		11
ギリシア			5		3		8
クロアチア			3				3
スイス		1	9		2		12
スウェーデン			3		2		5
スペイン		3	8				11
スロバキア					1		1
スロベニア			1				1
セルビア			1				1
チェコ			2		2		4
デンマーク			5		2		7
ドイツ		6	41		9		56
ノルウェー			2		1		3
ハンガリー			4		1		5
フィンランド			2		3		5
フランス		7	39		8		54
ブルガリア			2				2
ベラルーシ			1				1
ベルギー			8				8
ポーランド					2		2
ポルトガル			7				7
モルドバ		1				1	
ラトビア		1		1		2	
リトアニア		1				1	
ルーマニア		2		1		3	
ロシア	11	32		3		46	

(平成31年3月31日現在) (単位: 件)

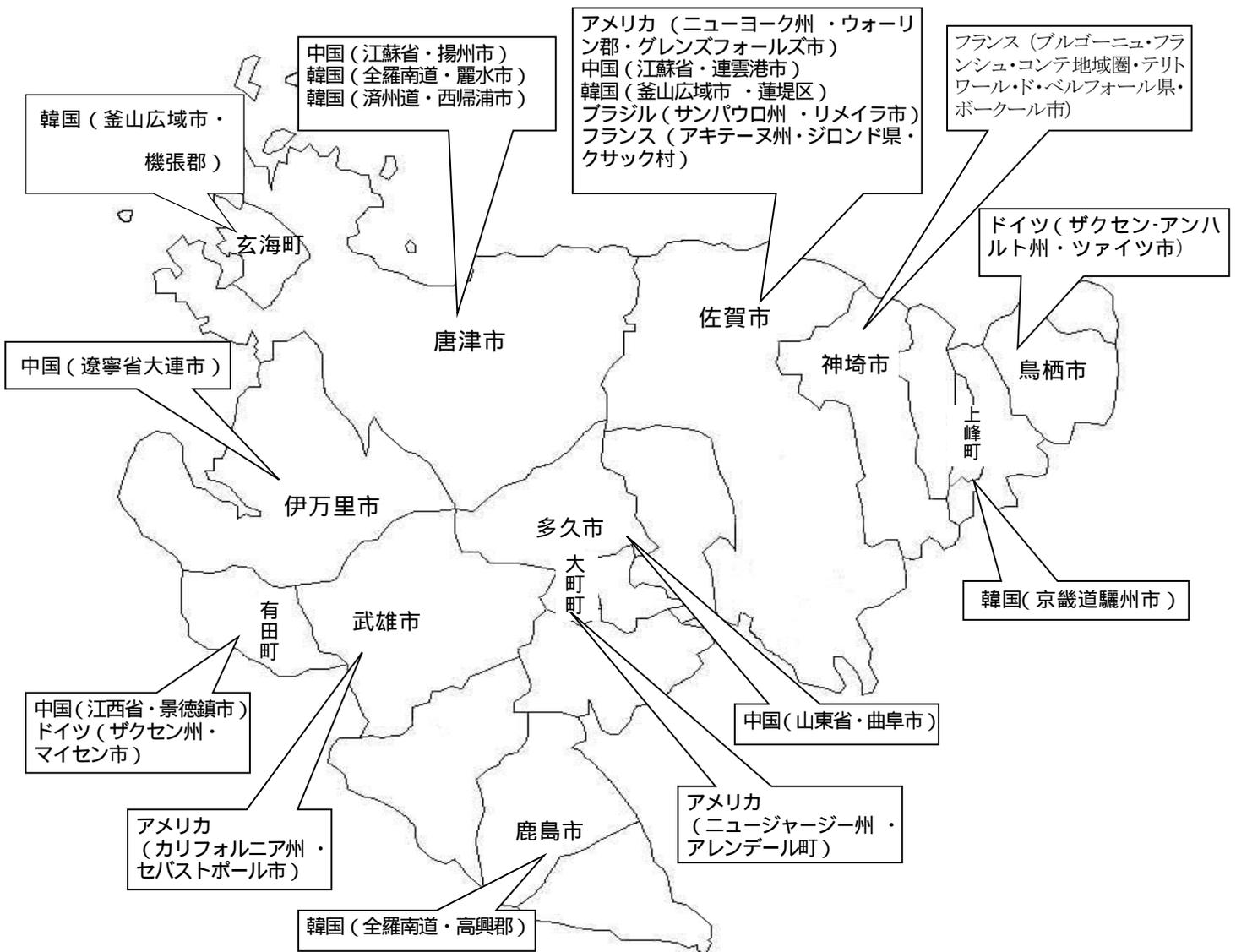
地域名	国・地域名	都道府県	市	区	町	村	合 計
大洋州	オーストラリア	6	79		23		108
	ニュージーランド		30		14		44
	パプアニューギニア		1				1
	パラオ	2					2
	マーシャル諸島				1		1
	アブ 首長国連邦	1					1
アジア	イスラエル		1				1
	インド	3	3				6
	インドネシア	4	2		1		7
	カンボジア		1		1		2
	スリランカ		3				3
	タイ	2	4				6
	トルコ		5		2		7
	ネパール		3		1		4
	フィリピン	1	13		5		19
	ブータン		1				1
	ベトナム	2	2				4
	マレーシア		3		1		4
	ミャンマー		1				1
	モンゴル	2	5				7
	韓国	19	116		27		162
	台湾		22		10		32
	中国	42	284		42		368
アフリカ	ウガンダ		1				1
	エジプト	1					1
	カメルーン		1				1
	チュニジア		1				1
合計		166	1,281	306		1,753	

相手国・地域数 70か国・地域(うち都道府県提携分 25か国)

ウ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国	佐賀県	市町												計
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	神埼	上峰	玄海	有田	大町	
アメリカ		1					1						1	3
中国		1	1		1	1						1		5
韓国	1	1	2					1		1	1			7
フランス		1							1					2
ドイツ				1								1		2
ブラジル		1												1
計	1	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	20



(イ) 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成30年度の交流状況
佐賀県	韓国 全羅南道 平成23年1月25日	平成4年から日韓海峡沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成8年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から14名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を15名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。	朝鮮半島南西部に位置し、西は黄海に面している。入り組んだ地形に2,000余りの島々が存在する。温暖な気候で干潟があるなど自然が豊か。農業、カキや海藻の海産物の生産が盛んである。	<ul style="list-style-type: none"> ・全羅南道国楽団受入 国楽団員15名 (H30.6月) ・青少年テコンドー交流 小学生30名派遣 (H30.11月) ・ソムジンガンマラソン 市民ランナー2名派遣 (H31.2月) ・全羅南道知事の来佐 職員9名 (H31.3月) ・さが桜マラソン選手団受入3名 (H31.3月)
佐賀県 (参考)	*中国 遼寧省 平成23年10月25日	平成7年から交流を開始。平成11年からは職員交流を開始し、佐賀県から8名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から12名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。	中国東北地域の南部に位置している。省都である瀋陽市は東北部最大の都市であり、南部には港湾都市の大連市がある。主産業は重工業。	<ul style="list-style-type: none"> ・遼寧省から CIR を佐賀県に受入1名 (H30.4月～H31.4月) ・肥前さが幕末維新博覧会民族舞踊団受入10名 (H30.11月) ・さが桜マラソン選手団受入3名 (H31.3月)
	*中国 貴州省 平成24年2月13日	平成11年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。平成24年からは職員交流を開始し、佐賀県から2名の職員を貴州省政府に派遣、貴州省から2名の職員の受入を行っている。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する覚書を交わした。	中国南部の内陸に位置し、平均海拔は1,100mで平地が少ない独特の地形を成す。主産業は農業で、茅台酒(マオタイ酒)は全国8大名酒として有名。鉱工業も盛んである。	<ul style="list-style-type: none"> ・貴州省青少年交流受入13名 (H30.8月) ・貴陽国際マラソン選手団派遣5名 (H30年8月) ・中国共産党貴州省委員会書記来県17名 (H30.9月) ・さが桜マラソン選手団受入5名 (H31.3月)

*中国(遼寧省)については「友好パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国(貴州省)については、「友好交流に関する覚書」を交わしている。

(ウ) 市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成 30 年度の交流状況
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及 びウォーリン郡 昭和63年9月23日	昭和61年、佐賀インター ナショナルバレーンフェ スタに、アメリカ・グレン ズフォールズ市のチーム が参加したのを機に、バル ーンが盛んであるという 共通点に加えて、自然・歴 史・文化面でも共通点が多 いことから姉妹提携がな された。	ニューヨーク州の北部に 位置する、人口約8万人の 美しいリゾート地	・市民訪問団受入 11 名 (H30.4.19 ~23) ・姉妹短期大学・大学受入支援 14 名 (H30.5.20~6.3) ・姉妹短期大学・大学派遣支援 13 名 (H31.3.14~31)
	韓国 釜山広域市・蓮境区 平成10年10月9日	民間のゲートボール交流 が始まりで、10 年来の交 流を続けている。行政や青 少年の交流の深まりを受 けて、真の隣人としての友 好と相互理解を期して姉 妹都市の締結をした。	釜山広域市中央部に位置 する人口約 21 万人の行政 区。区庁、市庁がある。	・トヒョン小児童訪問団受入支援 26 名 (H30.10.20~22) ・公式訪問団受入 8 名 (H30.10.30 ~11.1)
	中国 江蘇省・連雲港市 平成10年11月27日	徐福がきっかけで、平成 10 年以来相互交流を続け てきた。アジアの隣人とし ての市政レベルでの友好 促進を目指して友好都市 の締結をした。	江蘇省北部・黄海に面し、 上海と青島の間接地に位 置する港湾都市。徐福の生 誕地とされている。人口 460 万余り。	・友好訪日団受入 10 名 (H30.7.21 ~22) ・市民訪問団派遣 25 名 (H30.10.13 ~16)
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 昭和56年4月16日	双方に工場を持つ「味の素 (株)」が中介役となり、姉 妹都市提携に至った。リメ イラ市、旧諸富町共に農業 を中心とした商工都市で あるという点から、お互い に多面的交流をすること により、お互いの交流にも 役立つということから姉 妹都市提携した。	サンパウロ市の北方約 250km の内陸地にあり、人 口 28 万人で主産業はオレ ンジ、コーヒーなどの農業 が主。	
	フランス アキテーヌ州 ジロンド県 クサク村 昭和63年4月19日	良質なワインの産地とし て知られるフランスのク サク村と「どんぐり村」 の開発により地域の活性 化を図る三瀬村との姉妹 都市提携がなされた。	フランス共和国ボルドー 市の北西 37 km、ジロンド 川沿いのメドック地方に 広がるぶどう園地帯の真 ん中に位置し、面積20km ² 、 人口約2,100人、面積の約 4割がぶどう園で、ワイン 生産を中心とした農業が 展開されている。	・生徒訪問団派遣 13 名 (H30.8.8~ 16) ・公式訪問団派遣 3 名 (H30.8.8~14)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成30年度の交流状況
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 昭和57年2月22日	昭和47年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、昭和53年の第1次から昭和56年の第4次まで、市、市議会、市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、友好都市締結に至った。	南京から長江に沿って100キロ下流にある人口約460万人の古都。鑑真和上ゆかりの地。	・揚州市訪問団の唐津市視察訪問受入（H30.10.23～24）
	韓国 全羅南道・麗水市 昭和57年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり姉妹都市締結に至る。	韓国南海岸のほぼ中心に位置し、海上交通の拠点となっている美しい港町。人口約30万人。BIE認定2012麗水世界博覧会を開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・麗水市からの派遣職員受入1名（H29.6.23～H30.6.21） ・麗水市からの派遣職員受入1名（H30.6.23～R1.6.20） ・麗水市立雙鳳初等学校と唐津市立外町小学校学校交流事業 訪問者24名（H30.9.11～12） ・麗水副市長代表団唐津くんち視察来唐に伴う受入（H30.11.1～4）
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 平成6年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたのが始まり。その後ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など良く似た両市は姉妹都市締結に至る。	韓国西南端の済州島にある最南端の港町。国際的なリゾート地で人口15万8千人。	<ul style="list-style-type: none"> ・西歸浦市からの派遣職員受入1名（H30.2.22～12.21） ・西歸浦市へ職員派遣1名（H30.4.11～H31.3.22） ・西歸浦市からの派遣職員受入1名（H31.2.12～R1.12.21） ・小中学生「きれいな西歸浦市づくり」優秀先導同好会訪問団視察来唐に伴う受入（H30.10.4） ・第9回済州国際青少年フォーラムの招請に伴う参加（H30.11.1～5） ・西歸浦市地域自律防災団の先進災難防災体系視察来唐に伴う受入（H30.11.7）
唐津市 (参考)	中国 大連市旅順口区 平成16年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのため訪れたのがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至る。	大連市の6つの区の1つで、遼東半島の最南端に位置し、自然の景観に恵まれ、観光地としても力を入れている。人口26万5千人。	
	アメリカ合衆国 グアム準州 平成25年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済・教育・文化・スポーツ・観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流意向書の締結に至る。	太平洋上にあるアメリカ合衆国の準州。人口18万5千人。年間116万人の観光客が訪れ、その収入の90%が日本。観光が主要経済となっている。	

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成 30 年度の交流状況
鳥 栖 市	ドイツ ザクセン-アンハルト州・ツァイツ市 友好交流都市協定 平成 24 年 5 月 18 日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フッペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団 5 名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。 (H24.5.17~22)	ツァイツ市は、ザクセン-アンハルト州の南に位置し、人口約 3 万人。第 2 次世界大戦前は、乳母車やピアノの工場があり、また、東西ドイツ再統一以前は中部ドイツの化学及び褐炭地域として栄えていた。現在は、整ったインフラ構造と交通の便によるツァイツ工業団地と南砂糖株式会社が地元経済での有力企業。	・鳥栖市の学生 7 名と引率者 1 名を受入。ホームステイの実施(H30.7.22~8.5)
多 久 市	中国 山東省・曲阜市 平成 5 年 11 月 23 日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が宝永 5 年に孔子廟(現在呼称多久聖廟)を完成させた。孔子の誕生の地である曲阜市との交流を図るため、昭和 59 年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の友好都市締結に至った。	山東省南部に位置し、孔子の生まれ故郷とされる。人口 61 万人の都市。孔子を祭った孔廟や孔子一族の墓地である孔林などがある。	・多久市・曲阜市友好都市締結 25 周年、多久市日中友好協会設立 35 周年を記念し、多久市公式訪問団及び市民有志による友好交流訪問団「多久市民の翼」の計 41 名が曲阜市を表敬訪問(H30.7.4~8)
伊 万 里 市	中国 遼寧省・大連市 平成 19 年 5 月 26 日	昭和 62 年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流 20 周年の節目にあたり友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ友好交流都市の締結をした。	遼東半島の南端に位置し中国東北部最大の港湾を有する。人口約 600 万人。	・大連市アカシア祭り開幕式出席、大連市長表敬訪問、大連市人民対外友好協会主催の中日友好交流会議出席、中日観光大連ハイレベルフォーラムおよび市長円卓会議出席(H30.5.25~28) ・大連市中日十都市アカシアウォーキング大会、市民 5 名が参加(H30.5.25~28) ・第 19 期大連市公務研修生来日(H30.11.29)
武 雄 市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 昭和 60 年 3 月 27 日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏(女性)との交流があり、その中で交流親善の話があり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。 合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。	カリフォルニア州の北東部に位置する人口 7 千人余りの市、気候は温暖でりんご・ブドウの産地として有名である。	・たけおワールドフレンズ(23 名)がセバストポールを訪問・ホームステイを実施(H31.3.23~4.3)
鹿 島 市	韓国 全羅南道・高興郡 昭和 62 年 1 月 22 日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、昭和 63 年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。	高興郡は人口約 7 万人。自然の観光資源を活かした風光明媚な田園地域で、産業界では、ゆず、にんにく、キウイ、米、海苔、カキ、アゲマキなどの農水産業が盛んであり、観光面では多島海海上国立公園が有名。韓国の宇宙センターが建設されている。	・高興郡交流団 14 名が鹿島ガタリンピック参加に伴う訪日(H30.5.26~27) ・鹿島市交流団 10 名が第 44 回高興郡民の日式典参加に伴う訪韓(H30.10.31~11.2)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成 30 年度の交流状況
神 崎 市	フランス ブルゴーニュ・フランシ ユ・コンテ地域圏・テリ トワール・ド・ベルフォ ール県 ポークール市 平成 8 年 10 月 27 日	昭和 11 年フランスの飛行 家アンドレ・ジャッピー氏が 脊振山中に墜落し、村民が 救出したことから交流が 始まり、平成 7 年 6 月には、 ポークール市を友好訪問 そして平成 8 年 10 月 27 日に友好姉妹都市の提携 を結んだ。	フランス東部のジュラ山 脈の麓(標高 500m)に位置 する人口約 5,000 人、面積 5 km ² の市。近隣に自動車企 業(プジョー)の工場があ りベッドタウンとして繁 栄している。	・友好姉妹都市の関係にある、フ ランス共和国・ポークール市に副市 長など 6 名が訪問し、意見交換や交 流を通じて友好関係を深めた。 (H30.10.8~14) ・友好姉妹都市の関係にある、フ ランス共和国・ポークール市の小学 校と市内小学校による学校交流(スカ イプ交流、作品の交換等)
上 峰 町	韓国 京畿道驪州郡 平成 16 年 11 月 11 日 (再締結) 京畿道驪州市 平成 15 年 9 月 24 日	日韓剣道文化交流事業を 通じて知り合った驪州郡 出身の大学教授に驪州郡 を紹介していただき、平成 13 年から行政及び議会に よる相互交流を行い、親睦 を深めてきた。上峰中学校 と大神中学校による学校 間交流を推進し、親密な関 係を築き上げ、平成 16 年 8 月に姉妹校を締結した。 数々の交流事業を重ね、相 互理解と友好関係を深め 平成 16 年 11 月に友好都市 締結。 また、驪州郡が驪州市へ昇 格したことを記念し、友好 都市としての交流・協力を さらに促進させていくた めに交流推進協定を締結。	京畿道の南東部に位置し、 人口約 10 万 5 千人、面積 608 km ² 。美しい自然と広い 平野、文化芸術が調和をな して発展してきた都市。陶 磁器、米、さつまいも、梨、 椎茸等の産地として韓国 内でも有名。	・上峰中学校と姉妹校協定を締結し ている驪州市大神中・高等学校へ上 峰中学校の生徒 17 名が訪問 (H30.8.23~26) ・第 30 回驪州市陶磁器祭りへ町長ほ か 9 名が出席(H30.5.4~6)
玄 海 町	韓国釜山広域市 機張郡 平成 21 年 7 月 25 日	10 年続いた民間交流を通 じて、これから多岐にわた り交流していこうという ことで友好交流協定を締 結した。	韓国南東部に位置する海 沿いの街。人口 10 万で水 産資源、観光資源が豊富。	・韓国釜山広域市機張郡訪問 (H30.11.14~16)
有 田 町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 昭和 54 年 2 月 9 日 (再調印) 平成 3 年 9 月 21 日 平成 18 年 9 月 23 日	マイセン市と有田町は、今 日まで両国において代表 的な磁器の産地として繁 栄してきた。この両市が友 好を深め、陶磁器文化の交 流、技術の交流を通じて国 際的な親善を期待し、姉妹 都市の盟約を締結。また、 統一ドイツ後の新しい体 制のもと、新たな出発とし て更に友好交流を深める ために、平成 3 年に姉妹締 結、そして有田町と西有田 町が合併し新有田町が発 足した平成 18 年に再調印 した。	ザクセン州のエルベ川沿 いに位置し、首都ベルリン より南へ約 140 km の距離に ある。ヨーロッパ陶磁器発 祥の地としてその名は世 界的に知られており、高級 磁器の代名詞にもなって いる。気候は温暖であり、 12 世紀初頭よりブドウ栽 培が盛んでマイセンワイ ンの産地としても有名な 所である。マイセン周辺 は、大聖堂など有名な建造 物も多く、文化財保護地域 となっており、画家や写真 家等の恰好の対象となる ほど美しく、緑豊かな町で ある。	・マイセン市へ 3 名視察訪問(H31.1 月)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成30年度の交流状況
有田町	中国 江西省・景德鎮市 平成8年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易従来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結する。	中国江西省の東北部に位置し、千数百年の陶磁器の歴史を持つ陶磁器の街、即ち陶都として知られている。14世紀初めに染付技法が景德鎮で完成され、景德鎮は世界の陶磁器の中心産地へと急成長を遂げた。	・景德鎮市より5名来有（H30.5月） ・景德鎮市「第15回国際陶磁博覧会」等7名訪問（H30.10月）
大町町	アメリカ ニュージャージー州 アレンデル町 平成8年8月2日	平成3年7月にアレンデル町出身のダニエル・モス氏がALTとして大町中学校に着任したことから、中・高校生のアレンデル町派遣が始まり、平成8年8月に友好都市提携の締結に至った。	アレンデル町は、ニュージャージー州にありニューヨークとは車で約1時間の距離。人口約6,000人、面積7,68 km ² で、緑豊かな住宅地である。	

（注）提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

（エ）その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成30年度の交流状況
鹿島市	韓国 釜山外国語大学校 平成15年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学校との交流は、第8回（平成4年）「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ900名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。	釜山広域市にある、4年生総合大学。昭和57年開校。外国語と外国文化に精通した人材を養成することにより、国際社会に貢献する学生を輩出することを目的とする。	・第34回鹿島ガタリンピック参加に伴う訪日。釜山外国語大学校教授、学生37名が訪問（H30.5.25～28） ・鹿島市交流団10名が表敬訪問（H30.10.31～11.2）
有田町	韓国 （社）韓国陶磁文化協会 平成8年8月28日 （再調印） 平成19年5月3日	（社）韓国陶磁器文化協会と有田については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や、韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後とも陶磁器文化交流と日韓友好親善増進に相互協力するため友好団体の盟約を締結。		・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会会長ら関係者参列（H30.5.4月）

エ 教育機関等の姉妹友好等提携交流（平成30年度）

（ア）大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	アメリカ合衆国	アンダーソン大学	S53.12.27
	大韓民国	全南大学校	H3.3.8
	タイ王国	カセサート大学	H8.12.6
	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学デイビス校	H9.7.24
	大韓民国	安東大学校	H9.12.11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10.5.15
	英国	グラスゴー大学	H10.7.17
	タイ王国	コンケン大学	H10.9.28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10.12.8
	大韓民国	国民大学校	H11.3.29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11.4.12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11.11.30
	大韓民国	釜山大学校	H12.2.2
	大韓民国	木浦大学校	H12.8.3
	中華人民共和国	中国農業大学	H12.10.17
	ベトナム社会主義共和国	ハノイ農業大学	H12.12.7
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13.3.9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13.4.27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13.8.9
	ルーマニア	アレクサンドルイオンクザ大学	H13.9.11
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学	H13.11.1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13.11.6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13.11.12
	大韓民国	釜慶大学校	H14.4.18
	大韓民国	済州大学校	H14.8.9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14.9.13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14.10.8
	中華人民共和国	華東理工大学	H15.4.1
	バングラデシュ人民共和国	ラジャヒ大学	H15.5.18
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15.7.1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15.7.2
	オーストラリア	ラトロープ大学	H15.7.31
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ農科大学	H16.8.28
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16.9.6
	台湾	国立政治大学	H16.9.13
	台湾	国立中興大学	H16.9.14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17.3.31
	大韓民国	光州女子大学校	H17.7.14
	カナダ	マニトバ大学	H17.8.8
	タイ王国	チェンマイ大学	H17.9.9
	台湾	国立台北大学	H17.10.6
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18.3.3
	台湾	国立東華大学	H18.6.30
大韓民国	培材大学校	H18.7.11	
ベトナム社会主義共和国	ノンラム大学	H18.11.9	
パキスタン・イスラム共和国	コハート科学技術大学	H19.4.27	
大韓民国	牧園大学校	H19.5.16	
インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19.6.11	
大韓民国	大邱大学校	H19.6.26	
台湾	元培科技大学	H19.7.6	
ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	H19.8.6	
カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19.8.24	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	中華人民共和国	西南政法大学	H19.10.31
	パキスタン・イスラム共和国	ペシャワール大学	H19.11.10
	カンボジア王国	王立農業大学	H19.11.21
	タイ王国	アジア工科大学	H19.11.21
	中華人民共和国	浙江科技学院	H19.12.25
	タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20.1.3
	アメリカ合衆国	パシフィック大学	H20.2.29
	中華人民共和国	遼寧大学	H20.4.30
	台湾	国立連合大学	H20.8.8
	インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21.9.4
	台湾	文藻外語大学	H21.9.4
	ラオス	ラオス国立大学	H22.1.26
	カナダ	ウイルフリッド・ロリエ大学	H22.7.13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22.7.26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22.9.30
	ベトナム社会主義共和国	ビン大学	H23.2.21
	インドネシア共和国	セベラスマレット大学	H23.3.28
	インドネシア共和国	ジュアングダ大学	H23.7.15
	インドネシア共和国	マラン国立大学	H23.12.7
	インドネシア共和国	ボゴール農業大学	H23.12.27
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	H24.3.13
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校工科大学	H24.3.13
	アメリカ合衆国	スリッパリーロック大学	H24.4.4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24.8.28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24.11.30
	タイ王国	タマサート大学	H25.2.13
	バングラディッシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25.2.20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25.3.11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25.8.26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25.11.8
	インドネシア共和国	ジャカルタ国立大学	H26.2.11
	インドネシア共和国	ブラウイジャヤ大学	H26.4.14
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学	H28.8.21
	オランダ王国	デザインアカデミーアイントホーフェン	H28.10.19
ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学(ハレ)	H29.3.30	
フランス共和国	バイオ産業大学	H29.11.6	
中華人民共和国	温州大学	H30.5.28	
佐賀大学 (学部間)	*教育学部		
	フランス共和国	NEMO国際共同研究グループ	H14.7.1
	*経済学部		
	中華人民共和国	中国社会科学院 世界経済政治研究所	H6.6.30
	*医学部		
	中華人民共和国	南昌大学 医学院	H5.2.22
	中華人民共和国	大連医科大学	H10.10.29
	中華人民共和国	第四軍医大学	H12.10.31
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13.1.29
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 ジョンA・バーンズ医学部	H14.2.14
	台湾	輔仁カトリック大学 医学部	H25.3.15
	中華人民共和国	浙江中医薬大学	H28.9.22
	*理工学部		
	英国	グラスゴー大学	H5.6.28
	タイ王国	カセサート大学 工学部	H8.12.2
	スリランカ民主社会主義共和国	モラツワ大学	H8.12.13
	英国	ベルファーストクイーンズ大学 工学部	H9.12.16
英国	イースト・アングリア大学 ケミカルサイエンススクール	H10.1.22	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日	
佐賀大学 (学部間)	チェコ共和国	プラハ化学技術大学	H10.7.20	
	スロバキア共和国	コメニウス大学 自然科学部	H11.6.17	
	スロバキア共和国	コメニウス大学 数学物理学部	H11.6.17	
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学 衛生土木工学部	H11.10.5	
	バングラデシュ人民共和国	クルナ工業技術大学	H12.3.1	
	大韓民国	慶北大学校 師範大学	H18.10.30	
	カナダ	コンコルディア大学 工学・情報科学部	H13.7.27	
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14.11.27	
	ネパール王国	トリブバン大学 理工学部	H15.3.2	
	大韓民国	大邱カトリック大学校 自然科学大学・工科大学	H15.3.21	
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15.3.28	
	バングラデシュ人民共和国	ジャフジャラル大学 応用科学技術学部	H15.5.25	
	中華人民共和国	浙江大学 建築工程学院	H15.9.11	
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	H16.6.1	
	中華人民共和国	西北大学 化学学部	H16.12.24	
	大韓民国	延世大学校	H17.4.11	
	中華人民共和国	清華大学 理学院	H18.3.22	
	大韓民国	高神大学校 自然科学大学	H19.11.23	
	中華人民共和国	武漢大学 数学与統計学院	H21.12.24	
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25.2.19	
	インドネシア共和国	マラン国立ポリテクニクス	H25.11.29	
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学部	H27.3.27	
	中華人民共和国	同済大学 土木工程学院	H27.5.7	
	ミャンマー	ヤンゴン工科大学	H27.6.22	
	大韓民国	韓国交通大学	H27.9.15	
	マレーシア	トゥン・フセイン・オン大学	H27.12.9	
	インドネシア共和国	ランブング・マンクラット大学	H28.1.20	
	台湾	国立勤益科技大学	H28.2.22	
	フランス共和国	リール大学	H28.12.8	
	中華人民共和国	温州大学 建築工程学院	H29.2.25	
	中華人民共和国	蘇州大学 材料与化学化工学部	H30.1.30	
	ベトナム社会主義共和国	チュイロイ大学	H30.3.7	
	カザフスタン共和国	カザフ建築土木高等アカデミー	H30.7.20	
	* 工学系研究科			
	中華人民共和国	中国科学院 長春応用化学研究所		H10.6.23
	* 農学部			
	大韓民国	全南大学校 農科大学		S62.4.27
	タイ王国	コンケン大学 農学部		S63.6.29
	マレーシア	マレーシアプトラ大学 農学部		H1.3.16
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学 農学部		H6.9.20
	タイ王国	カセサート大学 農学部、農工学部、理学部、工学部		H7.6.7
	カナダ	セントメリーズ大学 科学部		H8.7.23
	マレーシア	マレーシア科学大学 生物科学部		H8.8.7
	大韓民国	済州大学校 農科大学		H9.6.16
	大韓民国	木浦大学校 食品産業技術研究センター		H9.8.28
	大韓民国	牧園大学校 テクノ科学大学		H17.12.1
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部		H17.12.1
	タイ王国	キングモンクット大学ソンプリ校 生命資源技術大学		H18.12.7
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学 農村開発学部		H27.3.16
	中華人民共和国	温州大学 生命環境科学部		H28.9.12
インドネシア共和国	ジェンデラル・スティルマン大学		H30.10.23	
* 農学研究科				
英国	ロンドン大学インペリアルカレッジ(科学・技術・医学)生物学科		H5.7.26	
* 海洋エネルギー研究センター				
大韓民国	釜慶大学校 新環境先端エネルギー機械研究センター		H16.9.17	
マレーシア	マレーシア工科大学海洋温度差エネルギー研究センター		H26.2.20	
中華人民共和国	大連理工大学海洋科学技術学院		H27.1.21	
大韓民国	海洋大学 海洋エネルギー人的資源開発センター		H21.8.28	
オランダ王国	デルフト工科大学、BLUERISE、ブルーライズ社、株式会社ゼネシス		H29.2.9	
フランス共和国	レユニオンPIMENT研究所		H30.3.6	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (学部間)	*リージョナル・イノベーションセンター		
	中華人民共和国	上海交通大学 高度技術企業化室	H13.8.15
	*シンクロトロン光応用研究センター		
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14.4.1
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18.3.6
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18.4.1
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22.9.9
	中華人民共和国	上海応用物理研究所上海シンクロトロン光施設	H23.4.6
	*国際交流推進センター		
	台湾	文藻外語学院 日本語学科	H20.3.17
西九州大学 西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22.8.25
	アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学アディロンダック校	H22.11.23
	大韓民国	モコン大学	H22.12.14
	大韓民国	大田科学技術大学	H23.10.7
	タイ王国	ブラパー大学	H24.8.27
	台湾	国立宜蘭大学	H24.11.7
	台湾	元培医事科技大学	H24.11.8
	スロベニア	リュブリャナ大学	H25.8.5
	大韓民国	社会福祉法人 蓮花村	H25.9.24
	台湾	義守大学	H25.10.11
	中華人民共和国	安徽三聯学院	H27.3.23
	中華人民共和国	廈門(アモイ)理工学院	H27.6.23
	大韓民国	建国大学グローバルキャンパス	H27.6.26
	ベトナム	ハノイ大学	H29.9.12
九州龍谷短期大学 * 大学間	大韓民国	善隣大学	H17.3.25
	大韓民国	釜山女子大学	H19.3.6
	中華人民共和国	凱里学院	H20.5.8
	中華人民共和国	貴州民族学院	H20.5.9
	中華人民共和国	盤錦職業技術学院	H20.7.12
	大韓民国	東義科学大学	H23.7.25
	大韓民国	釜山経商大学	H23.11.9
	中華人民共和国	遼寧師範大学国際教育学院	H24.12.17
	中華人民共和国	大連大学日本語文化学院	H25.5.14
佐賀女子短期大学 * 大学間	アメリカ合衆国	アディロンダックコミュニティカレッジ	H8.8.9
	アメリカ合衆国	ウィスコンシン州立大学リバーフォールズ校	H10.12.18
	大韓民国	慶州大学校	H11.11.12
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15.10.26
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17.6.29
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20.7.13
	大韓民国	蔚山科学大学	H22.1.15
	大韓民国	釜山外国語大学	H27.5.13
	中華人民共和国	江西外語外貿職業学院	H27.6.1
	アメリカ合衆国	ハワイ大学マウイ校	H27.8.11
	大韓民国	培林大学	H27.10.14
	大韓民国	翰林聖心大学	H29.4.21
	大韓民国	忠北保健科学大学	H29.5.17
	大韓民国	金浦大学	H29.6.13

(イ) 高等学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	平成30年度の交流状況
佐賀東高等学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	【訪問】 渡航期間：H30.3.24～4.3 派遣人数：生徒2名(グレンズフォールズ市) 交流内容：現地の高校を訪問、ホームステイ体験
佐賀北高等学校	平成4年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
唐津西高等学校	平成29年9月21日 貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、国際交流協定締結に至った。	【受入】 受入期間：H30.7.27 受入人数：生徒10名、職員3名 交流内容：歓迎会、交流活動(学校紹介・出し物)、部活体験(弓道、書道)
太良高等学校	平成30年3月7日 台湾国立成功商業水産職業学校 (中国 台湾 台東縣)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年度にかけて行き来をした後、平成29年度、国際交流協約書を締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.11.19～22 渡航人数：生徒10名、引率3名 交流内容：全体交流会、授業交流、昼食交流、学校外活動交流
唐津南高等学校	平成28年9月29日 三重高級商工職業学校 (中国 台湾)	平成27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、国際交流協定締結に至った。	【訪問】 渡航期間：H30.10.30～11.1 渡航人数：生徒10名、教職員3名 交流内容：グループ交流を通して、親睦を深めた。 歓迎セレモニー ・両校校長挨拶、両校学校紹介 ・記念品交換、中国語による自己紹介 ・出し物(中国語での合唱、相手校の生徒とのダンス) 生徒交流 ・プレゼント交換、グループ交流、伝統文化紹介(折り紙、けん玉、書道) ・昼食会
高志館高等学校	平成30年4月 湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度より、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度、国際交流協約を締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.7.16～19 渡航人数：生徒9名、教職員2名 交流日：H30.7.17、18 交流内容：ランチ交流、歓迎式、校内施設見学、製作、パブリカ農場見学 【受入】 交流日：H30.11.22 受入人数：生徒26名、教職員4名 交流内容：フラワーアレンジメント体験、製作、パディタイム、出し物披露
佐賀農業高等学校	平成26年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成26年度、国際交流協定締結に至った。	【訪問】 渡航期間：H30.7.17～19 渡航人数：生徒4名、教員1名 【受入】 受入期間：H30.10.30 受入人数：25名
佐賀工業高等学校	平成27年10月 順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度より、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度、国際交流協約を締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.12.12～14 渡航人数：生徒14名(機械科4名、電気科4名、電子情報科4名、建築科2名)、職員4名 交流内容：歓迎セレモニー、合同実習、ランチ交流、スポーツ交流(卓球)等を通して親近感が醸成されるとともに、韓国文化の理解が深まった。

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	平成30年度の交流状況
有田工業高等学校	平成17年8月2日 韓国陶芸高等学校	有田焼の祖とされる李参平は半島出身でもあり、日韓の陶芸を学ぶ高校生同士が交流することにより技術の向上を図る。	陶芸作品の受け入れ・展示・返送
佐賀商業高等学校	平成7年7月4日 ハードリー・ルザン高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	【訪問】 渡航期間：H30.3.24～4.3 渡航人数：生徒5名(グレンズフォールズ市) 交流内容：現地高校を訪問、ホームステイを体験
	平成28年11月1日 筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、平成28年度、交流協約書を締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.10.23～26 渡航人数：生徒12名、引率3名 交流内容：歓迎セレモニー、授業交流、韓国文化体験、交流夕食会 【受入】 交流日：H30.10.31 受入人数：生徒12名、引率3名 交流内容：歓迎セレモニー、授業交流、ランチ交流
唐津商業高等学校	平成24年7月22日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、国際交流協約書を締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.7.17～20(3泊4日) 渡航人数：生徒13名、職員2名、通訳1名 交流内容：歓迎式典、授業体験、夕食交流会、学生寮体験、市内観光 【受入】 受入期間：10月24日～25日 受入人数：生徒31名、職員3名、通訳1名 交流内容：歓迎式典、生徒会主催交流会、授業・部活動体験、調理実習、夕食交流会、市内観光
杵島商業高等学校	平成27年12月23日 順天青岩(チョンアム)高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.11.15～17(交流日H30.11.16) 渡航人数：生徒10名、引率3名 交流内容：両校の出し物、パートナーとの制作活動や給食体験、韓服での礼儀作法講座などを通して交流を行った。
牛津高等学校	平成25年12月 リセ オテルリ (フランス)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。	交流実績なし
	平成27年12月 上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成24年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度、国際交流協定締結に至った。	交流実績なし
嬉野高等学校	平成26年5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成25年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。	交流実績なし

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	平成30年度の交流状況
唐津青翔高等学校	平成20年1月14日 釜山外国語大学校 (韓国)	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。	【受入】 交流日：H30.7.8 受入人数：日本語学科学生20名 大学職員2名 交流内容：校内で韓国語系列の生徒や生徒会本部役員の計20名で交流会を実施 【訪問】 渡航期間：H30.11.14～16 渡航人数：生徒13名、引率2名 交流内容：授業見学、施設見学、大学生や留学生との交流事業等
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	平成10年3月27日 レイクジョージ高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学附属 佐賀女子高等学校	平成14年1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、平成13年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。平成14年1月に来校。提携校協定を結ぶ。	【訪問】 交流日：H30.8.7～10 交流人数：1年生9名、2年生7名、3年生2名 交流内容：両校による出し物の披露、歌、寸劇で交流を深めた。名所や旧跡の市内散策を行った。又チマチョゴリを着て写真撮影し楽しんだ。来年は善徳女子高校20名の生徒が来校される予定である。
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	昭和56年4月1日 永登浦(ユンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	佐賀新聞社の紹介により締結	交流実績なし
学校法人江楠学園 北陵高等学校	平成2年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
学校法人東明館学園 東明館高等学校	平成27年4月27日 信男教育学園上海文来高等学校国際部中日班 (中国 上海市)	平成26年1月20日佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。	交流実績なし

(ウ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H30年度の交流状況
佐賀大学教育学部 附属中学校	平成28年2月 香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」をに応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、MOUを締結した。	【訪問】 交流日：H30.9.21 渡航人数：生徒20名、職員3名 交流内容：歓迎レセプション、相互学校紹介・文化紹介、体験授業参加、生徒の自由交流
唐津東中学校	平成29年11月6日 董玉娣中学校 (中国 香港)	平成27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。	【訪問】 渡航期間：H30.11.5～7 交流日：H30.11.6 渡航人数：10名(中学3年生) 交流内容：学校施設見学、学校紹介、日本文化の紹介、中学校周辺散策

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	平成30年度の交流状況
武雄青陵中学校	平成27年3月4日 麗水華陽（ファヤン）中学校 （韓国 全羅南道）	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。	【訪問】 渡航期間：H30.11.12～14 渡航人数：生徒9名、教職員2名 交流内容：訪韓2日目に華陽中学校を訪問し、歓迎セレモニーを開いてもらった。1部では華陽中学校生徒による英語や日本語での学校紹介やクラブ活動のダンス披露をしてもらった後、武雄青陵中学校生徒によるパワーポイントを使った英語や韓国語での学校・文化などの紹介を行った。2部ではWord Café と称した交流会の中で4つのテーマに分かれて、英語やイラスト、文字、ジェスチャーなどを使っての交流を行った。
佐賀市立成章中学校	平成10年11月17日 ウォレンズバーグ中学校 （アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立城南中学校	平成10年3月27日 レイクジョージ中学校 （アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立昭栄中学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン中学校 （アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立城西中学校	平成元年5月22日 グレンフォールズ中学校 （アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立鍋島中学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー中学校 （アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
唐津市立第一中学校	平成8年11月16日 麗水中学校 （韓国 全羅南道）	昭和57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結をうけ、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。	交流実績なし
武雄市立山内中学校	平成5年3月 カリフォルニア州セバストポール市ブルックハイブン中学校 （アメリカ）	昭和60年3月にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックハイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後の平成23年4月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。	【訪問】 渡航期間：H31.3.23～4.4 渡航人数：本校生徒4名（「たけおワールドフレンズ」主催で武雄市内在住の中学生18名が渡航） 交流内容：セバストポール市を訪問、ホームステイ
神崎市立神崎中学校	平成28年11月15日 朗洲中学校 （韓国 全羅南道）	平成28年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。	【受入】 交流日：H30.11.13 交流内容：神崎中学校は神舞太鼓、新体操の演技、空手道の演武などを行った。韓国朗洲中学校は、楽器を演奏したり、ダンスをしたりした。また、4校時は授業に韓国の生徒が参加し、日本の授業形態を体感した。給食も体験。午後は、ホームビジットを体験し、日本の家族と楽しいひとときを過ごした。

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	平成30年度の交流状況
神崎市立 千代田中学校	平成28年11月9日 三湖西中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。 神崎市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神崎市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。平成27年10月23日に神崎市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。	【受入】 交流日：H30.11.6 受入人数：20名（生徒15名、引率5名） 交流内容：交流会や授業体験、給食交流などを通してお互いの親交を深めた。
神崎市立 脊振中学校	平成元年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)	締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振村（当時）に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	【訪問】 交流日：H30.8.2 渡航人数：生徒6名、学校職員2名、神崎市職員2名 交流内容：附属中学校全校生徒との交流会（学校紹介、部活動紹介、よさこいソーラン、脊振音頭の披露、舞踊等）で親睦を深めたあと、生徒宅6軒に分かれてホームビジット夕食を共にした。 【手紙等による交流】 12月の総合的な学習の時間に、全校生徒が交流校の生徒への年賀状を作成して郵送し、交流を深めた。
上峰町立 上峰中学校	平成16年8月27日 大神（テイシン）中学高等学校 (韓国)	昭和55年より県道愛好者による民間交流が始まる。平成13年に上峰町長及び議員がヨジユ郡を表敬訪問。ヨジユ郡からの来町も繰り返された。平成15年、日韓友好上峰町青少年ヨジユ郡訪問事業開始。平成16年姉妹校締結。	【訪問】 渡航期間：H30.8.23～26 渡航人数：生徒17名、引率者4名 交流内容：「驪州（ヨジユ）市青少年上峰町訪問事業」として、上峰中学校の生徒・職員が驪州市の大神中学校・高等学校を訪問した。歓迎夕食会、学校での歓迎式典や交流活動、市役所への表敬訪問等を行うとともに、生徒達は、2泊のホームステイ体験をして相互理解を深めた。
玄海町立 玄海みらい学園	平成29年8月10日 コロワルスクール (オーストラリア)	前教育長が国際交流を推進しており、数年前からコロワルスクールとは交流をしていた。その交流の一環として。	【受入】 受入期間：H30.11.2～5 受入人数：15名（生徒13名、引率2名） 交流内容：学園生との交流、日本文化体験、授業参観、授業体験

(エ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H30年度の交流状況
佐賀市立 勸興小学校	平成元年5月22日 サンフォード・ストリート 小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 循誘小学校	平成2年11月17日 ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 嘉瀬小学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン小 学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 鍋島小学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	平成30年度の交流状況
佐賀市立 金立小学校	平成元年5月22日 ビッグクロス・ストリート 小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 久保泉小学校	平成2年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
佐賀市立 芙蓉小学校	平成元年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし
唐津市立 名護屋小学校	平成11年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年平成12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っている。隔年で相互訪問を行っている。	【受入】 交流日：H30.7.24 受入人数：児童30名、職員5名 交流内容：本校児童107名との交流を行った。萬徳小学校は、韓国の伝統芸能の舞踊、名護屋小学校は名小ソーランを披露した。その後、プレゼント交換を行った。 【手紙等による交流】 H31.1月、2月に名護屋城博物館国際交流員の金夏恩先生にハングル文字の指導をしていただき、手紙の交流を行った。
伊万里市立 小中一貫校 滝野校	ダービースクール(アメリカンスクール) 長崎県佐世保市	平成8年度に文部省の「英語活動」教育研究開発校指定を受けたのを機に、交流を始めた。	交流実績なし (H30.7.6に本校で交流会の予定だったが、大雨のため中止)
鹿島市立 北鹿島小学校	平成22年8月4日 大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(ゴフン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。	【受入】 受入期間：H30.7.31～8.1 受入人数：5・6年生16名、引率9名 交流内容：全校での交流撮影会(台風のため、到着が1日遅れ交流会ができなかったため)、ホームステイ、買い物体験、鹿島市表敬訪問

(オ) 幼稚園

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H30年度の交流状況
エミール幼稚園	平成7年4月2日 ビッグクロス幼稚園 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流実績なし

(カ) その他の交流状況

○ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・商工会議所

団 体 名	相 手 団 体 名	国 名	提携年月日
佐賀ロータリークラブ	南釜山ロータリークラブ	韓 国	S48. 3.24
佐賀西 "	岡 山 "	台 湾	S54. 2.27
佐賀北 "	豊原西北 "	"	H 4. 6. 9
唐 津 "	麗 水 "	韓 国	S45.11. 6
	大 甲 "	台 湾	S51.11.28
唐津中央 "	麗水閑麗 "	韓 国	H11.11.11
唐津西 "	浦 頂 "	"	S49. 6.13
	麗水左水營 "	"	S52. 3.16
	唐津 "	"	S59. 4. 2
唐津東 "	員林 "	台 湾	S50. 2.20
鹿 島 "	北斗 "	"	S55. 3.13
佐賀ライオンズクラブ	晋州ライオンズクラブ	韓 国	S48.10.17
佐賀葉がくれ "	台北市第一(中央)国際獅子	台 湾	S46. 2. 9
佐賀若楠 "	會	韓 国	S58. 8. ~
鳥栖養基 "	ソウル平和ライオンズクラブ	"	S55. 1.19
嬉 野 "	新馬山 "	"	S54. 3.17
	鎮 海 "		
佐賀青年会議所	新營青年会議所	台 湾	S60. 5.24
唐津 "	麗水 "	韓 国	S46. 5. 5
唐津商工会議所	麗水商工会議所	韓 国	S52. 5.10

社会福祉法人めぐみ厚生センター・韓国社会福祉法人「手と手」(韓国)

・提携年月日 平成3年7月8日

(平成21年以降の交流はなし)

松浦文化連盟・麗水文化団体(韓国芸術文化総連号会麗水支部)

・提携年月日 昭和56年12月13日

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ボリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

ア 市町別移住者数

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	フィリピン	ニュージーランド	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

出典：農業振興課「佐賀県海外移住史」

イ 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により20ヶ所（14ヶ国）に県人会があり、各種活動を行っている。

平成30年5月現在

地域	国名	団体名（日本語）	団体名（現地名称）	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	ASSOCIAÇÃO CULTURAL ESPORTIVA E BENEFICENTE SAGAKEN DO BRASIL	1955 (S30)	220名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S51)	314名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S55)	108名
	ボリビア	ボリビア佐賀県人会	ASOCIACION.DE.PRIV,SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S35)	41名
北米	アメリカ	南カリフォルニア佐賀県人会	Saga Prefectural Association of Southern California	1905 (M38)	18名
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S54)	15名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H11)	74名 (佐賀出身者 14名)
		北加佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H21)	25名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H2)	35名
	中国	香港佐賀県人会	香港佐賀県人会	1995年頃 (H7頃)	12名
		北京佐賀県人会	北京佐賀县人会	2015 (H27)	8名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H14)	50名
		台湾佐賀県人会	台湾佐賀県人会	2017 (H29)	17名
	シンガポール	佐賀県人会	葉隠会	1984 (S59)	15名
	マレーシア	佐賀県人会	ムツゴロウ会	2013 (H25)	24名
	インドネシア	ジャカルタ県人会	佐賀県人会	2005 (H17)	15名
	韓国	ソウル佐賀人会	서울사가모임(ソウル佐賀集まり)	1990年代	23名
	ベトナム	ホーチミン 葉隠れ会	ホーチミン 葉隠れ会	2014年頃 (H26頃)	15名
欧州	フランス	パリ佐賀県人会		2013 (H25)	23名

4. 国際化推進のための環境づくり

(1) 人材育成

ア 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治団体国際化協会 (CLAIR) の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員 (CIR)、外国語指導助手 (ALT) 及びスポーツ国際交流員 (SEA) に分けられ、CIR は国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALT は語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。SEA はスポーツを通じた国際交流活動に従事し、主に地方公共団体に配置される。

(ア) 年度別招致状況

JET 青年招致人数推移

	県				市 町 等				合 計			
	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計
H7 年度	2	24		26	2	52		54	4	76		80
H8 年度	2	25		27	2	55		57	4	80		84
H9 年度	2	26		28	1	56		57	3	82		85
H10 年度	2	28		30	2	57		59	4	85		89
H11 年度	3	29		32	2	60		62	5	89		94
H12 年度	3	29		32	2	62		64	5	91		96
H13 年度	3	30		33	2	63		65	5	93		98
H14 年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H15 年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H16 年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H17 年度	3	29		32	3	64		67	6	93		99
H18 年度	3	28		31	3	60		63	6	88		94
H19 年度	3	27		30	3	50		53	6	77		83
H20 年度	3	14		17	2	41		43	5	55		60
H21 年度	3	9		12	2	35		37	5	44		49
H22 年度	3	6		9	2	33		35	5	39		44
H23 年度	3	16		19	2	31		33	5	47		52
H24 年度	3	16		19	2	30		32	5	46		51
H25 年度	4	16		20	2	26		28	6	42		48
H26 年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H27 年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H28 年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H29 年度	4	16	1	21	2	24	0	26	6	40	1	47
H30 年度	4	16	1	21	2	23	0	25	6	39	1	46

「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(H2～18年度、各年度 ALT 1 名を配置)を含む。

(イ) 外国青年招致事業による招致青年の配置状況(平成30年度)

国際交流員(CIR)

配 置 先		H30 人数(名)
県	佐賀県国際課	4
市 町 等	佐賀市国際交流室	1
	有田町商工観光課	1
合 計		6

外国語指導助手(ALT)

配 置 先		H30 人数(名)
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16
市 町 等	唐津市教育委員会	11
	武雄市教育委員会	5
	鹿島市教育委員会	2
	吉野ヶ里町教育委員会	1
	玄海町教育委員会	1
	嬉野市教育委員会	1
	有田町教育委員会	
	大町町教育委員会	1
	江北町教育委員会	1
	合 計	39

スポーツ国際交流員(SEA)

配 置 先		H30 人数(名)
県	佐賀県教育委員会保健体育課	1
市 町 等	-	
	合 計	1

出典：県国際課調

イ 外国語教育

(ア) 県立高校における留学生受入校及び受入人数(1か月以上)

	学 校 名	H28	H29	H30		学 校 名	H28	H29	H30
1	鳥 栖		1	2	20	唐 津 南			
2	三 養 基				21	伊 万 里 農 林		1	
3	神 埼				22	佐 賀 農 業			
4	佐 賀 東				23	鳥 栖 工 業			
5	佐 賀 西			1	24	佐 賀 工 業			
6	佐 賀 北	1			25	唐 津 工 業			
7	致 遠 館				26	有 田 工 業		1	1
8	小 城	1	2		27	塩 田 工 業			
9	唐 津 東				28	鳥 栖 商 業			
10	唐 津 西				29	佐 賀 商 業			
11	巖 木				30	唐 津 商 業			
12	唐 津 青 翔				31	伊 万 里 商 業			
13	伊 万 里				32	杵 島 商 業			
14	武 雄				33	鹿 島 実 業			
15	白 石		1	1	34	神 埼 清 明			
16	鹿 島			1	35	多 久	1		
17	太 良				36	嬉 野			
18	牛 津	1			受入校数		4校	5校	5校
19	高 志 館				留学者数		4名	6名	6名

出典：県教育庁教育振興課

(イ) 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況(平成30年度)

学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数(定員)	コースの 設置年
佐賀商業高等学校	グローバルビジネス科	1	40	平成30年

出典：県教育庁教育振興課

(ウ) 県立高校における英語以外の外国語の取組状況 (平成 30 年度)

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門 (3 年生選択 / 2 単位)	H4
	ハングル入門 (3 年生選択 / 2 単位)	H17
唐 津 商 業	ハングル入門 (3 年生選択 / 3 単位)	H4
三 養 基	中国語 (2・3 年生選択 / 2 単位)	H8
佐 賀 北	中国語入門 (3 年生選択 / 4 単位)	H8
	ハングル入門 (3 年生選択 / 4 単位)	H13
嬉 野	中国語入門 (1 年生選択 / 2 単位)	H13
	中国語 (2 年生選択 / 2 単位)	H28
	中国語 (3 年生選択 / 2 単位)	H28
唐 津 青 翔	韓国文化 (3 年生選択 / 2 単位)	H17
	韓国語 (1・2 年生選択 / 4 単位)	
	韓国語 (3 年生選択 / 2 単位)	
佐 賀 農 業	韓国語入門 (3 年生選択 / 2 単位)	H26

出典：県教育庁学校教育課

(エ) 県立高校における海外修学旅行の実施状況 (平成 30 年度)

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
佐 賀 商 業	シンガポール	ホームステイ 企業訪問 等	60

出典：県教育庁学校教育課

(オ) 海外との交流状況(姉妹友好等提携交流を除く)

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
佐賀北高等学校	韓国のK-ART国際交流協会が主催した美術展で優秀だった韓国の中・高生	以前、佐賀県と佐賀新聞社が主催する「日韓少年美術交流」があったが、それが終了した後も「日韓民間交流佐賀」という団体を通じて民間交流が続いている。	【受入】 交流日：H31.1.19 受入人数：韓国の中高生約40名 交流内容：韓国の中高生と本校の美術部員約45名が、ペアになってお互いの姿を水彩画で描きあい、最後にそれをプレゼントし、会話をしながら美術交流を楽しんだ。
致遠館高等学校	スタンフォード大学 UCバークレー大学	語学研修プログラム キャリア教育	【訪問】 渡航期間：H31.3.16～29 交流日：H31.3.17～28 渡航人数：中学生6名、高校生19名 交流内容：現地語学学校(サンフランシスコ)プログラムと専門スタッフによる英語習得、現地大学キャンパスツアー参加、アップル等シリコンバレー企業訪問を行った。
	グアム大学	SSH海外研修	【訪問】 渡航期間：H31.1.7～10 交流日：H31.1.8～9 渡航人数：生徒10名、教職員3名 交流内容：シェルトン研究室によるグアムにおけるサンゴ礁の保全活動についての説明を受け、佐賀県の有明海沿岸における水質環境について英語で説明した。また、現地のフィールドワークを行った。
唐津東高等学校	「JENESYS2018」中国高校生訪日団	公益社団法人 青年海外協力協会より依頼	【受入】 交流日：H30.11.12 受入人数：生徒30名、引率6名(職員3名、中国語通訳2名、コーディネーター1名) 交流内容：本校生徒会役員などとの会食、交流会(唐津の紹介プレゼン、中国側の出し物)、高1英語の授業への参加
唐津西高等学校	清州外国語高等学校(韓国)	清州外国語高等学校日本語学科の修学旅行の際の学校訪問の依頼を受け、交流を実施した。	【受入】 受入期間：H30.10.12 受入人数：生徒24名、職員2名 交流内容：歓迎会、交流活動(学校紹介・学校案内)、部活体験(書道)
鳥栖高等学校	プリティッシュコロンビア大学	語学研修プログラム	【訪問】 渡航期間：H31.3.19～4.1 渡航人数：30名 交流内容：カナダ・バンクーバー市郊外でホームステイ、プリティッシュコロンビア大学訪問や英語語学研修など
	オーストラリアの学校	県英語コンテスト参加者 海外研修	【訪問】 渡航期間：H31.3.23～28 渡航人数：1名 交流内容：現地でパディと授業体験、シドニー自主研修、ホームステイなど
	弘堂国際学園 CODO外語観光専門学校	国際理解シンポジウムへの参加	交流日：H31.2.25 参加人数：本校生徒40名、留学生8名 交流内容：外国人労働者についてのディスカッションなど

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
武雄高等学校	麗川高校 (韓国全羅南道麗水市)	韓国の高校側からの申し入れ	【受入】 受入期間：H30.12.18 交流内容：町や文化の相互紹介、希望者による国際交流会
	Groves Christian College (オーストラリア)	海外研修先選定の際の業者からの紹介	【訪問】 渡航期間：H31.3.20～31 交流内容：授業参加、文化交流、ホームステイ
鹿島高等学校	アメリカの高校生	ロータリークラブより依頼	【受入】 受入期間：H29.9.1～H30.7.20(11か月) 交流内容：全学校行事
小城高等学校	オバマインターナショナルアカデミー (アメリカ)	受け入れ依頼が来ており、3年間続いている学校独自の活動。	【受入】 受入期間：H30.7.2～10 交流日：H30.7.2～9(7日間) 受入人数：生徒7名、教職員1名 交流内容：地域の幼稚園、小学校、市役所に協力してもらい、小城と日本の伝統文化体験。校内では、授業やクラスマッチに参加。
白石高等学校	アメリカ合衆国の高校生	YFUより受け入れ依頼	【受入】 受入期間：H30.6.26～7.20 受入人数：1名 交流内容：2年生のクラスに在籍し、授業に参加
	ポンパリア・カトリック・カレッジ (ニュージーランド)	語学研修プログラム	【訪問】 渡航期間：H31.3.21～30 交流日：H31.3.25～28 渡航人数：高校生10名、教職員1名 交流内容：学校の語学プログラムと専門スタッフによる英語習得、学校での授業参加、学生との異文化交流
佐賀農業高校	スリッパリーロック大学	SGHの国際交流事業の一環	【受入】 受入期間：H30.5.22 受入人数：26名 交流内容：歓迎セレモニー、学校見学、パン製造実習、農作物収穫体験、動物ふれあい
佐賀農業高校	ESD日米教員プログラム	日米教育委員会からの依頼	【受入】 受入期間：H30.6.27 受入人数：10名 交流内容：歓迎セレモニー、学校見学、SG課題研究の成果プレゼン、農業についてのディスカッション
	韓国農業教育協会全北支部	県教育委員会からの依頼	【受入】 受入期間：H30.10.23 受入人数：41名 交流内容：歓迎セレモニー、学校見学
	カントー大学 マリーキュリー高校	SGH海外フィールドワーク	【訪問】 渡航期間：H30.8.22～26 渡航人数：30名 交流内容：農業についてのディスカッション、料理教室、特別講義、課題研究の成果プレゼン
	ニュージーランド青少年	未来の畜産女子育成プロジェクト事業	【訪問】 渡航期間：H30.8.8～28 渡航人数：1名 交流内容：ホームステイ、農業視察、農場訪問
	オーストラリア青少年	未来のスペシャリスト海外研修	【訪問】 渡航期間：H30.10.15～20 渡航人数：2名 交流内容：大規模農業の視察、ファームステイ、現地農業高校との交流

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
鳥栖工業高等学校	韓国斗元(ドゥワ)工科 大学対外協力団	夢旅より学校見学の依頼	【受入】 交 流 日：H30.11.28 受入人数： 斗元(ドゥワ)工業高校...生徒17名、職員2名 三ー(カイル)工業高校...生徒7名、職員1名 利川(イソ)工業高校...生徒6名、職員1名 斗元(ドゥワ)工業大学...職員2名、通訳ガイド1名 交流内容：歓迎交流会、実習施設見学、記念撮影
佐賀商業高等学校	大一観光高等学校 (韓国)	教育振興課からの紹介	【訪問】 交 流 日：H31.1.16 渡航人数：生徒20名、引率1名 交流内容：歓迎セレモニー、授業交流
唐津商業高等学校	珍島国楽高等学校 (韓国)	全国高等学校総合文化祭 佐賀大会のプレ大会として実施	【受入】 受入期間：H30.8.2~3 受入人数：生徒15名、職員5名 交流内容：生徒会主催歓迎交流会、授業体験、市内観光、夕食交流会、国楽演奏会
	原子力マイスター高等学校 (韓国)	唐津市役所より申し出があり、受入	【受入】 交 流 日：H30.11.7 受入人数：生徒77名、職員8名 交流内容：歓迎交流会、授業見学
	稲江高級護理家事職業学校 (中国 台湾)	未来のスペシャリスト海外研修	【訪問】 渡航期間：H30.12.17~20(3泊4日) 渡航人数：生徒10名(本校生徒1名)、職員2名 交流内容：台湾市内見学、企業訪問、学校交流会
鳥栖商業高等学校	桃園市立中壢商業高級中等学校 (台湾 台北市)	平成28年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流事業」に参加	【訪問】 渡航期間：H30.11.14~16 交 流 日：H30.11.15 渡航人数：生徒20名、引率3名 交流内容：授業体験、両校による出し物の披露、ゲーム、プレゼント交換、ホームステイ等で交流を深めた。また、名所や旧跡などの訪問や市内散策も行った。
伊万里商業高等学校	稲江高級護理家事職業学校 (中国 台湾)	県高校教育研究会商業部 会主催の「未来のスペ シャリスト海外研修」の 行程内で学校訪問	【訪問】 本校生徒代表1名が研修に参加し、訪問
	オークランドの高校 (ニュージーランド)	佐賀県国際課主催の 「ニュージーランド青少 年交流プログラム」に本 校生徒1名が応募し採用 された。	【訪問】 授業体験、佐賀のプレゼンテーション、書道交流等
牛津高等学校	チュラーロンコーン大学 附属高等学校及び泰日工 業大学 (タイ)	未来のスペシャリスト海外派遣事業	【訪問】 渡航期間：H30.11.6~11 渡航人数：4名 交流内容：施設見学、訪問相手校との交流、タイシルク織り体験
	チュラーロンコーン大学 附属高等学校及び泰日工 業大学 (タイ)	未来の福祉スペシャリスト海外派遣事業	【訪問】 渡航期間：H30.11.13~18 渡航人数：1名 交流内容：施設見学、体験授業訪問、日本語交流会
神埼清明高等学校	新北市率鶯歌高級工商職 業学校 (台湾)	平成27年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	【訪問】 渡航期間：H30.12.12~14 交 流 日：H30.12.13 交流内容：歓迎セレモニー(学校紹介、よさこいダンス披露)、中国茶道及び陶芸体験、昼食交流

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
多久高等学校	ドイツスポーツ少年団 (多久市職員が付添)	第45回日独スポーツ少年 団同時交流ドイツ団受入 地方プログラム	【受入】 受入人数：指導者1名、団員8名 交流内容：多久市に3日間ホームステイし、 多久市職員の案内で多久の魅力味わって いただくという内容のうち、最終日の午 後、多久高校を訪問。合同昼食、代表者の 挨拶、学校紹介(スクリーンで動画、およ び説明)、テーマディスカッション、ク ライミング体験を実施。対応生徒は登山部の 部員。
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	ベガスクール (オーストラリア)	テレビ会議システムを活 用した国際交流事業	【テレビ会議システムによる交流】 交 流 日：H30.11.18 参加人数：高校1年生30名 交流内容：互いに英語で学校紹介
学校法人東明館学園 東明館高等学校	マレーシア、 ミャンマー出身学生	アジア高校生架け橋プロ ジェクト(AFS)	【受入】 受入期間：H30.9.1～H31.2.14(約6か月) 交流内容：全学校行事
佐賀県高等学校教育研 究会家庭部会	チュラーロンコーン大学 附属高等学校、日本語学 校「JEDUCATION」 (タイ)	未来のスペシャリスト海 外研修	【訪問】 渡航期間：H30.11.6～11 渡航人数：生徒7名、校長1名、職員1名 交流内容：企業研修、訪問相手校生徒との 交流等
佐賀県高等学校教育研 究会商業部会	稲江高級護理家事職業学 校 (台湾)	未来のスペシャリスト海 外研修	【訪問】 渡航期間：H30.12.17～20 渡航人数：生徒10名、校長1名、職員1名 交流内容：日系企業訪問、訪問相手校生徒 との交流等
佐賀県高等学校教育研 究会工業部会	日系企業 (ベトナム)	未来のスペシャリスト海 外研修	【訪問】 渡航期間：H30.10.17～21 渡航人数：生徒10名、校長1名、職員2名 交流内容：日系企業での視察、インターン シップ等
佐賀県高等学校教育研 究会農業部会	Corinda State High School (オーストラリア)	未来のスペシャリスト海 外研修	【訪問】 渡航期間：H30.10.15～20 渡航人数：生徒9名、校長1名、職員1名 交流内容：大規模農場の視察、ファームス テイ、現地農業高校との交流等
佐賀県高等学校教育研 究会福祉部会	タイ日工業大学、日本語 学校「JEDUCATION」 (タイ)	未来のスペシャリスト海 外研修	【訪問】 渡航期間：H30.11.13～18 渡航人数：生徒7名、校長1名、職員1名 交流内容：現地の日本語学校や介護施設等 の視察
致遠館中学校	スタンフォード大学 UCバークレー大学	語学研修プログラム キャリア教育	【訪問】 渡航期間：H31.3.16～29 交 流 日：H31.3.17～28 渡航人数：中学生6名、高校生19名 交流内容：現地語学学校(サンフランシ スコ)プログラムと専門スタッフによる英語 習得、現地大学キャンパスツアー参加、 アップル等シリコンバレー企業訪問
	佐賀大学留学生	キャリア教育(異文化交 流体験)	【受入】 交 流 日：H31.1.16 交流人数：2年生118名、佐賀大学留学生24 名程度 交流内容：中学生が日本文化について紹介 するPPを準備し、留学生に紹介した。中 学生5人のグループと1～3名の留学生とが交 流を行った。中学生が留学生に質問する時 間も設け、異文化交流を行った。

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
唐津東中学校	LAB School (ラブスクール) (インドネシア)	インドネシアNPO団体からの依頼	【受入】 交流日：H30.4.23 受入人数：生徒42名、職員4名 交流内容：書道部によるパフォーマンス披露、剣道体験、LAB School生徒による楽器演奏、グループ交流(日本文化の紹介、体験)
佐賀市立城西中学校	東莞松山湖中学校 (中国)	海外研修旅行 団体佐賀県内学校交流受入校	【受入】 交流日：H31.1.22 交流内容：歓迎セレモニー、日本文化交流
佐賀市立川副中学校	ドイツの中学生	保護者からの受入依頼による。	【受入】 受入期間：H30.7.17～19 受入人数：2名(中1女子と中2男子の兄妹) 交流内容：1年生の学級と3年生の学級で、授業・給食等3日間、学級の生徒と同じ生活をして過ごした。
佐賀市立小中一貫校 北山校 中学部	シェパトン校 (オーストラリア)	平成27年8月から、シスコシステムズの紹介で豪州シェパトン校との交流が可能となった。800人規模の学校であるが、シェパトン校勤務の日本人の先生に、北山校との交流日程に関し、人数や内容について協力してもらい、交流を進めている。	【テレビ会議システムによる交流】 交流期間：H30.4月～H31.3月 交流内容：1年生から6年生まで、年間3回の交流を行った。 互いにペア・グループを作り、交流を深めた。内容は互いの国に関すること、学校行事に関するクイズやプレゼンテーション、ゲームなどを取り入れ、親交を深めた。クリスマスや正月には互いにカードを郵送した。
嬉野市立吉田中学校	米国の教師10名	ESD日米教員交流プログラム(米国人教員日本派遣) 嬉野市・武雄市学校訪問 (H30.6.23～27)	【受入】 交流内容：生徒会による交流会、米国教員によるESDの授業、日米の教員で意見交換
	メープルウッド・リッチモンドハイ校	日米の学校で「ピース・リレープロジェクト」の実践 (H30.8月～12月)	広島・長野・東京・静岡・米国・佐賀の小中高6校で「ピース・リレープロジェクト」を実践 ・佐々木貞子さんの絵本を読み、感想交流をする。 ・平和学習の実践を紹介しあう。 ・折り鶴を広島へ送る。
	オランダの空手選手2名	嬉野市より依頼 オリンピック前の競技(東京)に出場するために来佐	【受入】 交流内容：学校紹介、空手演舞と生徒の体験
玄海町立玄海みらい学園 後期課程	県立学校に勤務するALT及び本校勤務のALT5名	県教育振興課が主催する「イングリッシュ・デー」に参加	交流日：H30.12.11 交流人数：8年生42名、教職員3名、町教育課職員4名、派遣ALT4名、本校ALT1名 交流内容：英語の歌、ゲストの自己紹介、学園生によるクイズ、小グループでクリスマスに関するアクティビティ(オーナメント作り、メープルシロップを使ったお菓子作り、クリスマスカード作り、クリスマスのパーティーフード試食など)
有田町立有田中学校	オランダ学芸員(1名)	伝統的有田焼プロモーション事業	交流日：H30.10.24 交流内容： 1年生...交流討論会「オランダと有田の文化」(1時間) 3年生...交流と歌 (1時間)
	ニュージーランドの中学生(1名)	保護者からの受入依頼による。	【受入】 受入期間：H30.12.17～21 交流内容：3年生のクラスに在籍し、授業や学年行事等に参加

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
江北町立 江北中学校	エンカウンター ルーザン カレッジ	町総合計画の一環として、町政策課独自の江北町子ども交流事業への参加	【訪問】 渡航期間：H30.11.23～29 交流日：H30.11.25～27 交流内容： 25日…歓迎セレモニー（自己紹介、町・学校紹介）、校内・街見学、BBQ交流、動物園見学 26日…授業体験、ホストファミリー宅へ 27日…授業体験、お別れ会
太良町立 多良中学校	Strathmore Secondary College (オーストラリア)	メルボルン日本人学校勤務経験者の仲介による交流	【E-メールによる交流】 交流日：H30.9月以降 2回程度実施 交流内容：オーストラリアの現地校の日本語を学ぶ生徒たちと、英語、日本語の両言語をお互いに使用し、習慣や考え方など、文化の違いを体感した。
太良町立 大浦中学校	ハワイの家族3名	太良町出身の母親の帰省に伴い、子供を含めた家族との交流	【受入】 交流内容：音楽の授業に参加、英語の授業に参加してプレゼン等
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷中学校	イラワラ・スクール (オーストラリア)	オーストラリア語学研修における学校訪問(中3)	【訪問】 交流日：H31.3.6 交流内容：学校案内、日本語クラスでのコミュニケーション活動、日本文化紹介
	ケイラ・ハイスクール (オーストラリア)	オーストラリア語学研修における学校訪問(中3)	【訪問】 交流日：H31.3.6 交流内容：自己紹介、学校案内、英語によるコミュニケーション活動、日本文化紹介
	ベガ・スクール (オーストラリア)	テレビ会議システムを活用した国際交流授業(全学年)	【テレビ会議システムによる交流】 交流期間：H30.6月～H31年3月(1年3回、2年3回、3年3回) 交流内容： 前半…日本語パート 後半…英語パートで英語によるプレゼン等の交流
学校法人東明館学園 東明館中学校	長郡教育集团雨花区金海 中学校 (中国)	佐賀県観光連盟から学校交流の依頼を受けて学校交流を実施	【受入】 交流日：H30.7.17 受入人数：生徒25名、教職員3名 交流内容：文化交流、授業体験
	長沙市湘郡金海中学校 湘郡未来実験中学校 (中国)	佐賀県観光連盟から学校交流の依頼を受けて学校交流を実施	【受入】 交流日：H31.1.23 受入人数：生徒43名、教職員4名 交流内容：文化交流、スポーツ交流、ランチ交流
	長実験中学校 (中国)	佐賀県観光連盟から学校交流の依頼を受けて学校交流を実施	【受入】 交流日：H31.1.24 受入人数：生徒64名、教職員6名 交流内容：文化交流、スポーツ交流、学校紹介・施設見学ツアー
	Northbrooks Secondary School (シンガポール)	中学3年生研修旅行時に訪問	【訪問】 渡航期間：H30.10.17～21 交流日：H30.10.19 交流人数：生徒39名、教職員3名 交流内容：授業参加、学校紹介・施設見学、ランチ交流
	Peter Moyes Anglican Community School (オーストラリア)	中学3年生希望者対象のホームステイプログラム時の受入校	【訪問】 渡航期間：H31.3.16～30 交流日：H31.3.18～28 交流人数：生徒19名、教職員1名 交流内容：授業、学校行事参加

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
学校法人佐賀学園 成瀬中学校	CLEEVE SCHOOL (公立の中高一貫校) CHELTENHAM COLLEGE JUNIOR SCHOOL (英国) この2校の生徒中心 (この他の数校の生徒も数名参加)	2年生の語学研修旅行のなかのプログラムの1つとして実施	【訪問】 交流日：H31.2.16 参加人数：本校2年生79名、現地英国の学生(中学生)約30名 交流内容：ディスカッション、スポーツ交流
佐賀大学教育学部 附属小学校	スリッパリーロック大学 (アメリカ ペンシルベニア州)	教育学部 林先生からの依頼(先方の大学の交流会の一環として)	【受入】 交流日：H30.5.24 交流人数：大学生24名、大学院生2名、引率者2名(内1名は日本人) 交流内容： 3校時...外国語の授業参観 4校時～昼食、昼休み、掃除時間、5校時... 配当クラスとの交流活動 授業参観・参加、給食交流、共遊、清掃等 これらの中で互いの文化等を紹介し交流
	ギスボーン高校 (オーストラリア ビクトリア州)	本校卒業生でもある引率者より依頼(日本語を履修中の学生の研修の一環として)	【受入】 交流日：H30.7.10 交流人数；高校生14名、引率者2名(内1名は日本人) 交流内容： 2～3校時目...様々な学年・教科等の授業参観 4校時目～昼食、昼休み、掃除時間...配当クラスとの交流活動 授業参観・参加、給食交流、共遊・清掃等 これらの中で互いの文化等を紹介し交流
佐賀市立 勸興小学校	明倫小学校 (韓国)	佐賀県子ども連合会が主催する「韓国少年訪日国際交流及びホームステイ」事業として交流を行った。	【受入】 受入人数：小学5年生21名(女子18名、男子3名) 交流内容：歓迎セレモニー(県子ども連合会会長あいさつ、各校児童代表のあいさつ、記念品の交換、勸興小の校歌斉唱)、給食交流(6年生の2クラス)、昼休みは班ごとに遊びを工夫して活動、掃除、書写(毛筆)の学習、交流会(韓国の小学生の出し物、勸興小の出し物、感想交流会、各校校長のあいさつ)
佐賀市立 嘉瀬小学校	ニューヨーク州 グレンズフォールズ市 ダニエル・ホーク市長他 11名	バルーンフェスタをきっかけに昭和63年9月に佐賀市と姉妹都市を締結。秀島市長を表敬訪問したとき、本校との交流会を開いた。	【受入】 交流日：H30.4.20 交流人数：5年生30名 交流内容：ゲーム、風を送り膨らませたバルーンの中に入って写真撮影
佐賀市立 鍋島小学校	アメリカの小学生	保護者からの受入依頼による	【受入】 受入期間：H30.7.2～20 受入人数：1名 交流内容：2年生のクラスに在籍し、授業に参加
	吉林小学校 (中国 台湾) シーフィールド小学校 (マレーシア)	郵便局からの依頼による	【手紙による交流】 交流日：H30.4.16(台湾) H30.4.20(マレーシア) 交流内容：相手校の子どもたちからの手紙を読み、それに対して英語で手紙を書いたり、切手を使ってしおりのプレゼントを作ったりする活動を行った。後日、返事の手紙を受け取った。
	吉林小学校 (中国 台湾)	郵便局からの依頼による	【手紙による交流】 交流日：H30.6.6 交流内容：相手校の子どもたちからの手紙を読み、それに対して日本語で自己紹介文を書いたり、絵を描いたりした。後日、手紙をもらって喜ぶ相手校の子どもたちの写真を見せてもらった。

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
佐賀市立 新栄小学校	兎岨（トヒョン）小学校 （韓国 釜山）	平成14年の本校創立30周年記念行事の一環として、新栄校区教育文化振興会が主催。佐賀市と姉妹都市の提携をしている蓮堤区から兎岨小学校の代表児童を招待して交流が開始。翌年より、隔年でお互いの学校を訪問している。 平成29年3月、15年の交流の成果が認められ、西日本国際財団のアジアKids大賞を受賞した。	【受入】 受入期間：H30.10.20～22 受入人数：交流団児童14名、引率8名 交流内容： 20日…福岡国際空港での出迎え、吉野ケ里遺跡見学、マリトピアにて佐賀市主催歓迎会、面浮流見学 21日…新栄公民館にてそば打ち、ホームステイ（保護者は県内視察） 22日…新栄小にて交流授業、引率団による授業参観、全校による歓迎集会、学校給食の試食、お別れ会、福岡空港までのお見送り
佐賀市立 小中一貫校北山校 小学部	リズムア校 （オーストラリア）	平成25年8月から、テレビ会議システム取り扱い業者であるシスコシステムズの紹介により、豪州リズムア校との交流が始まった。全校生徒が20人ほどの小さな学校であり、小学部職員が、相手校の日本人の先生と交流日程、内容を検討し、進めた。	【テレビ会議システムによる交流】 交流期間：H30.4月～H31.3月 交流内容：1年生から6年生まで、年間3回の交流を行った。 互いにペア・グループを作り、交流を深めた。内容は互いの国に関すること、学校行事に関するクイズやプレゼンテーション、ゲームなどを取り入れ、親交を深めた。クリスマスや正月には互いにカードを郵送した。
唐津市立 外町小学校	雙鳳(サンボン)初等学校 （韓国 麗水市）	唐津市と麗水市との姉妹都市交流の一環として	【受入】 受入人数：4～6年生20名、学校職員4名 交流内容： 1日目…本校6年生による歓迎式、夜は本校児童宅でホームステイ 2日目…本校にて交流会や交流授業、給食の試食
	環境教育「きれいな西帰浦市づくり」先導同好会 （韓国 済州道 西帰浦市）	唐津市と西帰浦市の姉妹都市交流の一環として	【受入】 受入人数：初等学校2校、中学校3校の代表30名と教育関係者9名 交流内容：本校5年生による家庭科「3Rの取組」についての授業を参観。虹の松原清掃活動に取り組む唐津市立浜玉中学校を訪問し、浜玉中生徒会による取組紹介を聞く。
鳥栖市立 旭小学校	弘堂国際学園 日本語学校 （佐賀県鳥栖市）	6年生の「総合的な学習の時間」の単元のひとつ「留学生と交流しよう」として毎年実施している。	【受入】 交 流 日：H31.1.31 受入人数：留学生38名（ベトナム、スリランカ、ネパール、バングラディッシュ、フィリピン、コロンビア、中国） 交流内容：各クラス毎に分かれて交流（留学生の自己紹介、留学生の国の紹介）、各クラスで体験活動（グループ活動、日本文化を意識した活動など）
伊万里市立 小中一貫校滝野校	サンガミッタ女子校 （スリランカ）	NPO法人地球市民の会より依頼があり受入（スリランカ高校生招聘プログラム）	【受入】 交 流 日：H30.9.19 交流人数：スリランカ高校生6名、引率者1名、他4名 交流内容：自己紹介ゲーム、スポーツ交流（卓球）
神埼市立 脊振小学校	サントルA小学校 （フランス ポークール市）	昭和11年に脊振山に墜落したフランスポークール市出身の冒険家アンドレ・ジャビー氏救出から60年後の平成8年に記念行事を行い、友好姉妹都市提携の盟約を締結し交流が始まる。平成26年より、両小学校間で作品の交換などの交流を続けている。	交流内容：脊振小学校6年生とサントルA小学校がスカイプ交流を実施。サントルA小学校から脊振小学校へジャビー機のミニチュア模型や習字作品が贈呈された。脊振小学校からサントルA小学校へ6年児童が手作りしたお手玉などやビデオレターを贈呈した。

学校名	相手校	交流の経緯	平成30年度の交流内容
基山町立 基山小学校	武漢市長春街小学校 (中国)	基山町より武漢市内小学生との国際交流プログラムを受入依頼	【受入】 渡航期間：H30.7.15～22 交 流 日：H30.7.17 交流人数：児童43名（小学校3年生～6年生）、教職員5名 交流内容：授業参観、プレゼンテーションによる基山町と武漢市の紹介及び学校紹介、長春街小学校より演舞、演技、二胡の演奏披露、日本の遊びで交流、記念品の贈呈
玄海町立 玄海みらい学園 前期課程	佐賀大学留学生1名 日本人配偶者1名	校内研究のテーマである海洋教育の一環として、（公財）佐賀県国際交流協会の国際理解講座を活用	【出前講座】 交 流 日：H30.12.3 交流人数：1・2年生111名、教職員8名、佐賀大学留学生1名（中国出身）、日本人配偶者1名（ペルー出身） 交流内容：「Let's go ～せかいりょこう～」と題して、中国とペルー出身の講師から出身国の紹介をしていただいた後、各国の歌を歌ったり、ダンスをしたりして楽しんだ。
	西南学院大学 留学生14名	校内研究のテーマである海洋教育の一環として、大学を訪問している。	交 流 日：H30.10.30 交流人数：3・4年生102名、教職員11名、留学生14名（アメリカ、デンマーク、チェコ、イギリス、インドネシア、ポーランド、中国出身） 交流内容：英語を使った自己紹介、町の紹介、歌や踊りの出し物、小グループでのインタビュー、フリートーク、ランチ交流など
	九州産業大学 留学生10名	校内研究のテーマである海洋教育の一環として、大学を訪問している。	交 流 日：H30.12.20 交流人数：5・6年生91名、教職員6名、留学生10名（韓国、中国、ベトナム、ネパール出身）、日本人学生2名 交流内容：ベトナム出身留学生によるプレゼンテーション、玄海みらい学園校歌、ダンスの発表、ランチ交流、小グループでのインタビューやフリートークなど
太良町立 大浦小学校	アシュバートン校 (オーストラリア)	本校から現地校へ交流を打診した。平成29年度より引き続きの交流。	【スカイプによる交流】 交 流 日：H30.6月、9月、H31.2月 交流内容：外国語活動の学習事項を活用して交流。総合的な学習を通して学習した内容（地域の特産物や特色など）や学校の様子についてお互いにクイズ形式などにして交流した。
	バングラデシュ・オーストラリア出身の方	公益財団法人佐賀県国際交流協会の「異文化理解出前講座」による	【出前講座】 交流内容：佐賀県在住の方2名が来校（いずれも成人）し、6年生のクラスで交流を行った。それぞれの国の文化について話してもらいゲームをしたりクイズを出し合ったりした。

ウ その他

団体名	相手団体名	交流の経緯	H30年度の交流内容
地球市民の会	<p>北京大学、復旦大学、上海商学院（中国） 釜山外語大学（韓国） 早稲田大学（日本）</p>	<p>令和12年の達成に向けて、平成27年に国連加盟国全会一致で採択されたSDGsを佐賀で学ぶための交流事業</p>	<p>研修期間：H31.1.26～2.2 参加人数：中国より6名、韓国より5名、日本の大学生15名 研修内容：SDGsを学ぶ研修を実施。県内外の視察、後半は学んだことを落とし込むワークショップを実施</p>
	<p>サンガミッタ校（スリランカ ゴール市）</p>	<p>当会主催で2年に1回実施し、当会が支援する高校の生徒を佐賀に招聘する</p>	<p>【受入】 受入人数：高校生6名、引率の先生1名 交流内容：ホームステイイベントなどで延450名と交流。交流だけでなく、日本とスリランカの両国にある社会問題について考えてもらう機会を提供した。</p>
	<p>柳川高校</p>	<p>タイのナコンシータマラートに柳川高校の姉妹校があり、毎年福岡の柳川高校へ留学をしています。ただ、夏休みになる時期に寮が閉鎖になるため、その期間を日本人と国際交流の機会創出で実施</p>	<p>【受入】 受入人数：タイ人8名、インドネシア人1名 交流内容：約1か月近く、佐賀県内でホームステイを行いながら、家の手伝いをしたり、平日の昼間は日本語学校で日本語の勉強を行った。休日は、ホストファミリーと一緒に様々なイベントなどを行い、交流を深めた。</p>

(2) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数

所在地(市町)	日本語教室数	所在地(市町)	日本語教室数
佐賀市	6 教室	鹿島市	1 教室
唐津市	2 教室	小城市	1 教室
鳥栖市	1 教室	嬉野市	1 教室
多久市	1 教室	基山町	1 教室
伊万里市	1 教室	白石町	1 教室
武雄市	1 教室	計	17 教室

イ 多言語コールセンター利用状況

利用可能な機関	利用可能な言語
県、県内全市町	英語、中国語、韓国語、ベトナム語、マレー語、ネパール語、タガログ語、インドネシア語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語、タイ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語

多言語コールセンター：多言語でのコミュニケーションを円滑にし、外国人住民の生活相談等をより充実したものにするために、平成 30 年 4 月から電話通訳サービスを開始。

5. 国際協力

(1) 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中 国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓 国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	バングラデシュ	モンゴル	パラオ	計	主 な 研 修 機 関
S55 ～ H5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューティク二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和看護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユ
H6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
H7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
H8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
H9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
H10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
H11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	16	佐賀医大、サグシコボレーショ、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
H12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
H13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、ルニジャパン、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジャパンシステムカ、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
H14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビューティク二葉
H15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	（財）環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
H18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
H19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
H20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
H21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
H24 ～ H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	211	63	13	13	4	17	11	3	1	2	1	2	341	

昭和58年度まで県単独事業として実施。

昭和59年度から平成15年度までは国庫補助事業として実施。

平成16年度から再び県単独事業として実施。

平成21年度から平成23年度まではJICAの補助事業として実施。

出典：県国際課調

イ 独立行政法人国際協力機構（JICA） 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タイ	"
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
S62	1	タイ	佐賀大学農学部
S63	2	ケニア	"
		中央アフリカ	吉田鉄工所
H1	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペルー	"
	1	ドミニカ	佐賀県農業試験場
	2	ケニア	(株)吉田鉄工所
H2	1	タイ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
H3	1	ケニア	(株)吉田鉄工所
H4	1	ケニア	"
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チリ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	(株)ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パラオ	(財)佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車(株)
H14	1	モンゴル	(有)ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブータン	佐賀大学農学部
H19	1	ブータン	"
H20	1	ブータン	"
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部
H26	1	ケニア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院工学系研究科
H27	1	エジプト	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	モロッコ	佐賀大学大学院工学系研究科
H28	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	南スーダン	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学大学院工学系研究科
H29	4	カメルーン	佐賀大学農学部
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学農学研究科
	1	ガーナ	佐賀大学農学研究科
	1	エジプト	佐賀大学工学系研究科
	1	ルワンダ	佐賀大学工学系研究科
H30	1	セネガル	佐賀大学工学研究科

H22 ~ H25の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

ウ 独立行政法人国際協力機構 海外技術専門家派遣状況（派遣時佐賀県在住者）

平成31年3月末現在

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	94	
シ ン ガ ポ ー ル	1	第三国（電力供給・送配電）
イ ン ド ネ シ ア	20	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護（産科）、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム(GIS)、技術移転計画、人口知能2、コンピューター映像、中小企業海外展開支援
タ イ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究（媒介節足動物研究）
ベ ト ナ ム	9	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理、法・司法改革2
バ ン グ ラ デ シ ュ	12	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学、業務調整（母子保健サービス強化）
パ キ ス タ ン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マ レ ー シ ア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIT支援アドバイザー
サ ウ ジ ア ラ ビ ア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中 国	6	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー/水稲育種・栽培、チーフアドバイザー
イ ン ド	1	鉄道線路ガス圧接
カ ザ フ ス タ ン	2	甲状腺・乳腺診断指導
フ ィ リ ピ ン	1	総合治水
ス リ ラ ン カ	5	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上
モ ン ゴ ル	1	建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト
ラ オ ス	1	メタファシリテーション
ミ ャ ン マ ー	2	ボランティア支援、業務調整/民間連携
オ セ ア ニ ア	3	
ソ ロ モ ン 諸 島	1	昆虫学
パ プ ア ニ ュ ー ギ ニ ア	2	業務調整/教材作成支援
中 南 米	29	
ホ ン ジ ュ ラ ス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グ ァ テ マ ラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パ ナ マ	1	自動車整備
パ ラ グ ア イ	8	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員、チーフアドバイザー/広域アドバイザー、農業・農村開発政策
ボ リ ビ ア	3	病院管理、アースダムの設計・施工、ボランティア支援
チ リ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国（光ファイバー伝送システム）、鉱山保安
メ キ シ コ	5	ミニプロ（小規模米作近代化技術）、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニ カ ラ グ ア	1	ボランティア支援
ブ ラ ジ ル	2	マングローブ生態系の回復と管理、ボランティア支援
ア フ リ カ	16	
エ ジ プ ト	1	染織物
カ メ ル ー ン	2	品種純化選定技術、種子検査技術
ケ ニ ア	3	地下水開発（堀削機運転・堀削機維持）、育種
シ エ ラ レ オ ネ	1	企画調整員
タ ン ザ ニ ア	1	灌漑/農民研修
マ リ	2	村落開発アドバイザー（農業一般）
ウ ガ ン ダ	3	業務調整/稲作普及、経済インフラ（運輸・交通、電力）、経済インフラ
ブルキナファソ	1	税関業務能力向上
マ ラ ウ イ	1	船舶機関士養成
モ ロ ッ コ	1	経済協力案件形成促進・監理
計	142	

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

エ 青年海外協力隊等派遣状況（平成31年3月末現在）

（シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティア、短期ボランティアを含む）

（ア） 年度別派遣者数

年度	派遣者数	男	女	派遣中	帰国
S44～H19	243	150	93	0	243
H20	15	7	8	0	15
H21	20	12	8	0	20
H22	22	9	13	0	22
H23	8	5	3	0	8
H24	10	6	4	0	10
H25	10	6	4	0	10
H26	9	4	5	0	9
H27	10	5	5	0	10
H28	13	6	7	2	11
H29	5	4	1	4	1
H30	9	6	3	9	0
計	374	220	154	15	359

（イ） 国別・地域別派遣者数

国・地域	派遣者数	派遣中	帰国
ア シ ア	105	2	103
インドネシア	5	0	5
中国	5	0	5
タイ	6	1	5
フィリピン	10	0	10
マレーシア	11	0	11
ベトナム	10	0	10
バンラデシュ	5	0	5
ネパール	8	0	8
スリランカ	10	0	10
ラオス	5	0	5
インド	1	0	1
ブータン	8	0	8
ヨルダン	4	1	3
カンボジア	5	0	5
モンゴル	7	0	7
シリア	3	0	3
パキスタン	1	0	1
ウズベキスタン	1	0	1
オ セ ア ニ ア	33	2	31
バブアニューギニア	8	1	7
ソロモン	5	0	5
トンガ	4	0	4
サモア	1	0	1
バヌアツ	5	0	5
ミクロネシア	1	0	1
フィジー	4	0	4
キリバツ	1	0	1
パラオ	2	0	2
マーシャル諸島	2	1	1
中 南 米	101	4	97
ウルグアイ	1	0	1
ホンジュラス	10	0	10
ペルー	10	0	10
ボリビア	12	0	12
コロンビア	3	0	3
パラグアイ	12	0	12
グアテマラ	8	0	8
ニカラグア	3	0	3
エルサルバドル	4	1	3
ベネズエラ	2	0	2
エクアドル	5	1	4
パナマ	3	0	3
ジャマイカ	1	0	1
ドミニカ共和国	8	1	7
コスタリカ	1	0	1
メキシコ	4	0	4
セントルシア	2	0	2
ブラジル	11	1	10
チリ	1	0	1
ア フ リ カ	127	7	120
チュニジア	3	0	3
モロッコ	8	0	8
ケニア	18	0	18
タンザニア	14	2	12
ガナ	9	2	7
リベリア	2	0	2
ザンビア	14	1	13
セネガル	7	0	7
マラウイ	14	0	14
ニジェール	4	0	4
コートジボワール	3	0	3
ボツワナ	4	0	4
マダガスカル	1	0	1
ジンバブエ	2	0	2
エチオピア	6	0	6
ウガンダ	7	0	7
ベナン	3	1	2
カメルーン	1	0	1
モザンビーク	2	0	2
エジプト	2	1	1
ブルキナファソ	3	0	3
ヨ ー ロ ッ プ	8	0	8
ブルガリア	5	0	5
ハンガリー	3	0	3
佐賀県計	374	15	359

(ウ) 青年海外協力隊員派遣状況 (佐賀県出發者)

	性別	派遣国	業種名	期	間
1	女	タンザニア	看護師	H29.1月	- 派遣中
2	女	ザンビア	コミュニティ開発	H29.3月	- 派遣中
3	男	ベナン	小学校教育	H29.7月	- 派遣中
4	男	ガーナ	理学療法士	H29.9月	- 派遣中
5	男	ドミニカ共和国	環境教育	H29.10月	- 派遣中
6	女	ヨルダン	障害児・者支援	H30.9月	- 派遣中
7	男	タイ	環境教育	H30.9月	- 派遣中
8	女	エクアドル	作業療法士	H30.10月	- 派遣中
9	男	エルサルバドル	マーケティング	H30.10月	- 派遣中
10	男	ガーナ	青少年活動	H30.10月	- 派遣中
11	女	タンザニア	看護師	H30.10月	- 派遣中
12	男	パプアニューギニア	小学校教育	H30.10月	- 派遣中
13	男	マーシャル諸島	理学療法士	H31.4月	- 派遣中

(エ) シニア海外ボランティア派遣状況 (佐賀県出發者)

	性別	派遣国	業種名	期	間
1	男	エジプト	教育行政・学校運営	H29.10月	- 派遣中

(オ) 日系社会青年ボランティア派遣状況 (佐賀県出發者)

	性別	派遣国	業種名	期	間
1	男	ブラジル	野球	H30.7月	派遣中

オ アセアン青年・青年研修等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
S60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
S62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
S63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
H1	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
H2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
H3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
H4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
H5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
H6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
H8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
H9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	(社)九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
H13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H15	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
H16	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
H17	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
H20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

※H21～H30の受入はなし

出典:独立行政法人国際協力機構九州センター調

国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町名	担当課（室）名	電話番号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務法制課 国際交流室	0952-40-7023	0952-40-2050	somu@city.saga.lg.jp
唐津市	国際交流・ 地域づくり課	0955-53-7102	0955-72-9182	kokusai-chiiki@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働推進課	0942-85-3508	0942-83-3310	kyoudou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	まちづくり課 国際交流係	0955-22-7046	0955-22-7213	kokusai@city.imari.lg.jp
武雄市	企画政策課	0954-23-9325	0954-23-9115	kikaku@city.takeo.lg.jp
鹿島市	企画財政課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	shiminkyoudou@city.ogi.lg.jp
嬉野市	観光商工課	0954-42-3310	0954-42-2960	kankou@city.ureshino.lg.jp
神埼市	企画課	0952-37-0102	0952-52-1120	soumu-02@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	財政協働課	0952-37-0331	0952-52-6189	zaiseikyodo@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	まちづくり課	0942-92-7935	0942-92-0741	kyodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp
上峰町	まち・ひと・しごと 創生室	0952-52-2182	0952-52-4935	sousei@town.kamimine.lg.jp
みやき町	事業部まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	machizukuri@town.miyaki.lg.jp
玄海町	財政企画課	0955-52-2112	0955-52-3041	zaiseikikaku@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	svoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画政策課	0952-82-3112	0952-82-3117	machidukuri@town.omachi.lg.jp
江北町	政策課	0952-86-5612	0952-86-2130	bikkie@town.kouhoku.lg.jp
白石町	企画財政課	0952-84-7112	0952-84-6611	kikakuzaisei@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画商工課	0954-67-0312	0954-67-2425	kikaku-joho@town.tara.lg.jp

2. 県の機関

所在地：（本庁）〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 電話(代表)：0952-24-2111
 （佐賀商工ビル1階）〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 電話：0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際課（本庁）	○国際交流に係る施策の総合調整・推進、国際協力に関すること	0952-25-7328	0952-25-7084
	○旅券に関すること	0952-25-7005	0952-25-7417
国際交流プラザ（佐賀商工ビル1階）	○多文化共生の推進に関すること	0952-25-7004	0952-25-7664

機関名	事業内容	電話番号	F A X
佐賀県香港代表事務所(香港セントラル地区ベダーストリート1-3 セントラルビルディング10階)	○県内企業と中国企業の取引促進、佐賀牛等県産品の販促・販路拡大支援、香港や華南地域からの観光客誘致支援、学校間での交流促進支援	+ 852-3975-2846	+ 852-3975-2800
観光課(本庁)	○観光施策の総合調整及び推進、観光宣伝及び観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関する事	観光企画担当 0952-25-7386 国内・インバウンド担当 0952-25-7098	0952-25-7304
流通・貿易課 国際経済担当(佐賀商工ビル4階)	国際経済に係る背景の企画及び調整並びに推進、県内企業の海外展開の支援、海外との経済交流に関する事。	0952-25-7146	0952-25-5905
経営支援課(本庁)	○商工施策の企画・調整、地場産業の振興等	0952-25-7093,7095	0952-25-7270
空港課(本庁)	○佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関する事	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課(本庁)	○港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
教育振興課 グローバル人材育成担当(教育庁)	○グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(公財)佐賀県地域産業支援センター さが県産品流通デザイン公社	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟9階	0952-20-5601	0952-20-5600
(一社)佐賀県貿易協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル4階佐賀県国際ビジネスサポートオフィス内	0952-26-1474	0952-26-1479
(一社)佐賀県観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟6階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡入国管理局 佐賀出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央三丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野二丁目2番1号	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東二丁目11番1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423~25	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 佐賀	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル4階	0952-28-9220	0952-28-9230
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央一丁目8番32号 アイスクエアビル1F	0952-40-7023	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1	0955-22-7046	0955-22-7213
陶都有田国際交流協会	〒849-4153 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場 商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前国際交流協会	〒847-1516 佐賀県唐津市肥前町納所辛14番1号	0955-54-2481	0955-54-2481